

3G対応 2chカラースーパー
CK-70W
2ch COLOR SUPER

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 電源プラグ、コードは

- ・ 定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・ 差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・ 濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・ 抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・ 電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・ 電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・ 機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2) 本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・ すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・ 空調設備を確認してください。
- ・ しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・ 機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・ 消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3) 修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・ 感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・ 故障の場合は、弊社 サポートセンターへご連絡ください。

4) その他

- ・ 長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・ 質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・ 冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。
- ・ 車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・ 機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 機械の持ち運びに注意してください

- ・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2) 外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用いただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社 サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

- 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

- (1) ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
- (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
- (3) 火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
- (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
- (5) 当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

- 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2) 交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3) 修理費の総額が製品価格を上回る場合。
- (4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

- アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2) アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
保証規定.....	III
1. 概 説.....	1
《特 長》.....	1
2. 機能チェックと筐体への取り付け.....	2
1. 構 成.....	2
2. 筐体への取り付け.....	3
3. POWER ON までの手順.....	3
4. 基本動作チェック.....	4
3. 各部の名称と働き.....	5
1. CK-70W.....	5
2. CK-70W-01、CK-70W-22 (オプション).....	8
3. CK-70W-02、CK-70W-22 (オプション).....	11
4. CK-70W-03、CK-70W-22 (オプション).....	13
5. CK-70W-06(オプション).....	15
4. 操作方法.....	16
1. 基本操作.....	16
2. メニューツリー.....	16
3. 各機能説明.....	24
(1) SYSTEM 設定.....	24
◇FORMAT.....	24
◇MODE.....	24
◇REFERENCE.....	28
◇GENLOCK.....	29
◇COLOR LIMIT.....	32
◇DISPLAY.....	32
◇S MARKER.....	33
◇P MARKER.....	33
◇PAYLOAD.....	34
(2) CONFIG 設定.....	34
◇REMOTE.....	34
◇REMOTE IN.....	37
◇REMOTE OUT.....	37
◇DELAY.....	38
◇PANEL.....	38
(3) LINE 設定.....	40
◇CASCADE.....	40
◇LINE1 NOSIG、LINE2 NOSIG.....	42

◇LINE IN.....	42
◇LINE OUT	43
(4) SUPER1、SUPER2 設定	44
◇TRANSITION.....	44
◇FILL.....	45
◇KEY.....	47
◇EDGE	48
◇SHADOW.....	51
◇PRV ASSIGN.....	54
◇ASSIGN1～4.....	54
(5) INFO 表示.....	55
4. CK-70W-01 の使い方	56
5. CK-70W-02 の使い方	59
6. CK-70W-03 の使い方	62
7. CK-70W-06 の使い方	64
8. カスケード接続について.....	66
9. アサイン機能について.....	69
10. 4K モードについて	72
11. CK-70W-23/24/25 の使い方.....	72
5. 外部インターフェイス.....	74
6. SNMP	75
7. 工場出荷設定（ディップスイッチの操作）.....	78
8. トラブルシューティング	79
9. 仕 様.....	81
1. 機 能.....	81
2. 定 格.....	83
3. 性 能.....	85
4. 外形図（CK-70W-01）.....	86
5. 外形図（CK-70W-02）.....	87
6. 外形図（CK-70W-03）.....	88
7. 外形図（CK-70W-06）.....	89
8. 外形図（CK-70W-07）.....	90
10. ブロック図.....	91

1. 概 説

CK-70Wは、Vbus-C筐体の実装可能な3G-SDI (Level-A)/HD-SDI対応のカラースーパーモジュールです。モジュール1枚で、2系統のスーパー素材を本線映像にミックスできます。筐体に最大6モジュールをカスケード接続すると、12系統のスーパー入力に対応できます。入力素材が多いスタジオ番組やスポーツ中継、イベント中継に最適な装置です。

各種設定は付属の専用アプリケーションで管理でき、番組毎の設定ファイルを簡単に設定できます。

《特 長》

- 1 モジュールで 2 系統のスーパー入力が可能
- 本線映像 2 系統入力、本線映像 3 系統出力可能 ※1
- 本線入力部に 1 ラインの AVDL を内蔵
- スーパー入力部に FS 機能を内蔵し、動画スーパーの非同期入力に対応 ※2
- 最大 6 モジュールのカスケード接続が可能で、12ch のスーパーミックスに対応
- スーパー信号はエッジ装飾、外部/セルフキー、スーパーカラー、ゲイン調整、ポジション移動が可能
- 本線信号は音声を含む ANC データを全て通過
- CK-70EC および CK-70EMG を併用してエマージェンシースルーに対応 ※3
- 接点信号、専用リモコン(CK-70W-01/02/03)で各スーパーを個別にオン/オフ操作
- 専用リモコン(CK-70W-02/03)にフェーダーレバー(CK-70W-06)を接続し、手動でフェード操作可能
- CK-70W-01/02/03 を使用すると、各スーパーに対応したリモコン上に任意の名称を漢字表示可
- 本線 3 系統、2 系統モード時は、各スーパーに対して ON/OFF 制御する系統(LINE1~3)を予め設定可能
- CK-70EC を使用することでスーパーマスクを 16 箇所登録でき、マスクパターンの切り替えを接点制御可能 ※4
- FILL、KEY のコンバイナーモードでアップストリームキーとして使用可能 ※5
- CK-70EC を使用すると、DSK とコンバイナーモードの同時使用が可能 ※6
- 簡易チェンジオーバー機能を搭載。LINE 信号を 2 系統入力時、一方の LINE 断を検出すると、もう一方の系統に自動切り替え可能 ※7
- 付属のアプリケーションソフトにより各種設定の編集、保存、読み出しが可能
- 構成により 4K モードを使用可能。※8

※1. 本線映像3系統出力はオプションのCK-70ECが必要です。LINE1またはLINE2(選択式)に入力した本線映像を内部で分配し、LINE3に割り当てます。LINE 3系統モードでは、CK-70WのOUT2が共通のPV出力、OUT1がLINE3の出力となります。LINE3出力にエマージェンシースルー機能を持たせるには、更にCK-70EMGが必要です。

CK-70ECを使用する場合、2UのVbus-Cシリーズ筐体が必要です。

※2. 非同期のFILL、KEY信号を使用する場合、FILLとKEYの位相差が $\pm 1.7 \mu$ 以内(HD-SDI)の信号をご使用ください。

※3. エマージェンシースルーは電源断、または外部接点制御で動作します。CK-70ECを使用する場合、2UのVbus-Cシリーズ筐体が必要です。

※4. CK-70ECのGPI端子を使用し、4bitエンコード制御です。トリガー制御/オルタネイト制御に対応します。マスクスルー制御も可能です。

※5. コンバイナーモードではOUT1がOA FILL出力、OUT2がOA KEY出力になります。コンバイナーモードでプレビュー信号が必要な場合は、CK-70ECが必要です。

※6. CK-70ECのL1-1,2 OUTがOA DSK出力、L2-1,2がPV DSK出力。CK-70WのOUT1がOA FILL出力、OUT2がOA KEY出力になります。

※7. TRSコードの連続した乱れを検知して切り替えます。TRSコードが安定すると自動復帰します。

※8. 4Kモードを使用するにはCK-70ECが必須です。4Kモードの詳細についてはCK-70ECの取扱説明書を参照してください。

2. 機能チェックと筐体への取り付け

1. 構成

【本体】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	メインモジュール	CK-70W	1	
2	コネクターモジュール		1	
3	REMOTE コネクター	HR10A-10P-12P	1	
4	CK-70W アプリケーション	CD-ROM	1	Windows7/8/10 に対応。CD-ROM に実行ファイル、アプリケーションのマニュアルが入っています。
5	取扱説明書		1	本書

【CK-70W-01】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	テイク リモコン	CK-70W-01	1	CK-70W との接続には CK-70W-22/23/24/25 が必要です。CK-70W、1 台につき 2 台のテイクリモコンが接続できます

【CK-70W-02】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	2ch テイク リモコン	CK-70W-02	1	CK-70W との接続には CK-70W-22/23/24/25 が必要です。2 台接続する場合には CK-70W-23/25 が必要で、それ以外のケーブルでは 1 台しか接続できません

【CK-70W-03】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	1ch テイク リモコン	CK-70W-03	1	CK-70W との接続には CK-70W-22/23/24/25 が必要です。2 台接続する場合には CK-70W-23/25 が必要で、それ以外のケーブルでは 1 台しか接続できません

【CK-70W-06】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	フェーダーレバー	CK-70W-06	1	CK-70W との接続には CK-70W-02 あるいは CK-70W-03 が必要です。
2	付属ケーブル		1	CK-70W-02/03 との接続用 D-sub 9pin ケーブルです。

【CK-70W-07】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	SW ガード	CK-70W-07	1	CK-70W-01/-02/-03 に装着する誤操作防止用のスイッチガードです。

【CK-70W-10】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	フェーダーリモコン連結金具	CK-70W-10	1	CK-70W-01/-02/-03/-06 に装着するリモコン連結金具です。
2	取扱説明書		1	

【CK-70W-22】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル(1m)	CK-70W-22	1	CK-70W と CK-70W-01、CK-70W-02、CK-70W-03 の接続に使用

【CK-70W-23】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル給電付(1m)	CK-70W-23	1	CK-70W1 台に CK-70W-02/03 と CK-70W-01/02/03 を 2 台接続したい場合に使用
2	ACアダプター	VAC-12V01A	1	リモコン用の+12V を供給

【CK-70W-24】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル&パラレルコントロール(1m)	CK-70W-24	1	CK-70W と CK-70W-01、CK-70W-02、CK-70W-03 を接続し、同時にパラレルコントロールを使用する時に使用

【CK-70W-25】(オプション)

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル&パラレルコントロール給電付(1m)	CK-70W-25	1	CK-70W 1 台に CK-70W-02/03 と CK-70W-01/02/03 を 2 台接続し、同時にパラレルコントロールを使用する時に使用
2	ACアダプター	VAC-12V01A	1	リモコン用の+12V を供給

2. 筐体への取り付け

ご使用の際には、コネクタモジュール及びメインモジュールを筐体に取り付けてください。筐体は、Vbus-Cシリーズに実装可能です。実装方法については「Vbus-Cシリーズ取扱説明書」を参照してください。

3. POWER ON までの手順

- (1)コネクタモジュール及びメインモジュールを筐体へ正しくセットします。
- (2)筐体の電源プラグを AC100V のコンセントに接続します。
- (3)LINE1 に HD-SDI の本線映像信号を入力します。
- (4)FILL1、KEY1 および FILL2、KEY2 に HD-SDI のスーパー素材信号を接続します。
- (5)OUT1 の本線映像出力をマルチスキャンモニターに接続します。
- (6)OUT2 のプレビュー出力をマルチスキャンモニターに接続します。
- (7)筐体の電源スイッチを投入すると、筐体のパワーランプが点灯します。

4. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

ここでは、工場出荷時設定の状態の説明します。

正常に動作しない場合は「8. トラブルシューティング」を参照してください。

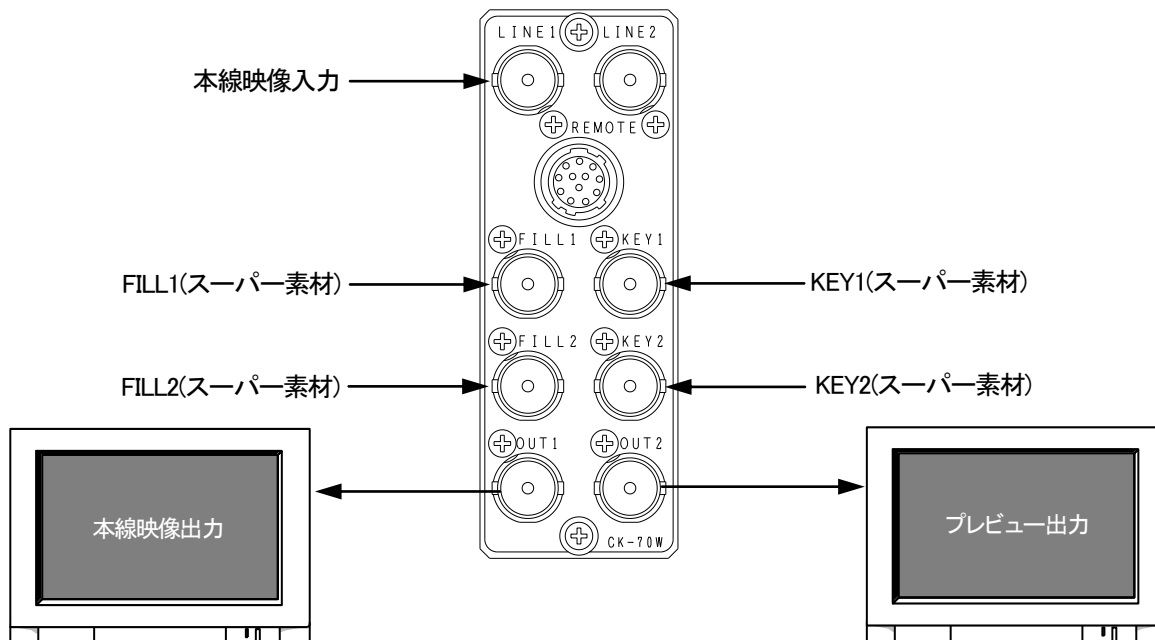


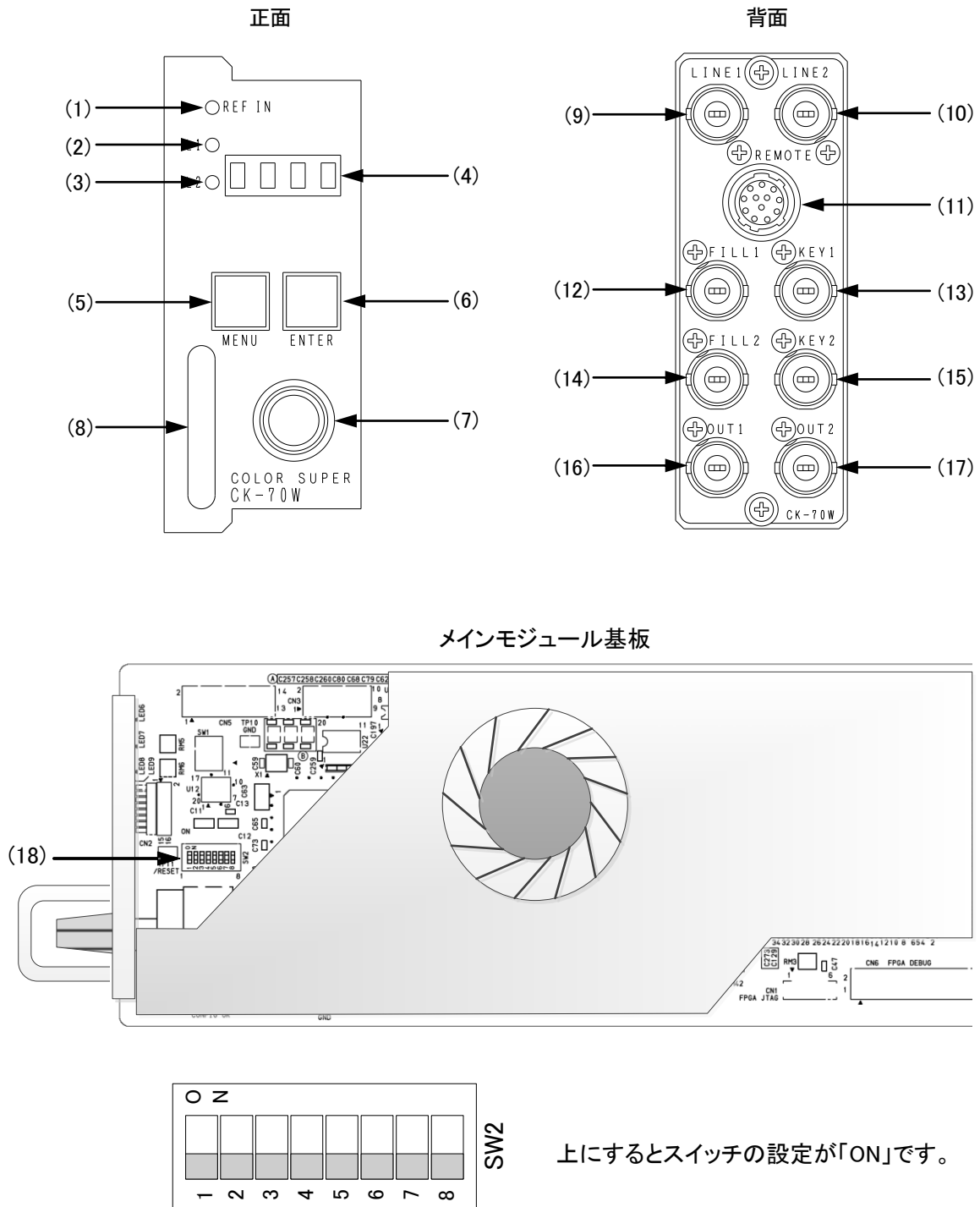
図2-4.1 基本動作チェック

- (1) LINE1 に HD-SDI の本線映像信号を接続します。
- (2) FILL1、KEY1 および FILL2、KEY2 に HD-SDI のスーパー素材信号を接続します。
- (3) OUT1 本線映像出力、OUT2 プレビュー出力をマルチスキャンモニターに接続します。
- (4) 筐体の電源を投入し、モニターに映像信号が出力されていることを確認します。
- (5) プレビュー出力にスーパーインポーズされていることを確認します。※1
- (6) CK-70W 正面の **ENTER** ボタンを押しながら **MENU** ボタンを一度押します。**MENU** ボタンが赤点減し TAKE 待ち状態になります。
- (7) もう一度、**ENTER** ボタンを押します。OUT1 の本線映像出力にスーパーインポーズします。

※1. 工場出荷時設定からメニュー操作で項目変更した場合、選択している動作モードなどにより、出力にスーパーインポーズしない場合があります。

3. 各部の名称と働き

1. CK-70W



(18) の拡大図

図3-1.1 各部の名称と働き

(1) REF INランプ

メニューのシステム リファレンスがLINE DIRECTの時、LINE1コネクタに3G-SDI(Level-A)/HD-SDI信号を入力すると緑点灯します。システム リファレンスがEXT SUBの時、内部バス経由でREF信号を受け取ると緑点灯します。

(2) L1ランプ

LINE1コネクタに3G-SDI(Level-A)/HD-SDI信号を接続すると緑点灯します。
接続無し(無信号)または選択されているフォーマットと違う映像フォーマット信号を接続すると消灯します。
カスケード接続時は、左隣のモジュールからLINE信号を受信すると緑点灯します。

(3) L2ランプ

LINE2コネクタに3G-SDI(Level-A)/HD-SDI信号を接続すると緑点灯します。
接続無し(無信号)または選択されているフォーマットと違う映像フォーマット信号を接続すると消灯します。
カスケード接続時は、左隣のモジュールからLINE信号を受信すると緑点灯します。

(4) 表示器

MENU ボタンを押すと設定メニューが表示されます。

メニュー階層から抜けているときは機種名がスクロールし、各種設定内容を表示します。

【表示内容】CK-70W⇒LINE信号のフォーマット(59i/50i/59pA/50pA/24sF/23sF/24p/23p/NONE)⇒カスケード設定(TOP/MID/END/TPED/OFF)⇒動作MODE(DSK/COMB/DSE1/DSE2/DSE3/COME/DSCE)⇒FILL1⇒FILL1の信号の有無(59i/50i/59pA/50pA/24sF/23sF/24p/23p/NONE)⇒KEY1⇒KEY1の信号の有無(59i/50i/59pA/50pA/24sF/23sF/24p/23p/NONE)⇒FILL2⇒FILL2の信号の有無(59i/50i/59pA/50pA/24sF/23sF/24p/23p/NONE)⇒KEY2⇒KEY2の信号の有無(59i/50i/59pA/50pA/24sF/23sF/24p/23p/NONE)⇒CK-70W

※モジュール上のチップファンのステータスが“ERR”の時、表示器に“FAN” ⇒“ERR”がブリンク表示され、Vbus-C筐体からアラームの接点が出力されます。FANの故障が考えられますので、できる限り使用を中止し、弊社へご連絡ください。

※CK-70ECの4KモードがOFF以外の時にはKEY2信号の有無の後に4K⇒4K位置(TL/TR/BL/BR)が追加で表示されます。

(5) **MENU** ボタン

MENU ボタンを押すことで各種設定のメニューモードへ切り替えます。

(6) **ENTER** ボタン

各種設定を行う時に、メニュー項目を決定する時に押します。

また、スーパーインポーズのオン/オフを実行する**TAKE** ボタンにもご使用いただけます。

【ENTERボタンによるスーパー送出手順】

ENTER ボタンを押しながら**MENU** ボタンを一度押します。**MENU** ボタンが赤点滅します。

MENU ボタンが赤点滅した状態で**ENTER** ボタンを押すと、OUT1の本線映像出力にFILL1/KEY1およびFILL2/KEY2をスーパーインポーズします。再度**ENTER** ボタンを押すとスーパーをカットします。

(7) 選択ツマミ

各種設定を行う時に、メニュー項目の選択や数値決定を行う選択ツマミです。

(8) 取手

筐体への取り付け、取り外しなどを行う場合はこの部分を持ちます。

(9) LINE1

本線映像信号1の入力コネクタです。

フォーマットに合った3G-SDI(Level-A)/HD-SDI信号を接続します。

(10) LINE2

本線映像信号2の入力コネクタです。

フォーマットに合った3G-SDI(Level-A)/HD-SDI信号を接続します。

(11) REMOTE

外部制御で、スーパのオン/オフを行う時のリモートコネクタです。

オプションリモコンCK-70W-01を接続する時にも使用します。その際はオプションのCK-70W-22/23/24/25

(12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル)を使用してXLR-3端子に変換する必要があります。

(12) FILL1

スーパ1のFILL信号の入力コネクタです。

フォーマットに合った3G-SDI(Level-A)/HD-SDI信号を接続します。

(13) KEY1

スーパ1のKEY信号の入力コネクタです。

フォーマットに合った3G-SDI(Level-A)/HD-SDI信号を接続します。

(14) FILL2

スーパ2のFILL信号の入力コネクタです。

フォーマットに合った3G-SDI(Level-A)/HD-SDI信号を接続します。

(15) KEY2

スーパ2のKEY信号の入力コネクタです。

フォーマットに合った3G-SDI(Level-A)/HD-SDI信号を接続します。

(16) OUT1

本線映像信号の出力コネクタです。

メニュー設定により、DSK出力、コンバイナーFILL出力等を切り替えます。

(17) OUT2

本線映像信号の出力コネクタです。

メニュー設定により、DSK出力、コンバイナーKEY出力等を切り替えます。

(18) DIPスイッチ(SW2)

図3-1.2のように基板上のDIPスイッチ(SW2)の設定で工場出荷時の初期化ができます。

通常使用設定



初期化設定



図3-1.2 DIPスイッチ

DIP SW2	No. 8	
出荷時設定	初期化無効	OFF
	初期化有効	ON

SW2-8番をON設定にし、筐体電源を入れると設定データが初期化されます。設定が初期化されていることを確認したら、筐体電源をOFFします。メインモジュールを外し、初期化無効(OFF設定)に戻します。

2. CK-70W-01、CK-70W-22 (オプション)

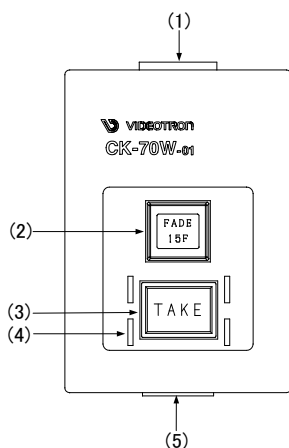


図3-2.1 CK-70W-01

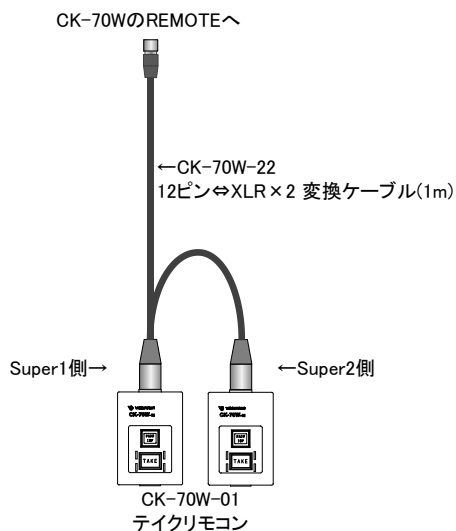


図3-2.2 CK-70W-22接続図

(1)CONT

CK-70WのREMOTE端子と接続する3ピンXLR端子です。

CK-70Wとの接続には別売の12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル(CK-70W-22/23/24/25)が必要です。

(図3-2.2 CK-70W-22接続図 参照)

(2) **ファンクション**ボタン

トランジションタイプの表示、トランジション切り替え、設定表示、表示切り替えで使用します。工場出荷時設定では、トランジションタイプが表示されており、**ファンクション**を押す度にCut>Fade>Cut. . .とトランジションタイプを変更できます。※1

フェードのトランジションタイムについては予め設定した値が反映され、リモコン上で変更はできません。

トランジションタイムの変更については、MENU→SUPER1/2→TRANSITION→ON TK MODE/OFF TAKE MODEで行います。

ファンクションを2秒押し続けると、一時的に設定表示に切り替わります。デフォルトで“Super1 Port1”※2、または“Super2 Port2” ※2と表示され、リモコンの制御対象がSuper1に対するものなのか、Super2に対するものなのか確認することができます。Super1、Super2の部分については、個別に名称を登録することができます。名称登録は添付のCD-ROMに入っている“CK-70W アプリケーション”で行います。名称登録の手順につきましては、CD-ROMに入っているアプリケーションマニュアルを参照してください。

また、デフォルトで設定表示、2秒押しトランジションタイプの表示にすることもできます。

MENU→CONFIG→DISP DEFで設定します。

※1 CK-70WはTAKE ON/OFFで別々のトランジションタイプを設定することができますが、ファンクションボタン操作によるトランジションタイプ変更はTAKE ON/OFF一括で変更されます。

※2 表示内容は環境により異なります。

・CK-70ECが同一筐体内に存在する場合は下図のようになります。

CK-70W実装開始スロット位置に関係なく、実装されているCK-70Wの枚数でSUPER番号が決定します。

SLOT1	SLOT2	SLOT3	SLOT4	SLOT5	SLOT6	SLOT7	SLOT8
CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70EC	
SUPER1 SUPER2	SUPER3 SUPER4	SUPER5 SUPER6	SUPER7 SUPER8	SUPER9 SUPER10	SUPER11 SUPER12		

図3-2.3 CK-70Wスーパー番号パターン1

SLOT3	SLOT4	SLOT5	SLOT6	SLOT7	SLOT8	SLOT9	SLOT10
CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70EC	
SUPER1 SUPER2	SUPER3 SUPER4	SUPER5 SUPER6	SUPER7 SUPER8	SUPER9 SUPER10	SUPER11 SUPER12		

図3-2.4 CK-70Wスーパー番号パターン2

・CK-70ECが同一筐体内に存在しない場合は下図のようになります。

SUPER番号がスロット位置で決まり、SUPER12以上に対応しておりません。

CK-70ECが同一筐体内に存在しない場合はなるべく筐体正面左端のSLOT1からCK-70Wを実装してください。

※SUPER12以上のスロットはSUPER11、12の内容が表示されます。

SLOT1	SLOT2	SLOT3	SLOT4	SLOT5	SLOT6
CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W
SUPER1 SUPER2	SUPER3 SUPER4	SUPER5 SUPER6	SUPER7 SUPER8	SUPER9 SUPER10	SUPER11 SUPER12

図3-2.5 CK-70Wスーパー番号パターン3

SLOT3	SLOT4	SLOT5	SLOT6	SLOT7	SLOT8
CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W
SUPER5 SUPER6	SUPER7 SUPER8	SUPER9 SUPER10	SUPER11 SUPER12	SUPER11 SUPER12	SUPER11 SUPER12

図3-2.6 CK-70Wスーパー番号パターン4

(3) TAKEボタン

Super1、またはSuper2に対するTAKEボタンです。制御対象(Super1、あるいはSuper2)はメニュー設定で決まります。詳細は「4. 操作方法 3. 各機能説明 (2) CONFIG設定 ◇PANEL 4. PANEL1 TAKE1」を参照してください。PANEL1かPANEL2かはCK-70W-22/23/24/25とテイクリモコンの接続方法で決まります。ケーブルが分岐しているコネクター側がPANEL1側です。

(4) SWガード(CK-70W-07)取り付け穴

誤操作防止用のSWガードを付ける取り付け穴です。

- ・SWガード取り付け穴へSWガード取り付けフックを差し込みます。
- ・差し込み後、②方向より押し込みます。押し込む際にガードが壊れないよう注意してください。
- ・取り外し方法は上記の逆手順になります。

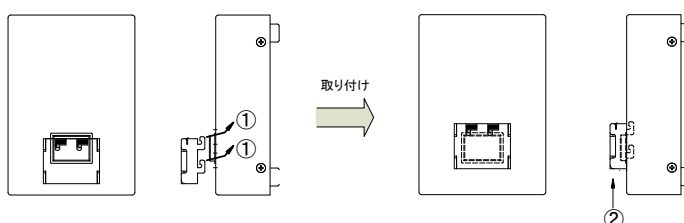


図3-2.6.1 SWガードの取り付け方

(5)メンテナンス用端子カバー

弊社メンテナンス用端子のカバーです。ファームウェアバージョンアップなどで使用します。通常ご使用になられる環境下ではこのカバーを着脱しないでください。

3. CK-70W-02、CK-70W-22 (オプション)

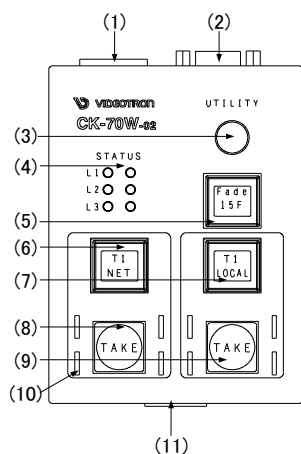


図3-2.7 CK-70W-02

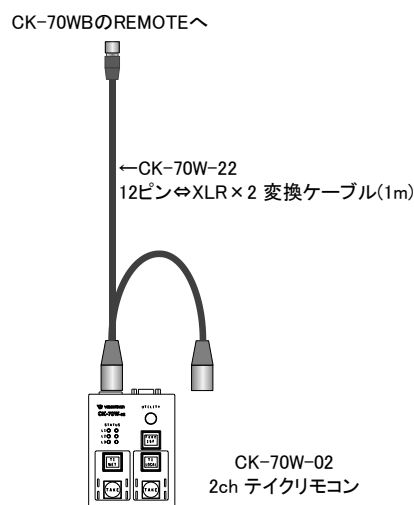


図3-2.8 CK-70W-22接続図

(1)CONT

CK-70WのREMOTE端子と接続する3ピンXLR端子です。

CK-70Wとの接続には別売の12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル(CK-70W-22/23/24/25)が必要です。

(図3-2.8 CK-70W-22接続図 参照)

(2)FADER LEVER

CK-70W-06のCONTROL端子と接続するD-sub 9ピン端子です。

(3)UTILITY

トランジションタイム変更で使用するロータリーエンコーダーです。

(4)STATUS

LINE1～3へそれぞれのTAKEボタンに割り当てられたスーパーのアサインステータスを表示するLEDです。点灯で該当LINEへスーパーがアサインされていることを表し、TAKE ONした際にどのLINEにどのスーパーがONされるのかが容易に確認できます。

左側の縦一列がTAKE1のアサインステータスを、右側の縦一列がTAKE2のステータスを表します。

(5) ファンクション ボタン1

トランジションタイプの表示、トランジション切り替え、設定表示、表示切り替え等で使用します。機能はTAKEスイッチに割り当てられている制御対象のスーパーによって変わります。ファンクションスイッチの詳細な機能については「4. 操作方法 5. CK-70W-02の使い方」を参照してください。

(6) **ファンクション**ボタン2

トランジションタイプの表示、トランジション切り替え、設定表示、表示切り替え等で使用します。機能はTAKEスイッチに割り当てられている制御対象のスーパーによって変わります。ファンクションスイッチの詳細な機能については「4. 操作方法 5. CK-70W-02の使い方」を参照してください。

(7) **ファンクション**ボタン3

トランジションタイプの表示、トランジション切り替え、設定表示、表示切り替え等で使用します。機能はTAKEスイッチに割り当てられている制御対象のスーパーによって変わります。ファンクションスイッチの詳細な機能については「4. 操作方法 5. CK-70W-02の使い方」を参照してください。

(8) **TAKE**ボタン1

Super1、またはSuper2に対する**TAKE**ボタンです。制御対象(Super1、あるいはSuper2)はメニュー設定で決まります。詳細は「4. 操作方法 3. 各機能説明 (2) CONFIG設定 ◇PANEL 4. PANEL1 TAKE1」を参照してください。PANEL1かPANEL2かはCK-70W-22/23/24/25とテイクリモコンの接続方法で決まります。ケーブルが分岐しているコネクター側がPANEL1側です。

(9) **TAKE**ボタン2

Super1、またはSuper2に対する**TAKE**ボタンです。制御対象(Super1、あるいはSuper2)はメニュー設定で決まります。詳細は「4. 操作方法 3. 各機能説明 (2) CONFIG設定 ◇PANEL 4. PANEL1 TAKE1」を参照してください。PANEL1かPANEL2かはCK-70W-22/23/24/25とテイクリモコンの接続方法で決まります。ケーブルが分岐しているコネクター側がPANEL1側です。

(10) SWガード(CK-70W-07) 取り付け穴

誤操作防止用のSWガードを付ける接合部です。

CK-70W-07の装着方法につきましては「3.2. (4)SWガード(CK-70W-07) 取り付け穴」の項を参照してください。

(11) メンテナンス用端子カバー

弊社メンテナンス用端子のカバーです。ファームウェアバージョンアップなどで使用します。通常ご使用になれる環境下ではこのカバーを着脱しないでください。

※注意！！ CK-70W-22/24 との接続では CK-70W-03 は CK-70W 1 台につき、1 台しか接続できません。また CK-70W-01/02 は CK-70W-22/24 の片側空いている方に接続できません。2 台接続したい場合には CK-70W-23 あるいは CK-70W-25 を使用して接続してください。

CK-70W-23、CK-70W-25 を使用した場合、XLR-4 ピンコネクターには必ず付属の AC アダプターから電源を供給してください。

4. CK-70W-03、CK-70W-22 (オプション)

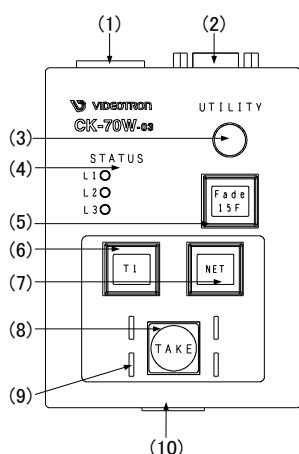


図3-2.9 CK-70W-03

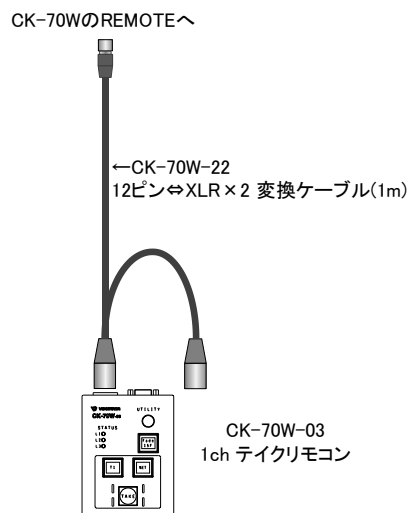


図3-2.10 CK-70W-22接続図

(1)CONT

CK-70WのREMOTE端子と接続する3ピンXLR端子です。

CK-70Wとの接続には別売の12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル(CK-70W-22/23/24/25)が必要です。

(図3-2.10 CK-70W-22接続図 参照)

(2)FADER LEVER

CK-70W-06のCONTROL端子と接続するD-sub 9ピン端子です。

(3)UTILITY

トランジションタイム変更、TAKEボタンモード変更などで使用するロータリーエンコーダーです。

(4)STATUS

LINE1～3へそれぞれのTAKEボタンに割り当てられたスーパーのアサインステータスを表示するLEDです。

点灯で該当LINEへスーパーがアサインされていることを表し、TAKE ONした際にどのLINEにどのスーパーがONされるのかが容易に確認できます。

(5) ファンクションボタン1

トランジションタイプの表示、トランジション切り替えで使います。ファンクション1を押す度にCut>Fade>Cut. .とトランジションタイプを変更できます。

フェードのトランジションタイムについてはUTILITYを右に回すことで加算、左に回すと減算できます。ただし、メニュー上で設定したトランジションタイムよりも大きな値にすることはできません。例えばメニュー上で30フレームと設定された状態で2秒以上長押しせずにUTILITYで変更すると2～30フレームの範囲内でしか変更できません。不用意な操作でトランジションタイムが大幅に加算されることを防止できます。

メニュー上で設定したトランジションタイムよりも大きな値にするにはファンクション1を2秒以上長押しした状態でUTILITYを操作します。

(6) **ファンクション**ボタン2

スーパーの名称を表示します。名称は付属のCK-70Wアプリケーションより入力し、工場出荷時設定では”SUPER 1”あるいは”SUPER 2”と表示されます。このボタンを押すと、現在接続されているシリアルポート番号が表示されます。

例: Port1 or Port2等

(7) **ファンクション**ボタン3

スーパーのTAKEタイプを表示します。ALL、ASSIGN1、ASSIGN2などに表示されます。

TAKEボタンの機能がALL、S1 ALL、S2 ALLの時に表示されるのはALLのみです。

TAKEボタンの機能がS1 ASSIGN1～4、S2 ASSIGN1～4の時に表示されるのは工場出荷時ではASSIGN1～4のいずれかです。この名称は付属のCK-70Wアプリケーションより変更可能で、ASSIGN1をNET、ASSIGN2をLOCAL、ASSIGN3をLIVE抜きなどの任意の名称を付けることも可能です。

(8) **TAKE**ボタン

Super1、またはSuper2に対する**TAKE**ボタンです。制御対象(Super1、あるいはSuper2)はメニュー設定で決まります。詳細は「4. 操作方法 3. 各機能説明 (2) CONFIG設定 ◇PANEL 4. PANEL1 TAKE1」を参照してください。PANEL1かPANEL2かはCK-70W-22/23/24/25とテイクリモコンの接続方法で決まります。ケーブルが分岐しているコネクター側がPANEL1側です。

(9) SWガード(CK-70W-07)取り付け穴

誤操作防止用のSWガードを付ける接合部です。

CK-70W-07の装着方法につきましては「3.2. (4)SWガード(CK-70W-07)取り付け穴」の項を参照してください。

(10) メンテナンス用端子カバー

弊社メンテナンス用端子のカバーです。ファームウェアバージョンアップなどで使用します。通常ご使用になれる環境下ではこのカバーを着脱しないでください。

※注意！！ CK-70W-22/24 との接続では CK-70W-03 は CK-70W 1 台につき、1 台しか接続できません。また CK-70W-01/02 は CK-70W-22/24 の片側空いている方に接続できません。2 台接続したい場合には CK-70W-23 あるいは CK-70W-25 を使用して接続してください。

CK-70W-23、CK-70W-25 を使用した場合、XLR-4 ピンコネクターには必ず付属の AC アダプターから電源を供給してください。

5. CK-70W-06(オプション)

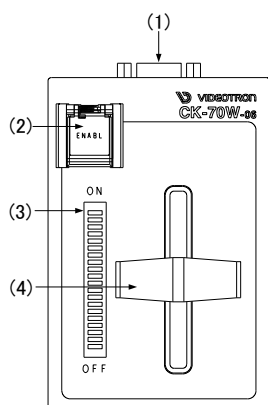


図3-2.11 CK-70W-06

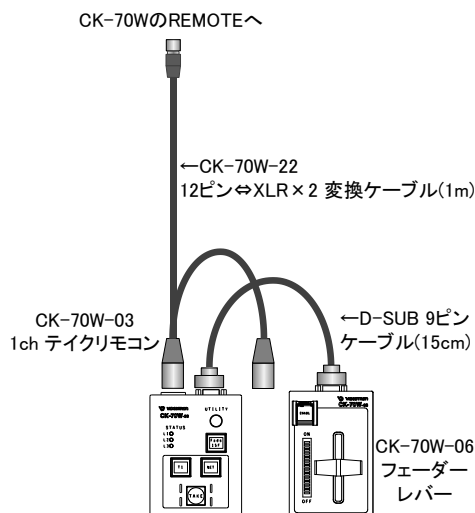


図3-2.12 CK-70W-02/03接続図

(1)CONTROL

CK-70W-02/03のFADER LEVER端子と接続するD-sub 9ピン端子です。CK-70W-02/03との接続には付属のD-sub 9ピンケーブルが必要です。D-sub 9ピンケーブル接続後は必ずネジで固定してください。

(図3-2.12 CK-70W-02/03接続図 参照)

(2)ENABLEボタン

フェーダーレバーの有効・無効の切り替えに使用するボタンです。

誤操作防止のためにガードが付いています。

フェーダーが無効な状態でこのボタンを押すと、以下の動作になります。

- 1).フェーダーで操作するスーパーが強制的にカットオフされます。
- 2).フェーダーレバーの位置が0%以外の位置にいとフェーダー仮有効モードになります。ENABLEボタンが緑点滅し、ON → OFFへ向かってLEDの点滅が掃引します。この状態をキャンセルするにはもう一度ENABLEボタンを押します。有効にする場合にはレバー位置を0%まで移動させます。
- 3).フェーダーレバーが0%の位置にいれば、ENABLEボタンは緑点灯しフェーダーが有効になります。
- 4).フェーダーが有効な状態でレバー位置を移動させるとレバー位置に応じた係数でスーパーインポーズされます。

フェーダーが有効な状態でこのボタンを押すと、以下の動作になります。

- 1).フェーダーで操作していたスーパーが強制的にカットオフされます。
- 5秒以上長押しするとフェーダーレバーの開始位置、終了位置の設定モードになります。設定モード中はボタンが橙色に点灯し、フェーダーの開始位置設定モードになります。設定を決定するにはもう一度ボタンを押します。その後、橙点滅に変わり、フェーダーの終了位置設定モードになります。設定を決定するにはもう一度ボタンを押します。その後、フェーダー仮有効モードに移行します。

(3)フェーダー現在位置LED

フェーダーレバーの現在位置を表すLEDです。

仮有効モード時はレバーを移動させてほしい方向へ点滅が掃引し、操作をアシストします。

(4)フェーダーレバー

フェーダーを操作する為のレバーです。

4. 操作方法

1. 基本操作

- (1) LINE1に本線映像信号のHD-SDI信号を接続します。
- (2) FILL1/KEY1およびFILL2/KEY2にスーパー素材のHD-SDI信号を接続します。
- (3) OUT1,OUT2にマルチスキャンモニターを接続します。
- (4) 基板正面の **ENTER** ボタンを押しながら **MENU** ボタンを一度押します。 **MENU** ボタンが赤点滅します。
- (5) **MENU** ボタンが赤点滅した状態で **ENTER** ボタンを押すと、OUT1の本線映像出力にFILL1/KEY1およびFILL2/KEY2をスーパーインポーズします。再度 **ENTER** ボタンを押すとスーパーをカットします。
- (6) REMOTEの1番ピンと12番ピンをショートすると、FILL1/KEY1をスーパーインポーズします。再度1番ピンと12番ピンをショートすると、スーパーをカットします。

2. メニューツリー

MENU

SYSTEM	【SYS】	システムに関する各種設定を行います。
FORMAT	【FORM】	映像フォーマットを設定します。
1080i/59	【59i】	1080i/59.94フォーマットで動作します。
1080i/50	【50i】	1080i/50フォーマットで動作します。
1080p/59 A	【59pA】	1080p/59.94 Level Aフォーマットで動作します。
1080p/50 A	【50pA】	1080p/50 Level Aフォーマットで動作します。
1080sF/24	【24sF】	1080sF/24フォーマットで動作します。
1080sF/23	【23sF】	1080sF/23.98フォーマットで動作します。
1080p/24	【24p】	1080p/24フォーマットで動作します。
1080p/23	【23p】	1080p/23.98フォーマットで動作します。
AUTO	【AUTO】	入力された本線映像信号に合わせた映像フォーマットで動作します。
MODE	【MODE】	動作モードを設定します。
DSK	【DSK】	本線映像1系統、プレビュー1系統出力のDSKモードです。
COMBINER	【COMB】	2系統のスーパーを合成して1系統のFILL/KEYを出力するコンバイナーモードです。
DSK+EC 1L	【DSE1】	本線映像1系統、プレビュー1系統出力のDSKモードです。※1
DSK+EC 2L	【DSE2】	本線映像2系統、プレビュー2系統出力のDSKモードです。※1
DSK+EC 3L	【DSE3】	本線映像3系統、プレビュー1系統出力のDSKモードです。※1
COMB+EC	【COME】	2系統のスーパーを合成して1系統のFILL/KEYを出力するコンバイナーモードです。※1
DSK+COMB+EC	【DSCE】	本線映像1系統、プレビュー1系統出力のDSKと2系統のスーパーを合成して1系統のFILL/KEYを出力するコンバイナーモードです。※1
※1 CK-70ECと接続する際に設定。CASCADE OFF時は設定不可。		
REFERENCE	【REF】	リファレンス信号分配モードを選択します。
LINE DIRECT	【LDIR】	本線映像信号をリファレンス信号として使用します。
EXT SUB	【ESUB】	リファレンス信号を筐体内バスから受信します。
GENLOCK	【GEN】	システムに合わせてゲンロックタイミングを調整します。
MANUAL	【MANU】	ゲンロックタイミングをマニュアルで設定します。
H:0	【H】	水平位置を設定します。
V:0	【V】	垂直位置を設定します。
MINIMUM	【MIN】	ゲンロックタイミングを現在の入カステータスを基に最小遅延出力に設定します。
MIN OFFSET	【MIOF】	ゲンロックタイミングを最小遅延出力に設定したときのオフセットを設定します。
H:0	【O】	最小遅延出力設定にオフセットする遅延ドット数を設定します。
COLOR LIMIT	【CLIM】	カラーリミッターのオン/オフを設定します。
ON	【ON】	カラーリミッターオンに設定します。
OFF	【OFF】	カラーリミッターオフに設定します。
DISPLAY	【DISP】	プレビュー画面のキャラクター表示オン/オフを設定します。
ON	【ON】	プレビュー画面のキャラクター表示オンに設定します。
OFF	【OFF】	プレビュー画面のキャラクター表示オフに設定します。

S MARKER		【SMRK】	プレビュー画面に表示するセーフティーマーカーの設定をします。
— OFF	【OFF】		セーフティーマーカーを表示しません。
— 80%	【80%】		80%を表示します。
— 86%	【86%】		86%を表示します。
— 90%	【90%】		90%を表示します。
— 94%	【94%】		94%を表示します。
— C-APTURE	【CAPT】		CLEAN APERTUREを表示します。
— VARI	【VARI】		任意の%のセーフティーマーカーを表示します。
— 75	【75】		20～99%の範囲でセーフティーマーカーを設定します。
P MARKER		【PMRK】	プレビュー画面に表示するポジションマーカーの設定をします。
— OFF	【OFF】		ポジションマーカーを表示しません。
— 14:9	【14:9】		14:9マーカーを表示します。
— 13:9	【13:9】		13:9マーカーを表示します。
— 4:3	【4:3】		4:3マーカーを表示します。
PAYLOAD		【PYLD】	3G SDI LEVEL A/Bのパayloadについて設定します。
— THROUGH	【THR】		ペイロードをスルー出力します。
— OVERWRITE	【OVWR】		ペイロードを上書きします。
※映像フォーマットが3Gフォーマットの時のみ有効なメニューです。			
CONFIG		【CFG】	本体の各種設定を行います。
— REMOTE		【REM】	接点制御のオルタネイト/トリガーを選択します。
— OFF	【OFF】		接点制御を禁止します。
— ALTERNATE	【ALT】		接点をオルタネイト制御にします。
— TRIGGER	【TRIG】		接点をトリガー制御にします。
— REMOTE IN		【RIN】	接点入力のピンアサインを行います。
— PIN1	【PIN1】		REMOTE入力1のピンアサインを行います。
— OFF	【OFF】		REMOTE入力1を無効にします。
— L1S1 TAKE	【L1S1】		REMOTE入力1でLINE1のSUPER1 TAKE オン/オフに設定します。
— L1S2 TAKE	【L1S2】		REMOTE入力1でLINE1のSUPER2 TAKE オン/オフに設定します。
— L2S1 TAKE	【L2S1】		REMOTE入力1でLINE2のSUPER1 TAKE オン/オフに設定します。
— L2S2 TAKE	【L2S2】		REMOTE入力1でLINE2のSUPER2 TAKE オン/オフに設定します。
— L3S1 TAKE	【L3S1】		REMOTE入力1でLINE3のSUPER1 TAKE オン/オフに設定します。
— L3S2 TAKE	【L3S2】		REMOTE入力1でLINE3のSUPER2 TAKE オン/オフに設定します。
— AS ALL TAKE	【ASAL】		REMOTE入力1でSUPER ASSIGN ALL TAKE オン/オフに設定します。
— S1 ASA TAKE	【S1AA】		REMOTE入力1でSUPER1 ASSIGN ALL TAKE オン/オフに設定します。
— S2 ASA TAKE	【S2AA】		REMOTE入力1でSUPER2 ASSIGN ALL TAKE オン/オフに設定します。
— S1 AS1 TAKE	【S1A1】		REMOTE入力1でSUPER1 ASSIGN1 TAKE オン/オフに設定します。
— S1 AS2 TAKE	【S1A2】		REMOTE入力1でSUPER1 ASSIGN2 TAKE オン/オフに設定します。
— S1 AS3 TAKE	【S1A3】		REMOTE入力1でSUPER1 ASSIGN3 TAKE オン/オフに設定します。
— S1 AS4 TAKE	【S1A4】		REMOTE入力1でSUPER1 ASSIGN4 TAKE オン/オフに設定します。
— S2 AS1 TAKE	【S2A1】		REMOTE入力1でSUPER2 ASSIGN1 TAKE オン/オフに設定します。
— S2 AS2 TAKE	【S2A2】		REMOTE入力1でSUPER2 ASSIGN2 TAKE オン/オフに設定します。
— S2 AS3 TAKE	【S2A3】		REMOTE入力1でSUPER2 ASSIGN3 TAKE オン/オフに設定します。
— S2 AS4 TAKE	【S2A4】		REMOTE入力1でSUPER2 ASSIGN4 TAKE オン/オフに設定します。
— S1 KEY SEL	【S1KY】		REMOTE入力1でSUPER1のセルフキー オン/オフに設定します。
— S2 KEY SEL	【S2KY】		REMOTE入力1でSUPER2のセルフキー オン/オフに設定します。
— S1&2 KEY SEL	【S12K】		REMOTE入力1でSUPER1とSUPER2のセルフキー オン/オフに設定します。
— PIN2～4	【PIN2】		メニュー項目はPIN1と同じです。※2
※2 PIN2～4の工場出荷時設定は、PIN2=L1S2 TAKE、PIN3=L2S1 TAKE、PIN4=L2S2 TAKEになります。			

REMOTE OUT	【ROUT】	接点出力のピンアサインを行います。
PIN1	【PIN1】	REMOTE出力1のピンアサインを行います。
OFF	【OFF】	REMOTE出力1を無効にします。
L1S1 TALLY	【L1S1】	REMOTE出力1でLINE1のSUPER1 TALLYに設定します。
L1S2 TALLY	【L1S2】	REMOTE出力1でLINE1のSUPER2 TALLYに設定します。
L2S1 TALLY	【L2S1】	REMOTE出力1でLINE2のSUPER1 TALLYに設定します。
L2S2 TALLY	【L2S2】	REMOTE出力1でLINE2のSUPER2 TALLYに設定します。
L3S1 TALLY	【L3S1】	REMOTE出力1でLINE3のSUPER1 TALLYに設定します。
L3S2 TALLY	【L3S2】	REMOTE出力1でLINE3のSUPER2 TALLYに設定します。
AS ALL TALLY	【ASAL】	REMOTE出力1でSUPER ASSIGN ALL TALLYに設定します。
S1 ASA TALLY	【S1AA】	REMOTE出力1でSUPER1 ASSIGN ALL TALLYに設定します。
S2 ASA TALLY	【S2AA】	REMOTE出力1でSUPER2 ASSIGN ALL TALLYに設定します。
S1 AS1 TALLY	【S1A1】	REMOTE出力1でSUPER1 ASSIGN1 TALLYに設定します。
S1 AS2 TALLY	【S1A2】	REMOTE出力1でSUPER1 ASSIGN2 TALLYに設定します。
S1 AS3 TALLY	【S1A3】	REMOTE出力1でSUPER1 ASSIGN3 TALLYに設定します。
S1 AS4 TALLY	【S1A4】	REMOTE出力1でSUPER1 ASSIGN4 TALLYに設定します。
S2 AS1 TALLY	【S2A1】	REMOTE出力1でSUPER2 ASSIGN1 TALLYに設定します。
S2 AS2 TALLY	【S2A2】	REMOTE出力1でSUPER2 ASSIGN2 TALLYに設定します。
S2 AS3 TALLY	【S2A3】	REMOTE出力1でSUPER2 ASSIGN3 TALLYに設定します。
S2 AS4 TALLY	【S2A4】	REMOTE出力1でSUPER2 ASSIGN4 TALLYに設定します。
S1 KEY TALLY	【S1KY】	REMOTE入力1でSUPER1のセルフキー TALLYに設定します。
S2 KEY TALLY	【S2KY】	REMOTE入力1でSUPER2のセルフキー TALLYに設定します。
S1&2 KEY TALLY	【S12K】	REMOTE入力1でSUPER1とSUPER2のセルフキー TALLYに設定します。
PIN2～4	【PIN2】	メニュー項目はPIN1と同じです。※3
※3 PIN2～4の工場出荷時設定は、PIN2=L1S2 TALLY、PIN3=L2S1 TALLY、PIN4=L2S2 TALLYになります。		
DELAY	【DLY】	接点制御の遅延時間を設定します。
0	【0】	0～90フレームの範囲で設定します。
PANEL	【PNL】	リモコンパネルに関する各種設定を行います。
LOCK1	【LCK1】	リモコンパネル1の操作ロック オン/オフを設定します。
ON	【ON】	リモコンパネル1を操作ロックオン(操作禁止)に設定します。
OFF	【OFF】	リモコンパネル1を操作ロックオフ(操作可能)に設定します。
LOCK2	【LCK2】	リモコンパネル2の操作ロック オン/オフを設定します。項目はPANEL LOCK1と同じ。
DISP DEF	【DIDF】	CK-70W-01パネルのボタンにデフォルトで表示する情報を設定します。
TRANS	【TRN】	トランジション情報を表示します。
INFO	【INFO】	設定情報を表示します。
FADER	【FDER】	フェーダーレバーの設定を行います。
START	【STAR】	フェーダーレバーのレベル0%の開始点を設定します。
0	【0】	0～300の範囲でフェーダーレバーの開始点を設定します。
END	【END】	フェーダーレバーのレベル100%の終了点を設定します。
1023	【1023】	723～1023の範囲でフェーダーレバーの終了点を設定します。
PANEL1TAKE1	【P1T1】	リモコンパネル1のTAKEスイッチ1のモードを設定します。※3
ALL	【ALL】	スーパー1と2を全ての本線へアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S1 ALL	【S1AL】	スーパー1を全ての本線へアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S2 ALL	【S2AL】	スーパー2を全ての本線へアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S1 ASSIGN1	【S1A1】	スーパー1をパターン1でアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S1 ASSIGN2	【S1A2】	スーパー1をパターン2でアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S1 ASSIGN3	【S1A3】	スーパー1をパターン3でアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S1 ASSIGN4	【S1A4】	スーパー1をパターン4でアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S2 ASSIGN1	【S2A1】	スーパー2をパターン1でアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S2 ASSIGN2	【S2A2】	スーパー2をパターン2でアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S2 ASSIGN3	【S2A3】	スーパー2をパターン3でアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
S2 ASSIGN4	【S2A4】	スーパー2をパターン4でアサインし、TAKE オンでスーパーインポーズします。
PANEL1TAKE2	【P1T2】	リモコンパネル1のTAKEスイッチ2のモードを設定します。項目はPANEL1 TAKE1と同じ。※3※4
PANEL2TAKE1	【P2T1】	リモコンパネル2のTAKEスイッチ1のモードを設定します。項目はPANEL1 TAKE1と同じ。※3※4
PANEL2TAKE2	【P2T2】	リモコンパネル2のTAKEスイッチ2のモードを設定します。項目はPANEL1 TAKE1と同じ。※3※4

※3 CK-70W-01ではPANEL1TAKE1、PANEL2TAKE1を使用します。PANEL1TAKE1はSuper1側、PANEL2TAKE1はSuper2側に対する設定です。(図4-1.1 CK-70W-01参照) PANEL1TAKE2、PANE2TAKE2は将来拡張用で未使用です。

※4 工場出荷時設定は、PANEL1TAKE2=S1 ALL、PANE2TAKE1、PANEL2TAKE2=S2 ALLになります。

LINE		【LINE】	本線映像に関する各種設定を行います。
CASCADE		【CASC】	カスケード接続設定を行います。
OFF		【OFF】	カスケード接続をしません。
TOP+END		【TPED】	カスケード接続をします。CK-70W1枚とCK-70ECを接続する際に設定します。
TOP		【TOP】	カスケード接続TOPで使します。
MID		【MID】	カスケード接続MIDで使します。
END		【END】	カスケード接続ENDで使します。
LINE1 NOSIG		【L1NO】	本線映像1の入力が未入力の際の動作を設定します。
BLACK		【BLAC】	未入力の際本線映像入力を黒味にします。
NONE		【NONE】	未入力の際本線映像入力を処理せず、ノイズ画面にします。
AUTO		【AUTO】	本線映像1が未入力の際、本線映像2に入力があれば本線映像2を本線映像とします。
LINE2 NOSIG		【L2NO】	本線映像2の入力が未入力の際の動作を設定します。項目はLINE1 NO SIGと同じ。
LINE IN		【LIN】	本線映像1～3の入力元を選択します。※5
IN1		【IN1】	本線映像1として使用する本線映像信号を選択します。
LINE1		【LIN1】	本線映像1に入力されている信号を本線映像1として使します。
LINE2		【LIN2】	本線映像2に入力されている信号を本線映像1として使します。
IN2		【IN2】	本線映像として使用する本線映像信号を選択します。項目はIN1と同じ。
IN3		【IN3】	本線映像3として使用する本線映像信号を選択します。項目はIN1と同じ。
※5 CASCADE TOP+END or TOP時のみ選択可。			
LINE OUT		【LOUT】	本線映像1～3の出力元を選択します。※6
OUT1		【OUT1】	OUT1(CK-70EC LINE1 OUT)の入力元を選択します。
LINE1		【LIN1】	OUT1(CK-70EC LINE1 OUT)の入力元をLINE1に設定します。
LINE2		【LIN2】	OUT1(CK-70EC LINE1 OUT)の入力元をLINE2に設定します。
LINE3		【LIN3】	OUT1(CK-70EC LINE1 OUT)の入力元をLINE3に設定します。
OUT2		【OUT2】	OUT2(CK-70EC LINE2 OUT)の入力元を選択します。項目はOUT1と同じ。
OUT3		【OUT3】	OUT3(CK-70W OUT1)の入力元を選択します。項目はOUT1と同じ。
※6 DSK+EC 2or3LINEでCASCADE TOP+END or END時のみ選択可。			

SUPER1		【SUP1】	SUPER1の各種設定を行います。
TRANSITION		【TRN】	トランジションの設定をします。
ON TK MODE		【ONTK】	TAKE オフ → オンのトランジションを設定します。
CUT		【CUT】	トランジションをカットに設定します。
FADE		【FADE】	トランジションをフェードに設定します。
OFF TK MODE		【OFTK】	TAKE オン → オフのトランジションを設定します。項目はON TAKE MODEと同じ。
ON TAKE SPD		【ONSP】	TAKE オフ → オンのフェードスピードを設定します。
15		【15】	2～300フレームの範囲で設定します。
OFF TAKE SPD		【OFSP】	TAKE オン → オフのフェードスピードを設定します。項目はON TAKE SPEEDと同じ。
FD TK MODE		【FDTK】	フェード中にテイクオン・オフ操作をした時の動作モードを設定します。
CANCEL		【CAN】	フェードをキャンセルしてスーパーをカットアウトします。
BLOCK		【BLK】	フェード中はテイクオン・オフ操作を無視します。
FILL		【FILL】	FILL信号に関する各種設定をします。
SELECT		【SEL】	FILL信号を選択します。
EXT		【EXT】	外部FILL信号を使用します。
WHITE		【WHT】	FILL信号を全面白に設定します。
BLACK		【BLAC】	FILL信号を全面黒に設定します。
VARI		【VARI】	FILL信号を任意の色に設定します。
L:16		【L】	輝度の設定をします。
H:103		【H】	色相の設定をします。
S:72		【S】	彩度の設定をします。
SOLARIZE		【SOLA】	FILL信号を本線映像信号の輝度を反転させた信号に設定します。
SOLA COL		【SOCL】	FILL信号を本線映像信号の輝度を反転させ、VARIで指定した任意の色に設定します。
ANIMATION		【ANIM】	FILL信号を任意のアニメーション色に設定します。
START		【STAR】	アニメーションの始まりの色を設定します。
L:16		【L】	アニメーションの輝度の設定をします。
H:103		【H】	アニメーションの色相の設定をします。
S:72		【S】	アニメーションの彩度の設定をします。
END		【END】	アニメーションの終わりの色を設定します。項目STARTと同じ。
STEP		【STEP】	アニメーションの遷移ステップを設定します。項目STARTと同じ。
END ACTION		【EACT】	アニメーション終了時の設定をします。
TOP		【TOP】	アニメーション終了後、頭に戻ってから再度アニメーションします。
REV		【REV】	アニメーション終了後、頭に向かって戻りながらアニメーションします。
CHG FRAME		【CHGF】	アニメーション切り替え時間を設定します。
15		【15】	アニメーション切り替え時間をフレーム数で設定します。
SOLA ANIM		【SOAN】	FILL信号を本線映像信号の輝度を反転させ、任意のアニメーション色に設定します。項目はANIMATIONと同じ。
POSITION		【POS】	FILLのポジションを設定します。
H:0		【H】	水平位置を設定します。
V:0		【V】	垂直位置を設定します。
KEY		【KEY】	KEY信号に関する各種設定をします。
SELECT		【SEL】	KEY信号を選択します。
EXT		【EXT】	外部KEY信号でスーパーインポーズします。
SELF		【SELF】	外部FILL信号でスーパーインポーズします。
MIX MODE		【MIMD】	KEY信号ミックスモードを選択します。
LINEAR		【LIAR】	リニアモードに設定します。 $(LINE \times (1 - KEY) + FILL \times KEY)$
ADD		【ADD】	二重抜き防止モードに設定します。 $(LINE \times (1 - KEY) + FILL)$
CLIP		【CLIP】	ルミナンス、クロマクリップを設定します。
LUMI CLIP		【LUCL】	ルミナンスクリップを設定します。
LOW:0		【LOW】	ロークリップの設定をします。調整範囲0～99%。
HIGH:100		【HIGH】	ハイクリップの設定をします。調整範囲1～100%。
CHROMA CLIP		【CHRM】	クロマクリップを設定します。項目はLUMI CLIPと同じ。
GAIN		【GAIN】	KEY信号のレベル調整を行います。
100		【100】	1～100%の範囲で設定します。 ※100%で元のレベルのまま出力され、50%で元のレベルの半分で出力されます。

EDGE		【EDGE】	スーパーに付加するエッジに関する各種設定をします。
FORM		【FORM】	エッジのモードを選択します。
OFF		【OFF】	スーパーにエッジを付けません。
NORMAL		【NOR】	スーパーにノーマルエッジを付けます。
DROP		【DROP】	スーパーにドロップエッジを付けます。
SLANT		【SLAN】	エッジ傾斜を選択します。
SOFT		【SOFT】	エッジをソフトエッジにします。
HARD		【HARD】	エッジをハードエッジにします。
WIDTH		【WID】	エッジ幅を選択します。
1 dot		【1】	エッジ幅を1ドットに設定します。
2 dot		【2】	エッジ幅を2ドットに設定します。
3 dot		【3】	エッジ幅を3ドットに設定します。
4 dot		【4】	エッジ幅を4ドットに設定します。
5 dot		【5】	エッジ幅を5ドットに設定します。
6 dot		【6】	エッジ幅を6ドットに設定します。
7 dot		【7】	エッジ幅を7ドットに設定します。
8 dot		【8】	エッジ幅を8ドットに設定します。
9 dot		【9】	エッジ幅を9ドットに設定します。
10 dot		【10】	エッジ幅を10ドットに設定します。
ANIMATION		【ANIM】	エッジ幅を任意のアニメーションパターンに設定します。
START		【STAR】	アニメーションの始まりのパラメーターを設定します。
2		【2】	アニメーションのパラメーターの設定をします。
END		【END】	アニメーションの終わりのパラメーターを設定します。項目STARTと同じ。
STEP		【STEP】	アニメーションの遷移ステップを設定します。項目STARTと同じ。
END ACTION		【EACT】	アニメーション終了時の設定をします。
TOP		【TOP】	アニメーション終了後、頭に戻ってから再度アニメーションします。
REV		【REV】	アニメーション終了後、頭に向かって戻りながらアニメーションします。
CHG FRAME		【CHGF】	アニメーション切り替え時間を設定します。
15		【15】	アニメーション切り替え時間をフレーム数で設定します。
DIRECTION		【DIRE】	ドロップエッジを付ける方向を選択します。
TOP LEFT		【TOPL】	ドロップエッジを左上に付けます。
TOP RIGHT		【TOPR】	ドロップエッジを右上に付けます。
BOTM LEFT		【BOTL】	ドロップエッジを左下に付けます。
BOTM RIGHT		【BOTR】	ドロップエッジを右下に付けます。
COLOR		【COLR】	エッジカラーを選択します。
WHITE		【WHT】	エッジカラーを白に設定します。
BLACK		【BLAC】	エッジカラーを黒に設定します。
VARI		【VARI】	エッジカラーを任意の色に設定します。
L:16		【L】	輝度の設定をします。
H:103		【H】	色相の設定をします。
S:72		【S】	彩度の設定をします。
ANIMATION		【ANIM】	エッジカラーを任意のアニメーション色に設定します。
START		【STAR】	アニメーションの始まりの色を設定します。
L:16		【L】	アニメーションの輝度の設定をします。
H:103		【H】	アニメーションの色相の設定をします。
S:72		【S】	アニメーションの彩度の設定をします。
END		【END】	アニメーションの終わりの色を設定します。項目STARTと同じ。
STEP		【STEP】	アニメーションの遷移ステップを設定します。項目STARTと同じ。
END ACTION		【EACT】	アニメーション終了時の設定をします。
TOP		【TOP】	アニメーション終了後、頭に戻ってから再度アニメーションします。
REV		【REV】	アニメーション終了後、頭に向かって戻りながらアニメーションします。
CHG FRAME		【CHGF】	アニメーション切り替え時間を設定します。
15		【15】	アニメーション切り替え時間をフレーム数で設定します。
THRESHOLD		【THR】	エッジを付加するKEYレベルの閾値を設定します。
0		【0】	エッジを付加するKEYレベルの閾値を0～90%の範囲で設定します。

※仮に10%と設定すると10%以下のKEYレベル信号にはエッジを付加しません。

表 4-21 メニューツリー

SHADOW		【SHAD】	スーパーに付加するシャドーに関する各種設定をします。
FORM		【FORM】	シャドーのモードを選択します。
OFF		【OFF】	スーパーにシャドーを付けません。
DEEP		【DEEP】	スーパーにディープシャドーを付けます。
DROP		【DROP】	スーパーにドロップシャドーを付けます。
DISTANCE		【DIST】	スーパーとシャドーの距離を設定します。
5		【5】	スーパーとシャドーの距離を0～11の範囲で選択します。※0はシャドーなしです。
ANIMATION		【ANIM】	スーパーとシャドーの距離を任意のアニメーションパターンに設定します。
START		【STAR】	アニメーションの始まりのパラメーターを設定します。
0		【0】	アニメーションのパラメーターの設定をします。
END		【END】	アニメーションの終わりのパラメーターを設定します。項目STARTと同じ。
STEP		【STEP】	アニメーションの遷移ステップを設定します。項目STARTと同じ。
END ACTION		【EACT】	アニメーション終了時の設定をします。
TOP		【TOP】	アニメーション終了後、頭に戻ってから再度アニメーションします。
REV		【REV】	アニメーション終了後、頭に向かって戻りながらアニメーションします。
CHG FRAME		【CHGF】	アニメーション切り替え時間を設定します。
15		【15】	アニメーション切り替え時間をフレーム数で設定します。
LEVEL		【LV】	シャドーのキーレベルを設定します。
50		【50】	シャドーのキーレベルを0～100%の範囲で設定します。
COLOR		【COLR】	シャドーカラーを選択します。
WHITE		【WHT】	シャドーカラーを白に設定。
BLACK		【BLAC】	シャドーカラーを黒に設定。
VARI		【VARI】	シャドーカラーを任意の色に設定。
L:16		【L】	輝度の設定をします。
H:103		【H】	色相の設定をします。
S:72		【S】	彩度の設定をします。
ANIMATION		【ANIM】	シャドーカラーを任意のアニメーション色に設定します。
START		【STAR】	アニメーションの始まりの色を設定します。
L:16		【L】	アニメーションの輝度の設定をします。
H:103		【H】	アニメーションの色相の設定をします。
S:72		【S】	アニメーションの彩度の設定をします。
END		【END】	アニメーションの終わりの色を設定します。項目STARTと同じ。
STEP		【STEP】	アニメーションの遷移ステップを設定します。項目STARTと同じ。
END ACTION		【EACT】	アニメーション終了時の設定をします。
TOP		【TOP】	アニメーション終了後、頭に戻ってから再度アニメーションします。
REV		【REV】	アニメーション終了後、頭に向かって戻りながらアニメーションします。
CHG FRAME		【CHGF】	アニメーション切り替え時間を設定します。
15		【15】	アニメーション切り替え時間をフレーム数で設定します。
PRV ASSIGN		【PVAS】	プレビュー出力の設定をします。※7
ALL		【ALL】	アサインパターンに関係なくSUPER1に入力されている信号をプレビュー出力します。
ASSIGN1		【ASG1】	アサインパターン1に設定し、プレビュー出力します。※8
ASSIGN2		【ASG2】	アサインパターン2に設定し、プレビュー出力します。※8
ASSIGN3		【ASG3】	アサインパターン3に設定し、プレビュー出力します。※8
ASSIGN4		【ASG4】	アサインパターン4に設定し、プレビュー出力します。※8
OFF		【OFF】	SUPER1の信号をプレビュー出力しません。
※7 LINE3システムモードにおいてはPRV ASSIGNの設定に関係なく、プレビューの出力は全てのスーパー出力をします。			
※8 LINE2システムモードでアサインTAKEを行う時に有効な設定です。			
ASSIGN1		【ASG1】	スーパーの本線映像へのアサインパターン1を設定します。
LINE1		【LIN1】	本膳映像1へのスーパーアサインを設定します。
ON		【ON】	本膳映像1へのスーパーアサインをオンにします。
OFF		【OFF】	本膳映像1へのスーパーアサインをオフにします。
LINE2		【LIN2】	本線映像2へのスーパーアサインを設定します。項目はLINE1と同じ。
LINE3		【LIN3】	本線映像3へのスーパーアサインを設定します。項目はLINE1と同じ。
ASSIGN2		【ASG2】	スーパーの本線映像へのアサインパターン2を設定します。項目はASSIGN1と同じ。
ASSIGN3		【ASG3】	スーパーの本線映像へのアサインパターン3を設定します。項目はASSIGN1と同じ。
ASSIGN4		【ASG4】	スーパーの本線映像へのアサインパターン4を設定します。項目はASSIGN1と同じ。

— SUPER2	【SUP2】	SUPER2の各種設定を行います。項目はSUPER1と同じ。
— INFO	【INFO】	モジュールの情報を表示します。
— VER	【VER】	ソフトウェア、ハードウェアのバージョンを表示します。
— AVDL STATUS	【AVST】	AVDLのステータスを表示します。
— STATUS	【STS】	各種ステータスを表示します。

※メニューツリー内の、灰色で網掛けした部分は工場出荷時のデフォルト設定になります。【 】内の文字は、モジュール正面の表示器に表示される文字を示します。

3. 各機能説明

(1) SYSTEM 設定

◇FORMAT

モジュール正面の、**MENU** ボタンを押します。ボタンランプが赤点灯し、メニュー設定モードに入ります。プレビュー出力に、メニュー画面が表示されます。SYSTEM から FORMAT を選択し、映像フォーマットを選択します。

SYSTEM	FORMAT	1080i/59
CONFIG	MODE	1080i/50
LINE	REFERENCE	1080p/59 A
SUPER1	GENLOCK	1080p/50 A
SUPER2	COLOR LIMIT	1080sF/24
INFO	DISPLAY	1080sF/23
	S MARKER	1080p/24
	P MARKER	1080p/23
		→ AUTO

図 4-3.1 FORMAT メニュー

① AUTO

プレビュー出力のメニュー画面から、AUTO を選択し **ENTER** ボタンを押します。

CK-70W の LINE1 に CK-70W が対応している映像フォーマットの 3G-SDI(Level-A)/HD-SDI 信号を入力します。一定時間後に映像フォーマットを自動判別し、入力された映像フォーマットで動作します。

※DSKモード時はLINE1、LINE2の何れかに入力された信号を判別します。

※COMBINERモード時はFILL1、KEY1、FILL2、KEY2の何れかに入力された信号を判別します。

※カスケード接続時には左隣のモジュールから内部バスに入力された信号を判別します。

◇MODE

モジュール正面の、**MENU** ボタンを押します。ボタンランプが赤点灯し、メニュー設定モードに入ります。プレビュー出力に、メニュー画面が表示されます。SYSTEM から MODE を選択し、出力モードを選択します。

SYSTEM	FORMAT	→ DSK
CONFIG	MODE	COMBINER
LINE	REFERENCE	DSK+EC 1L
SUPER1	GENLOCK	DSK+EC 2L
SUPER2	COLOR LIMIT	DSK+EC 3L
INFO	DISPLAY	COMB+EC
	S MARKER	DSK+COMB+EC
	P MARKER	

図 4-3.2 MODE メニュー

※CK-70ECの4KモードがOFF以外の時にはこのメニューは無効になります。各メニュー設定値は4Kモードの設定値により固定されます。CK-70ECの4KモードをOFFにするとこのメニューを設定可能になります。

①DSK モード

プレビュー出力のメニュー画面から、DSK を選択し **ENTER** ボタンを押します。

CK-70W を 1 モジュール使用した、本線入出力映像 1 系統、プレビュー出力 1 系統の DSK モードです。

メニュー画面を抜け、**ENTER** ボタンを押します。**MENU** ボタンが赤点滅し表示器に ALL の文字が表示され TAKE 待ちの状態となります。**ENTER** ボタンを押すことで、本線映像出力に 2 系統のスーパー信号がスーパーインポーズします。

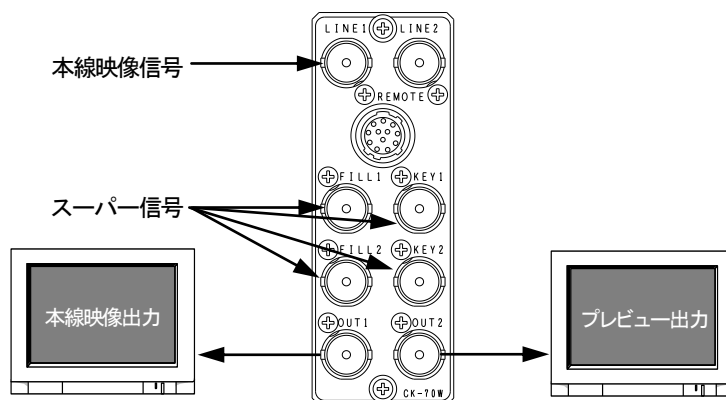


図 4-3.3 DSK モードの接続

②COMBINER モード

プレビューメニュー画面から、COMBINER を選択し **ENTER** ボタンを押します。

OUT1、OUT2 共に黒画面に切り替わります。CK-70W を 1 モジュール使用し、2 系統のスーパーを合成して 1 系統の FILL/KEY を出力するコンバイナーモードです。アップストリームキーとしてご使用いただけます。

DSK モードと同様に、TAKE することで OUT1 に FILL、OUT2 に KEY を出力します。

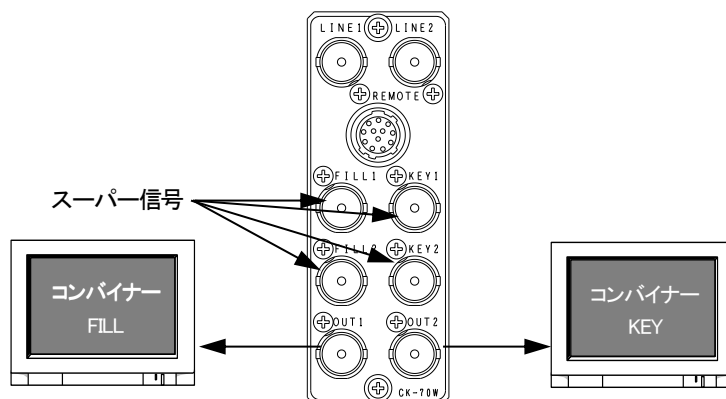


図 4-3.4 COMBINER モードの接続

※COMBINER モードを選択し、LINE 入力が無い時はスーパー信号をリファレンスとして使用します。REFERENCE が【LDIR】の場合

※COMBINER モードを選択した場合、OUT2 側のメニュー表示はしません。設定変更する時は、モジュール正面の表示器または、アプリケーションにより設定変更してください。

③DSK+EC 1L モード接続

プレビューメニュー画面から、DSK+EC 1Lを選択し`ENTER`ボタンを押します。※1

CK-70W、CK-70ECを1モジュールずつ使用し、本線映像1、プレビュー1 系統出力の DSK モードです。※2 ※3

DSK モードと同様に、TAKE することで本線映像出力にスーパーインポーズします。

このモードでは、CASCADE ON でも OFF でもご使用いただけます。どちらも同じ出力となります。

CASCADE OFF では、エマージェンシースルーには対応しません。

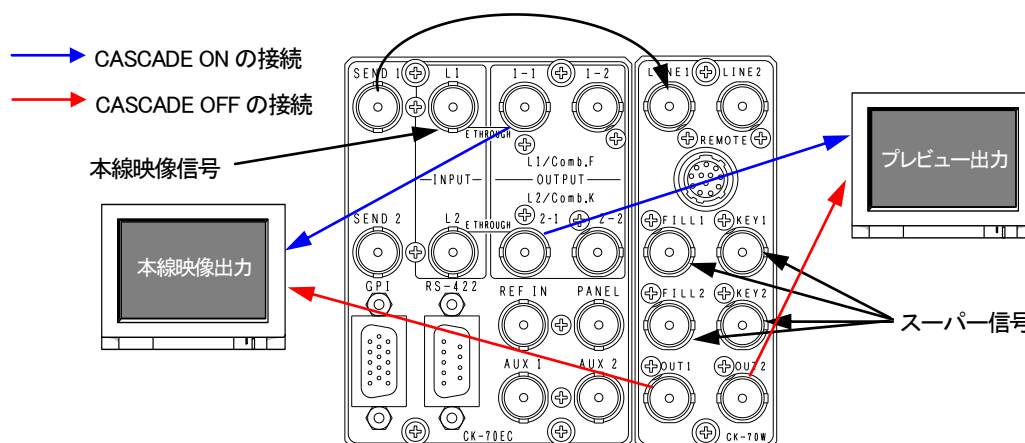


図 4-3.5 DSK+EC 1L モードの接続

※1. LINE メニューの CASCADE 選択で OFF が選択されていると、DSK+EC 1L モードは選択できませんので注意してください。

※2. CK-70EC の L1 INPUT と L1-1 OUT はエマージェンシースルーに対応しています。電源断や外部接点制御で移動します。

※3. CK-70W と CK-70EC をカスケード接続する時は、CK-70W をスロットの低い番号に実装し、CK-70EC を真横の高いスロット番号(カスケード時の排熱を考慮して、できる限り右のスロットに実装してください。Vbus-70C 筐体では Slot9)に実装します。カスケード接続は、筐体の内部バスで接続するためスロットを空けないで隣同士に実装してください。

④DSK+EC 2L モード接続

プレビューメニュー画面から、DSK+EC 2Lを選択し`ENTER`ボタンを押します。※1

CK-70W、CK-70ECを1モジュールずつ使用し、本線映像2、プレビュー2 系統出力の DSK モードです。※2 ※3

DSK モードと同様に、TAKE することで本線映像出力にスーパーインポーズします。

このモードでは、CASCADE を選択してご使用ください。

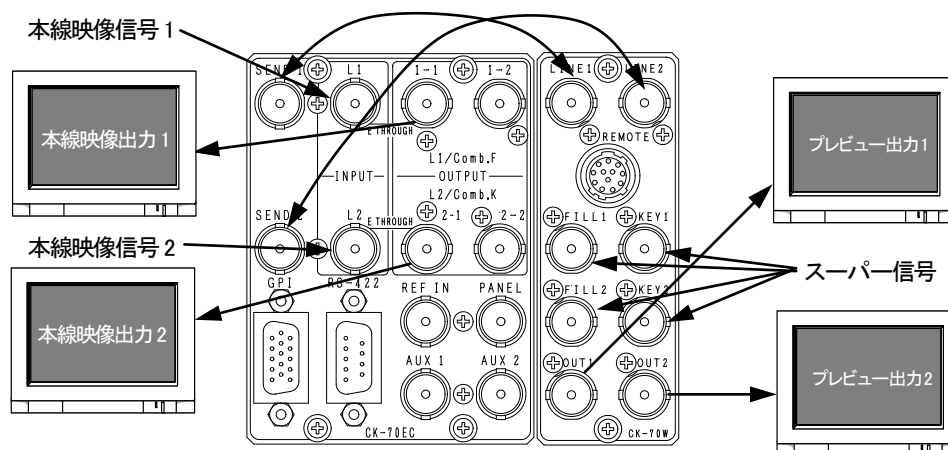


図 4-3.6 DSK+EC 2L モードの接続

※1、※2、※3についてはDSK+EC 1Lと同様です。

⑤DSK+EC 3L モード接続

プレビューメニュー画面から、DSK+EC 3L を選択し **ENTER** ボタンを押します。※1

CK-70W、CK-70EC、CK-70EMG を 1 モジュールずつ使用し、本線映像 3、プレビュー1 系統出力の DSK モードです。※2 ※3 ※4 DSK モードと同様に、TAKE することで本線映像出力にスーパーインポーズします。各映像出力にスーパーをアサインすることができます。このモードでは、CASCADE を選択してご使用ください。

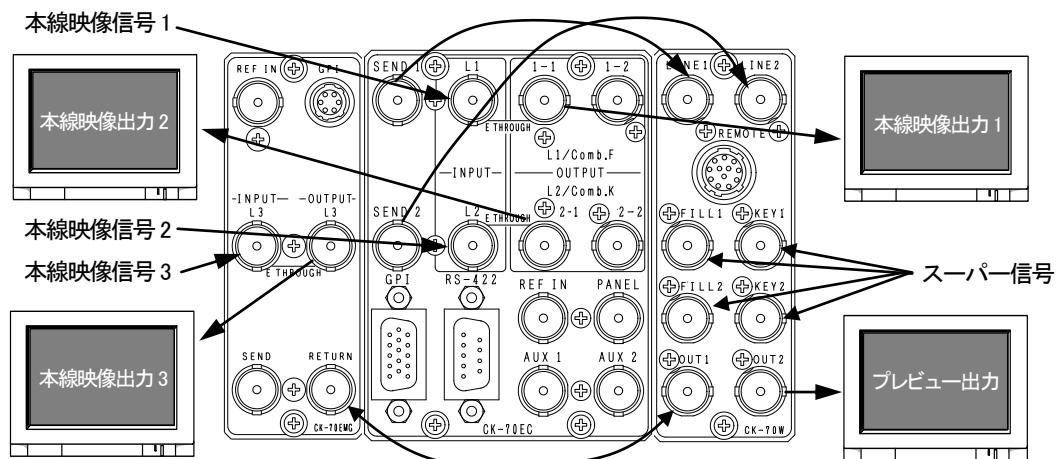


図 4-3.7 DSK+EC 3L モードの接続

※1、※2、※3についてはDSK+EC 1Lと同様です。

※4. L3 INPUT は、エマージェンシースルーを実現するための入力です。L3 OUTPUT は、L1 または L2 の本線映像から選択します。L3 のエマージェンシースルーが必要ない場合は、CK-70EMG を省くことができます。

⑥COMB+EC モード接続

プレビューメニュー画面から、COMB+EC を選択し **ENTER** ボタンを押します。※1

CK-70W、CK-70EC を 1 モジュールずつ使用し、2 系統スーパーを合成して 1 系統の FILL/KEY を出力するコンバイナーモードです。※3 アップストリームキーとしてご使用いただけます。DSK モードと同様に、TAKE することで FILL、KEY を出力します。このモードでは、CASCADE を選択してご使用ください。

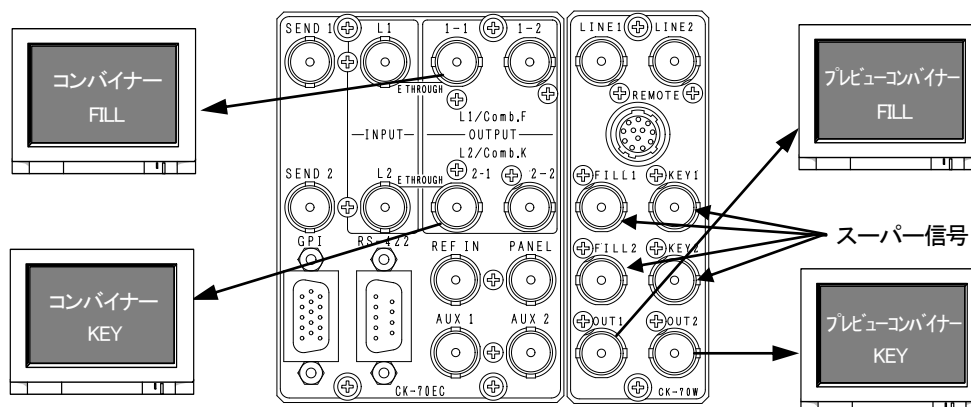


図 4-3.8 COMB+EC モードの接続

※1、※3についてはDSK+EC 1Lと同様です。

※COMBINER モードを選択し、LINE 入力が無い時はスーパー信号をリファレンスとして使用します。REFERENCE が【LDIR】の場合

⑦DSK+COMB+EC モード接続

プレビューメニュー画面から、DSK+COMB+EC を選択し **ENTER** ボタンを押します。※1

CK-70W、CK-70EC を 1 モジュールずつ使用し、本線映像 1、プレビュー 1 系統出力の DSK モードと 2 系統スーパーを合成して 1 系統の FILL/KEY を出力するコンバイナーモードです。※2、※3

コンバイナー出力はアップストリームキーとしてご使用いただけます。

DSK モードと同様に、TAKE することで本線映像出力に 2 系統のスーパー信号がスーパーインポーズします。

コンバイナー出力は FILL、KEY を出力します。このモードでは、CASCADE を選択してご使用ください。

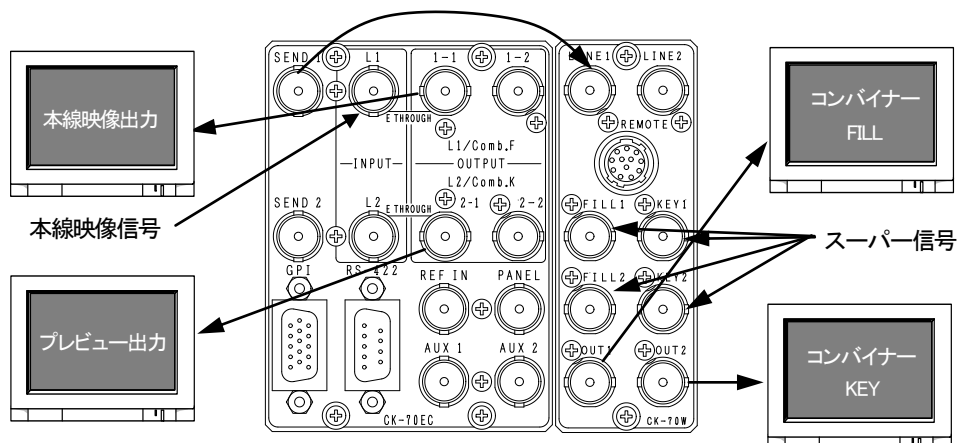


図 4-3.9 DSK+COMB+EC モードの接

※1、※2、※3については DSK+EC 1L と同様です。

注意！ MODE を変更すると TAKE 状態がデフォルトに戻り、必ず TAKE OFF された状態になります。運用中に MODE を変更するのは事故の原因になりますのでお控えください。

◇REFERENCE

リファレンス信号の分配モードを選択します。

SYSTEM	FORMAT	LINE DIRECT
CONFIG	MODE	→ EXT SUB
LINE	REFERENCE	
SUPER1	GENLOCK	
SUPER2	COLOR LIMIT	
INFO	DISPLAY	
	S MARKER	
	P MARKER	

図4-3.10 REFERENCEメニュー

1. LINE DIRECT : ライン信号をリファレンス信号として同期します。
2. EXT SUB : リファレンス信号を筐体内バスから受信して同期します。

3 枚以上のカスケード接続の際は、可能な限り EXT SUB でご使用ください。LINE DIRECT でカスケードすると信号をロックするのに時間がかかります。

◇GENLOCK

CK-70W は、ライン入力部に 1 ライン AVDL を内蔵しています。リファレンス位相とライン信号の関係が正しくないと映像障害の原因となりますので適切に設定してください。詳細は次頁の【GENLOCK の位相調整】にまとめられていますので参照してください。なお、コンバイナーモードで使用する場合はライン入力がありませんので、GENLOCK は任意の位相に調整してください。

SYSTEM	FORMAT	MANUAL	→ H:0	1080i/59.94
CONFIG	MODE	MINIMUM	V:0	LINE1 : Instability
LINE	REFERENCE	MIN OFFSET	H:0	0line -96dot
SUPER1	GENLOCK			-1.296 usec
SUPER2	COLOR LIMIT			LINE2 : Instability
INFO	DISPLAY			UNLOCK
	S MARKER			
	P MARKER			

図 4-3.11 GENLOCK メニュー

1. **MANUAL** : 手動で、ゲンロックタイミングを調整します。
 - H : 水平位置を設定します。調整範囲は下記、**映像フォーマット別ゲンロックタイミング調整範囲表**を参照してください。
 - V : 垂直位置を設定します。調整範囲は下記、**映像フォーマット別ゲンロックタイミング調整範囲表**を参照してください。
2. **MINIMUM** : 自動で、AVDL 範囲の最小値にゲンロックタイミングを調整します。
 - H : リファレンスとライン入力の位相差を計算し、AVDL 範囲に入る数値を表示します。
 - V : リファレンスとライン入力の位相差を計算し、AVDL 範囲に入る数値を表示します。
3. **MIN OFFSET** : AVDL 範囲の最小値にオフセットするゲンロックタイミングを調整します。
 - H : MINIMUM 設定時にオフセットする水平位置を設定します。出力タイミングは AVDL 範囲の最小値+オフセットとなり、仮に 100 を設定すると最小値+100 ドットの位置に調整されます。

※メニュー画面、右端の表示は、リファレンスとの位相差を計算して表示します。LINE1 : Instability が表示されている時は、位相調整してライン信号が AVDL 範囲に入る様になります。AVDL 範囲に入ると右端の表示が、LINE1 : Stability と表示されます。

※ライン入力が無い場合、UNLOCK がメニュー画面右端に表示されます。

※コンバイナーモードのカスケード TOP で MINIMUM を設定するとゲンロックタイミングは H:0、V:-1 に設定されます。

映像フォーマット別ゲンロックタイミング調整範囲表

映像フォーマット	水平位置範囲	垂直位置範囲
1080i/59.94	±2199	±1124
1080i/50	±2639	±1124
1080p/59.94	±2199	±1124
1080p/50	±2639	±1124
1080sF/24	±2749	±1124
1080sF/23.98	±2749	±1124
1080p/24	±2749	±1124
1080p/23.98	±2749	±1124

【GENLOCK の位相調整について】

SYSTEM→REFERENCE→EXT SUB を選択した場合、リファレンス信号は、筐体内部バス経由で供給されます。

リファレンス信号を使用すると、1LINE の AVDL が機能します。出力の位相は工場出荷時設定でリファレンス信号と同相で出力されます。1080i の信号を入力した場合、CK-70W の最小内部遅延は約 $2\mu\text{s}$ (3G 信号は約 $1\mu\text{s}$) です。で、リファレンス信号と同相の LINE 信号を入力した場合、AVDL の LINE 位相引き込み範囲を外れるために映像の中身が 1 ライン落ちて出力されます。

※映像は 1 ライン落ちて見えますが、出力の同期信号はリファレンス信号と同相です。

リファレンス信号と同相で出力させ、かつ映像を 1 ライン落とさずに出力させたい場合は約 $2\mu\text{s}$ (3G 信号は約 $1\mu\text{s}$) 以上アドバンスした LINE 信号を使用するか、または約 $2\mu\text{s}$ (3G 信号は約 $1\mu\text{s}$) デイレイしたリファレンス信号を使用してください。

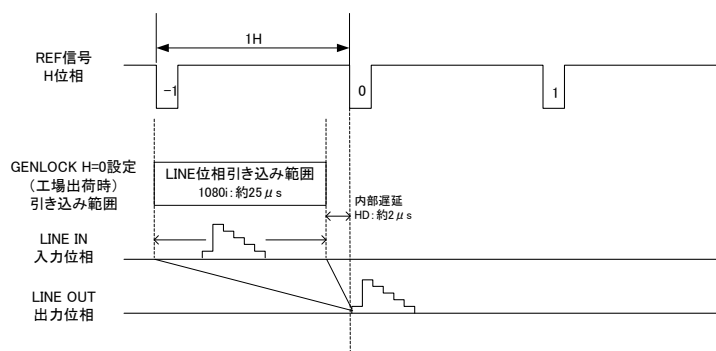


図 4-3.12 LINE 位相引き込み範囲

安定して LINE 信号が AVDL の引き込み範囲内にあると、「図 4-11 GENLOCK メニュー」上のステータスが、「LINE1: Stability」と表示されます。引き込み範囲から外れた場合、あるいは引き込んでいるが余裕がない場合は「LINE1: Instability」と表示されます。この場合、ライン信号、またはリファレンス信号の位相をずらして「LINE1: Stability」と表示されるように調整してください。また、デイレイしたリファレンス信号を用意できない場合は、疑似的に CK-70W 側でリファレンス信号の位相をずらすことができます。調整方法には手動調整と自動調整があります。

手動調整手順

SYSTEM→GENLOCK→MANUAL の階層にて、H、V の位相を動かすことができます。「Stability」と表示されるように設定してください。なお、H、V の位相を動かすと AVDL の引き込み範囲と出力の位相が同時に動きますので注意してください。

自動調整手順

SYSTEM→GENLOCK→MINIMUM の階層で **ENTER** ボタンを押します。自動でリファレンス信号とライン信号の位相を見て自動調整されます。ライン信号が安定して AVDL の LINE 位相引き込み範囲に入り、かつ最小遅延(最小遅延に余裕を持たせたい場合、事前に SYSTEM→GENLOCK→MIN OFFSET でオフセットするゲンロックタイミング水平位置を設定しておきます)で設定されます。CK-70W の前段にブランキングスイッチャーがある場合、どの系統においても「Stability」の判定がされることを予め確認してください。ある系統で「Instability」と表示された場合、再度自動調整を実行するか、あるいは手動調整で H の位相を＋方向に調整してください。

カスケード接続する場合

下図は Vbus-C 筐体実装時、筐体正面から見たモジュールの並びとカスケード設定内容、および LINE 信号の流れを示しています。スーパーの優先順位は固定で、優先順位の最下位は Cascade TOP モジュールの SUPER1、最上位は Cascade END モジュールのスーパー2です。

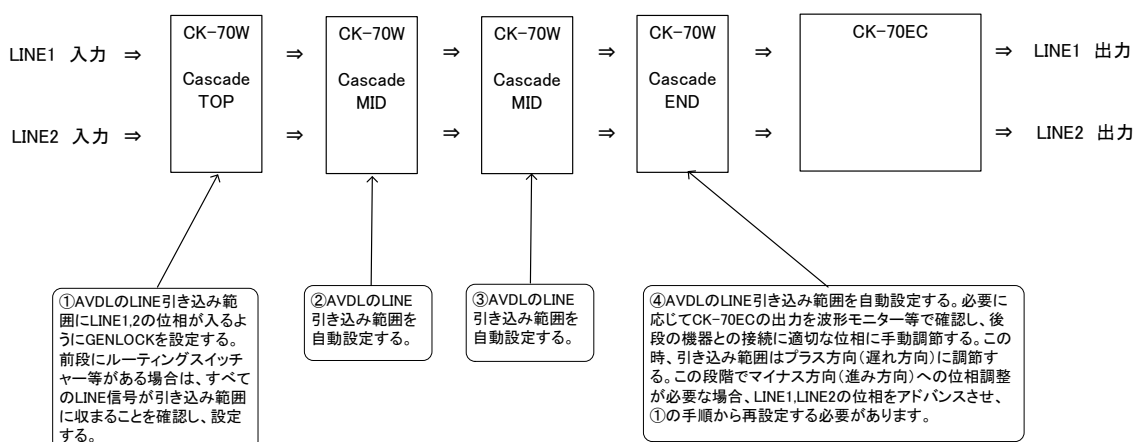


図 4-3.13 カスケード接続時の GENLOCK 調整

カスケード接続における GENLOCK の位相調整手順は、上図の①～④に従ってください。

または、1 モジュールあたりの内部遅延を約 2μ (約 150dot)と計算して前後のシステムを設計し、各モジュールを手動設定してください。4 枚カスケードする場合の内部遅延は $4 \times 2 = 8\mu$ (600dot)と見積もることができます。

注意！ カスケード接続する際は、できる限りリファレンスロックでご使用ください。ラインロックでカスケードすると、LINE 信号が抜けた際、再度ロックするまで数十秒かかる場合があります。

特に本線映像信号にルーター(ブランキングスイッチャー)の出力信号を使用すると、信号切り替わり時のショックを吸収することができず、信号切り替えの度に、CK-70W の出力映像が数十秒乱れます。

ラインロックでカスケード接続した場合、1 枚当たり 2.5μ s(3G 信号は約 1.5μ s)の内部遅延があります。

◇COLOR LIMIT

FILL バリアブル・カラー、EDGE バリアブル・カラー、SHADOW バリアブル・カラーの内部着色機能でカラーリミッターのオン/オフを設定します。

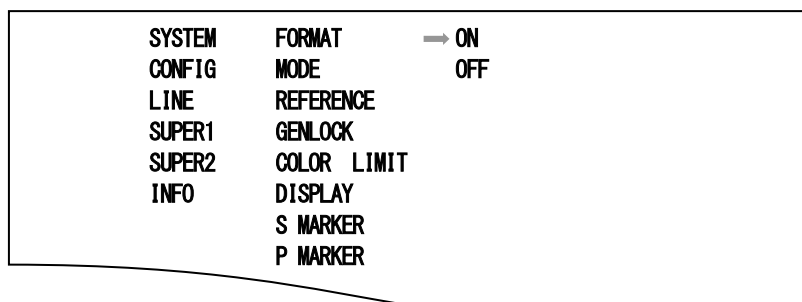


図4-3.14 COLOR LIMITメニュー

1. ON :カラーリミッターをオンします。
輝度が0～29%の時、輝度0%で彩度40%が上限となります。輝度1%上がる毎に、彩度を2%ずつ加算します。輝度29%であれば彩度98%が上限となります。輝度が60%～109%の時は、輝度60%の彩度98%が上限で、輝度1%上がる毎に、彩度を2%ずつ減算します。輝度109%であれば彩度0%が上限となります。輝度30%～59%では彩度上限は100%となります。
2. OFF :カラーリミッターをオフします。上記の制限はありません。

◇DISPLAY

プレビュー出力のキャラクタメニュー表示をオン/オフできます。

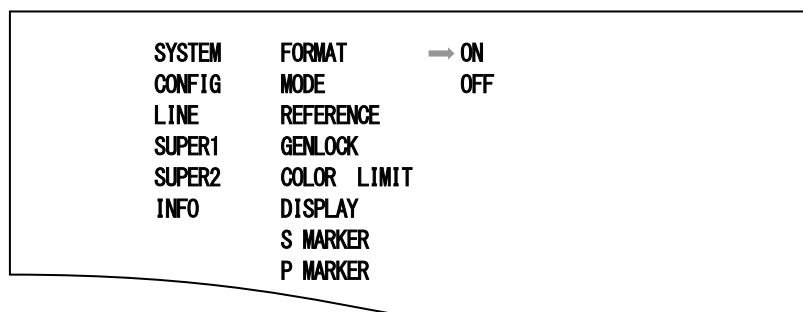


図4-3.15 DISPLAYメニュー

1. ON :キャラクタメニューを表示します。
2. OFF :キャラクタメニューを表示しません。 ※

※キャラクターを ON に設定する時は、モジュール正面の表示器から、またはアプリケーションからメニューON に設定してください。

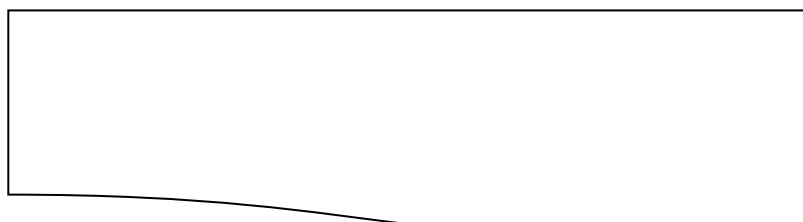


図4-3.16 キャラクタメニューオフ

◇S MARKER

プレビュー出力のセーフティーマーカーを選択します。

OFF、80%、86%、90%、94%、CLEAN-PATURE、VARI から選択します。

VARI では、サイズ 20%～99%の範囲で選択できます。

SYSTEM	FORMAT	→ OFF	
CONFIG	MODE	80%	
LINE	REFERENCE	86%	
SUPER1	GENLOCK	90%	
SUPER2	COLOR LIMIT	94%	
INFO	DISPLAY	C-APTURE	
	S MARKER	VARI	75
	P MARKER		

図4-3.17 S MARKERメニュー

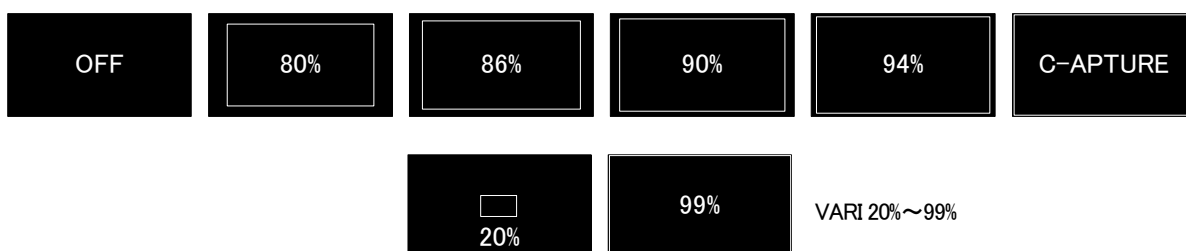


図4-3.18 S MARKER

※CK-70ECの4KモードがOFF以外の時にはこのメニューは無効になります。各メニュー設定値は4Kモードの設定値により固定されます。CK-70ECの4KモードをOFFにするとこのメニューを設定可能になります。

◇P MARKER

プレビュー出力のポジションマーカーを選択します。 OFF、14:9、13:9、4:3 から選択します。

SYSTEM	FORMAT	→ OFF	
CONFIG	MODE	14:9	
LINE	REFERENCE	13:9	
SUPER1	GENLOCK	4:3	
SUPER2	COLOR LIMIT		
INFO	DISPLAY		
	S MARKER		
	P MARKER		

図4-3.19 P MARKERメニュー

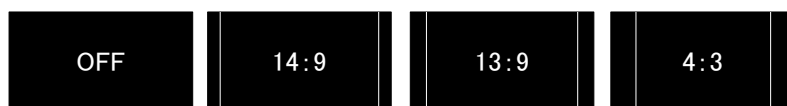


図4-3.20 P MARKER

※CK-70ECの4KモードがOFF以外の時にはこのメニューは無効になります。各メニュー設定値は4Kモードの設定値により固定されます。CK-70ECの4KモードをOFFにするとこのメニューを設定可能になります。

◇PAYLOAD

3G-SDI LEVEL-A のペイロードについて設定します。

SYSTEM	FORMAT	→ THROUGH
CONFIG	MODE	OVERWRITE
LINE	REFERENCE	
SUPER1	GENLOCK	
SUPER2	COLOR LIMIT	
INFO	DISPLAY	
	S MARKER	
	P MARKER	
	PAYLOAD	

図4-3.21 PAYLOADメニュー

1. THROUGH :ペイロードをスルー出力します。
2. OVERWRITE :ペイロードを上書きします。

※動作フォーマットが 3G フォーマットの時のみ表示されるメニューです。

※ペイロードののすげ替え位置は、ODD/EVEN の 2 フレーム構成で 1125 ラインとした時、10/570 ラインの 1928～1938 ドットです。

※LINE 信号が入力の AVDL の引き込み範囲外にある時、映像がライン落ちすることがあります。この時、元からあるペイロードもライン落ちしますので、この状態でペイロード挿げ替えをした場合、ペイロードが上書きされずに二重に挿入されますのでご注意ください。

※コンパイナモードで使用する時は、この設定に関わらず強制的にペイロードを挿入します。

(2) CONFIG 設定

本体の各種設定を行います。

◇REMOTE

本体外部接点入力のオルタネイト/トリガーを選択します。

SYSTEM	REMOTE	OFF
CONFIG	REMOTE IN	ALTERNATE
LINE	REMOTE OUT	→ TRIGGER
SUPER1	DELAY	
SUPER2	PANEL	
INFO		

図4-3.22 REMOTEメニュー

1. OFF :外部接点制御を禁止します。
2. ALTERNATE :接点制御をオルタネイト制御します。メイクしている間、スーパーON します。オープンでスーパーOFF します。 ※1
3. TRIGGER :接点制御をトリガー制御します。接点をメイクすることで、スーパーON もう一度メイクすることでスーパーOFF します。 ※2

※1接点入力の後取り優先です。オルタネイト設定においても、その他のリモコン、SNMP、正面スイッチ等で制御した場合は、それらの制御が優先されます。

※2トリガー制御する場合、トリガーパルス幅は100ms以上で制御してください。

下图はオルタネイト制御、トリガー制御の動作を示す概略図です。

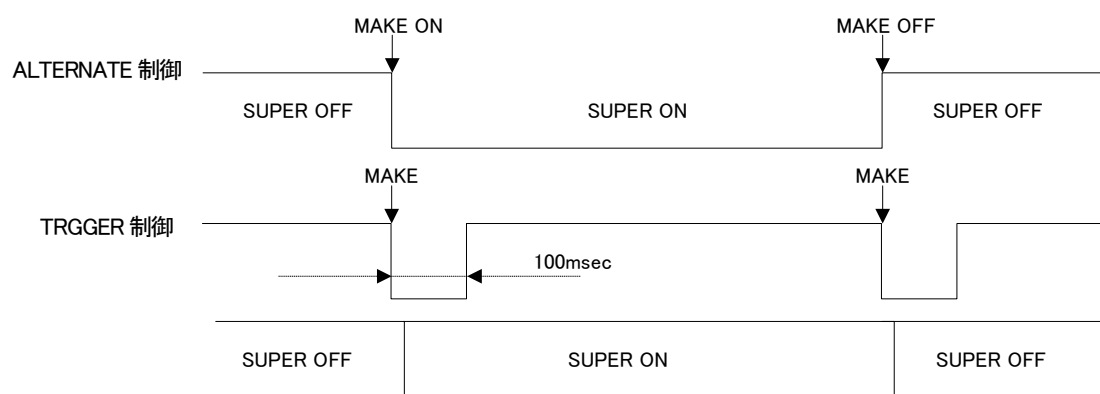


図4-3.23 REMOTE制御概略図

厳密なタイミング制御を行う場合は、下記のタイミングチャートに従ってください。

トリガー制御のパルスは100ms以上を推奨しておりますが、実際は2VDをまたぐトリガーパルスで動作します。

また、SYSTEM→GENLOCKでゲンロックの位相を10ms遅れた場合、内部動作的には10ms遅れた外部リファレンス信号を使用するのと同じため、下記タイミングチャートのリファレンス信号の位相がずれることにも注意してください。

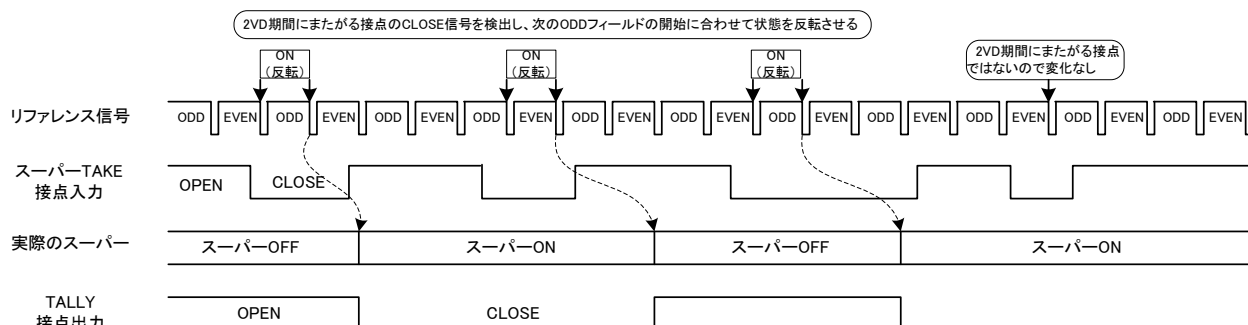


図 4-3.24 トリガー制御 スーパーTAKE タイミング

トリガー制御は、2VD にまたぐ接点パルスを検知して、スーパーの ON/OFF を繰り返します。

この制御を行う場合は誤った制御によってスーパーの ON/OFF の動作が期待する動きと逆になる可能性がありますので、スーパーTALLY 信号の状態を監視して制御してください。

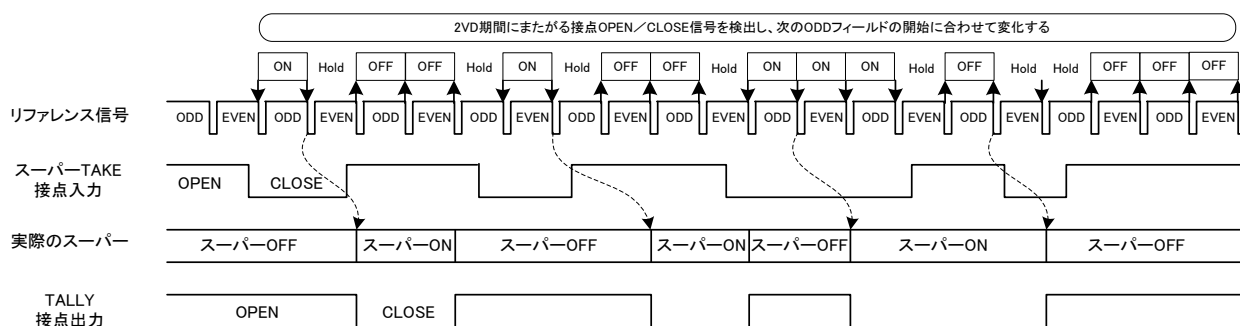


図4-3.25 オルタナイト制御 スーパーTAKEタイミング

オルタナイト制御は、2VDにまたぐ接点パルスを検知してスーパーON/OFFの状態を読み取り、次のODDで実行します。

上図は、いずれもMENU→CONFIG→DELAYの設定は0です。

※CK-70ECの4KモードがOFF以外の時には上図タイミングチャートに3フレーム(6VD)加算されて実行されます。

上図では2VDにまたぐ接点パルスを検知した次のフィールドからTAKE ON/OFFされており、外部制御による接点制御の遅延時間は1フレーム(2VD)ですが、4KモードがOFF以外の時にはその他3つのスーパーと制御を同一タイミングにそろえる関係で4フレーム(8VD)遅延で実行されます。

◇REMOTE IN

本体外部接点入力 PIN1～PIN4 のピンアサインを選択します。

SYSTEM	REMOTE	PIN1	OFF	S2 ASA1 TAKE
CONFIG	REMOTE IN	PIN2	→ L1S1 TAKE	S1 ASA1 TAKE
LINE	REMOTE OUT	PIN3	L1S2 TAKE	S1 ASA2 TAKE
SUPER1	DELAY	PIN4	L2S1 TAKE	S1 ASA3 TAKE
SUPER2	PANEL		L2S2 TAKE	S1 ASA4 TAKE
INFO			L3S1 TAKE	S2 ASA1 TAKE
			L3S2 TAKE	S2 ASA2 TAKE
			AS ALL TAKE	S2 ASA3 TAKE
			S1 ASA TAKE	S2 ASA4 TAKE

図4-3.26 REMOTE INメニュー

1. OFF :REMOTE 入力 1 を無効にします。
2. L1S1 TAKE :REMOTE 入力 1 で LINE1～LINE3 の SUPER1 および SUPER2 の TAKE オン/オフに設定します。
3. AS ALL TAKE :REMOTE 入力 1 で LINE1～LINE3 全ての SUPER を TAKE オン/オフに設定します。
4. S1 ALL TAKE :REMOTE 入力 1 で LINE1～LINE3 の SUPER1 を TAKE オン/オフに設定します。
5. S2 ALL TAKE :REMOTE 入力 1 で LINE1～LINE3 の SUPER2 を TAKE オン/オフに設定します。
6. S1 AS1 TAKE :REMOTE 入力 1 で SUPER1 よび SUPER2 の ASSIGN1～ASSIGN4 TAKE オン/オフに設定します。
7. S1 KEY SEL :REMOTE 入力 1 で SUPER1 のセルフキー オン/オフに設定します。
8. S2 KEY SEL :REMOTE 入力 1 で SUPER2 のセルフキー オン/オフに設定します。
9. S1&2 KEY SEL :REMOTE 入力 1 で SUPER1 と SUPER2 のセルフキー オン/オフに設定します。

※PIN2～PIN4 のメニュー項目は、PIN1 と同じ内容になります。

※PIN2～PIN4 の工場出荷時設定は、PIN2=L1S2 TAKE、PIN3=L2S1 TAKE、PIN4=L2S2 TAKE になります。

◇REMOTE OUT

本体外部接点出力 PIN1～PIN4 のピンアサインを選択します。

SYSTEM	REMOTE	PIN1	OFF	S2 ASA1 TALLY
CONFIG	REMOTE IN	PIN2	→ L1S1 TALLY	S1 ASA1 TALLY
LINE	REMOTE OUT	PIN3	L1S2 TALLY	S1 ASA2 TALLY
SUPER1	DELAY	PIN4	L2S1 TALLY	S1 ASA3 TALLY
SUPER2	PANEL		L2S2 TALLY	S1 ASA4 TALLY
INFO			L3S1 TALLY	S2 ASA1 TALLY
			L3S2 TALLY	S2 ASA2 TALLY
			AS ALL TALLY	S2 ASA3 TALLY
			S1 ASA TALLY	S2 ASA4 TALLY

図4-3.27 REMOTE OUTメニュー

1. OFF :REMOTE 出力 1 を無効にします。
2. L1S1 TALLY :REMOTE 出力 1 で LINE1～LINE3 の SUPER1 および SUPER2 の TALLY オン/オフに設定します。
3. AS ALL TALLY :REMOTE 出力 1 で LINE1～LINE3 全ての SUPER を TALLY オン/オフに設定します。
4. S1 ALL TALLY :REMOTE 出力 1 で LINE1～LINE3 の SUPER1 を TALLY オン/オフに設定します。
5. S2 ALL TALLY :REMOTE 出力 1 で LINE1～LINE3 の SUPER2 を TALLY オン/オフに設定します。
6. S1 AS1 TALLY～S2 AS4 TALLY :REMOTE 出力 1 で SUPER1 よび SUPER2 の ASSIGN1～ASSIGN4 TALLY オン/オフに設定します。
7. S1 KEY TALLY :REMOTE 出力 1 で SUPER1 のセルフキー TALLY オン/オフに設定します。
8. S2 KEY TALLY :REMOTE 出力 1 で SUPER2 のセルフキー TALLY オン/オフに設定します。

9. S1&2 KEY TALLY :REMOTE 出力 1 で SUPER1 および SUPER2 のセルフキー TALLY オン/オフに設定します。

※PIN2～PIN4 のメニュー項目は、PIN1 と同じ内容になります。

※PIN2～PIN4 の工場出荷時設定は、PIN2=L1S2 TALLY、PIN3=L2S1TALLY、PIN4=L2S2 TALLY になります。

◇DELAY

本体外部接点制御の遅延時間を設定します。

SYSTEM	REMOTE	→ 0
CONFIG	REMOTE IN	
LINE	REMOTE OUT	
SUPER1	DELAY	
SUPER2	PANEL	
INFO		

図4-3.28 REMOTE DELAYメニュー

1. 0 :本体外部接点制御の遅延時間を 0～90 フレームの範囲で設定します。

◇PANEL

パネルに関する各種設定を行います。

SYSTEM	REMOTE	LOCK1	ON
CONFIG	REMOTE IN	LOCK2	→ OFF
LINE	REMOTE OUT	DISP DEF	
SUPER1	DELAY	FADER	
SUPER2	PANEL	PANEL1 TAKE1	
INFO		PANEL1 TAKE2	
		PANEL2 TAKE1	
		PANEL2 TAKE2	

図4-3.29 PANELメニュー

1. LOCK1 :パネル 1 の操作ロック オン/オフを設定します。

LOCK2 :パネル 2 の操作ロック オン/オフを設定します。

2. ON :パネル 1 およびパネル 2 操作ロックオン(操作禁止)に設定します。

3. OFF :パネル 1 およびパネル 2 操作ロックオフ(操作可能)に設定します。

2. DISP DEF

CK-70W-01 パネルのボタンにデフォルトで表示する情報を設定します。

SYSTEM	REMOTE	LOCK1	→ TRANS
CONFIG	REMOTE IN	LOCK2	INFO
LINE	REMOTE OUT	DISP DEF	
SUPER1	DELAY	FADER	
SUPER2	PANEL	PANEL1 TAKE1	
INFO		PANEL1 TAKE2	
		PANEL2 TAKE1	
		PANEL2 TAKE2	

図4-3.30 DISP DEFメニュー

1. TRANS :トランジション情報を表示します。
2. INFO :設定情報を表示します。

3. FADER

フェーダーレバー(CK-70W-06)のフェーダー開始位置、終了位置を設定します。

SYSTEM	REMOTE	LOCK1	→ START
CONFIG	REMOTE IN	LOCK2	END
LINE	REMOTE OUT	DISP DEF	
SUPER1	DELAY	FADER	
SUPER2	PANEL	PANEL1 TAKE1	
INFO		PANEL1 TAKE2	
		PANEL2 TAKE1	
		PANEL2 TAKE2	

図4-3.31 FADERメニュー

1. START :フェーダーレバーのキーレベル 0%位置を 0～300 の範囲で設定します。
2. END :フェーダーレバーのキーレベル 100%位置を 723～1023 の範囲で設定します。

※本設定はフェーダーレバーの”遊び”部分を設定したい際に使用します。フェーダーを下から上へ移動させる際に、どの位置からキーレベル操作を開始するかに”遊び”部分を作りたければ、START位置を100と設定すると、レバーの下約1/10の可動範囲を遊び部分として、レバーを動かしてもキーレベルが0%から変化しません。同様に100%位置に”遊び”を作りたければEND位置を900と設定します。

4. PANEL1 TAKE1

パネル 1 の TAKE ボタン 1 のモードを設定します。

SYSTEM	REMOTE	LOCK1	ALL
CONFIG	REMOTE IN	LOCK2	→ S1 ALL
LINE	REMOTE OUT	DISP DEF	S2 ALL
SUPER1	DELAY	FADER	S1 ASSIGN1
SUPER2	PANEL	PANEL1 TAKE1	S1 ASSIGN2
INFO		PANEL1 TAKE2	S1 ASSIGN3
		PANEL2 TAKE1	S1 ASSIGN4
		PANEL2 TAKE2	S2 ASSIGN1
			S2 ASSIGN2
			S2 ASSIGN3
			S2 ASSIGN4

図4-3.32 PANEL1 TAKE1メニュー

1. **ALL** :スーパー1 と2 を全ての本線(LINE1、LINE2、LINE3)へアサインして TAKE ボタンでスーパーオン/オフします。
2. **S1 ALL** :スーパー1 を全ての本線(LINE1、LINE2、LINE3)へアサインして TAKE ボタンでスーパーオン/オフします。
3. **S2 ALL** :スーパー2 を全ての本線(LINE1、LINE2、LINE3)へアサインして TAKE ボタンでスーパーオン/オフします。
4. **S1 ASSIGN1～
ASSIGN4** :スーパー1 をパターン 1～パターン 4 でアサインして TAKE ボタンでスーパーオン/オフします。
5. **S2 ASSIGN1～
ASSIGN4** :スーパー2 をパターン 1～パターン 4 でアサインして TAKE ボタンでスーパーオン/オフします。

※PANEL1 TAKE2～PANEL2 TAKE2 のメニュー項目は、PANEL1 TAKE1 と同じ内容になります。

※PANEL1 TAKE2～PANEL2 TAKE2 の工場出荷時設定は、PANEL1 TAKE2 が S1 ALL、PANEL2 TAKE1、PANEL2 TAKE2=S2 ALL になります。

(3)LINE 設定

本線映像に関する各種設定を行います。

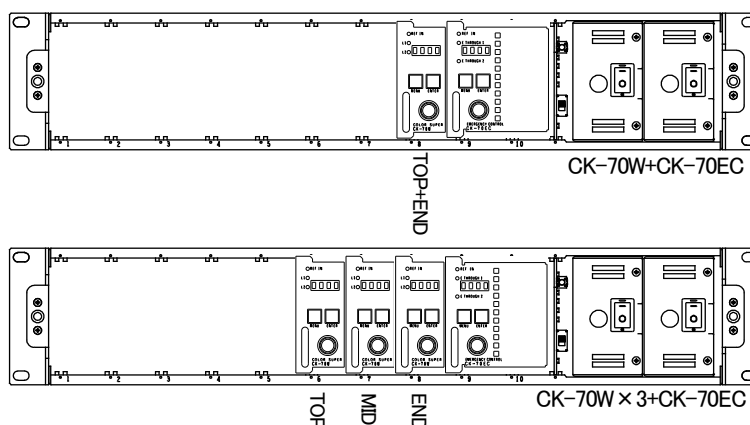
◇CASCADE

カスケード接続の設定を行います。カスケードは最大 6 モジュールまで可能で、最大 12 スーパーに対応します。

SYSTEM	CASCADE	→ OFF
CONFIG	LINE1 NOSIG	TOP+END
LINE	LINE2 NOSIG	TOP
SUPER1	LINE IN	MID
SUPER2	LINE OUT	END
INFO		

図4-3.33 LINE CASCADEメニュー

1. **OFF** :カスケード接続しません。CK-70W を単独で使用できます。
2. **TOP+END** :Vbus-70C 筐体の内部バスでカスケード接続します。CK-70W 1 枚と CK-70EC を接続する際に設定します。
3. **TOP** :カスケード接続 TOP で使用します。CK-70W を複数枚使用する際、先頭の CK-70W に設定します。
4. **MID** :カスケード接続 MID で使用します。CK-70W を複数枚使用する際、真ん中の CK-70W に設定します。
5. **END** :カスケード接続 END で使用します。CK-70W を複数枚使用する際、最終段の CK-70W に設定します。



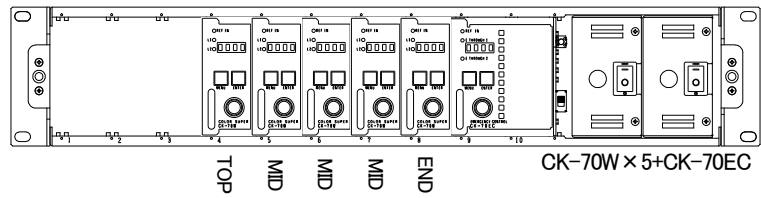


図4-3.34 CASCADE設定例

注意！ CK-70Wを複数実装すると、筐体の発熱量が多くなるため、通常動作時は前面の蓋を必ず閉めてご使用ください。30℃以上の環境下で蓋を空けて放置すると、特に正面から見て左側のモジュールの冷却効率が著しく低下するため、故障の原因となります。

◇LINE1 NOSIG、LINE2 NOSIG

本線入力 1、2 が未入力の時の動作を設定します。

SYSTEM	CASCADE	→ BLACK
CONFIG	LINE1 NOSIG	NONE
LINE	LINE2 NOSIG	AUTO
SUPER1	LINE IN	
SUPER2	LINE OUT	
INFO		

図4-3.35 LINE1 NOSIGメニュー

1. **BLACK** : 本線映像 1、2 が未入力の時、映像入力を黒に設定します。
2. **NONE** : 本線映像 1、2 が未入力の時、映像入力を処理せず、ノイズ画面にします。
3. **AUTO** : 本線映像 1 が未入力の時、本線映像 2 に入力があれば本線映像 2 を本線映像にします。
: 本線映像 2 が未入力の時、本線映像 1 に入力があれば本線映像 1 を本線映像にします。

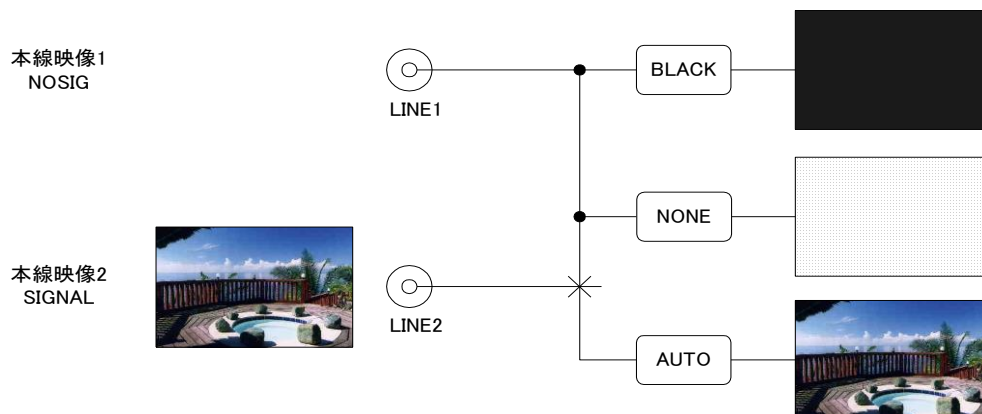


図4-3.36 LINE1 NOSIGでの本線選択

◇LINE IN

本線入力 1、2、3 の入力元を選択します。CASCADE TOP+END または TOP のみ選択可能です。

SYSTEM	CASCADE	IN1	→ LINE1
CONFIG	LINE1 NOSIG	IN2	LINE2
LINE	LINE2 NOSIG	IN3	
SUPER1	LINE IN		
SUPER2	LINE OUT		
INFO			

図4-3.37 LINE IN IN1メニュー

※CK-70ECの4KモードがEC2の時にはこのメニューは無効になります。各メニュー設定値は4Kモードの設定値により固定されます。CK-70ECの4KモードをEC2以外にするとこのメニューを設定可能になります。

1. **IN1、IN2、IN3** :本線映像 1 として使用する本線映像を選択します。IN2=本線映像 2、IN3=本線映像 3
2. **LINE1** :本線映像 1 に入力されている信号を本線映像 1 として使用します。
3. **LINE2** :本線映像 2 に入力されている信号を本線映像 1 として使用します。

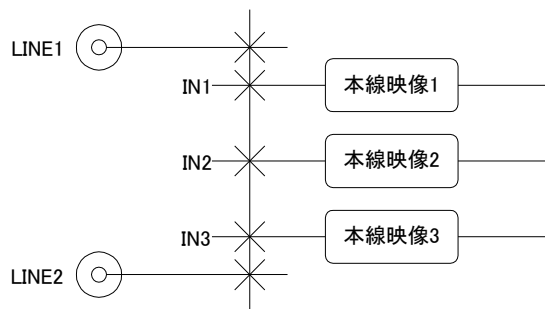


図4-3.38 LINE IN IN1～IN3 クロスポイント

◇LINE OUT

ライン 1、2、3 の出力先を選択します。CASCADE TOP+END または CASCADE END 時のみ選択可能です。

SYSTEM	CASCADE	OUT1	→ LINE1
CONFIG	LINE1 NOSIG	OUT2	LINE2
LINE	LINE2 NOSIG	OUT3	LINE3
SUPER1	LINE IN		
SUPER2	LINE OUT		
INFO			

図4-3.39 LINE OUTメニュー

※CK-70ECの4KモードがOFF以外の時にはこのメニューは無効になります。各メニュー設定値は4Kモードの設定値により固定されます。CK-70ECの4KモードをOFFにするとこのメニューを設定可能になります。

1. **OUT1、OUT2、OUT3** :本線映像として使用する本線映像を選択します。
2. **LINE1** :OUT1、OUT2(CK-70EC)と OUT3(CK-70W)の入力元を LINE1 に設定します。
3. **LINE2** :OUT1、OUT2(CK-70EC)と OUT3(CK-70W)の入力元を LINE2 に設定します。
4. **LINE3** :OUT1、OUT2(CK-70EC)と OUT3(CK-70W)の入力元を LINE3 に設定します。

※DSK+EC 2L または DSK+EC 3L で CASCADE END の時選択可能です。OUT2、OUT3 の選択は OUT1 と同じ内容です。

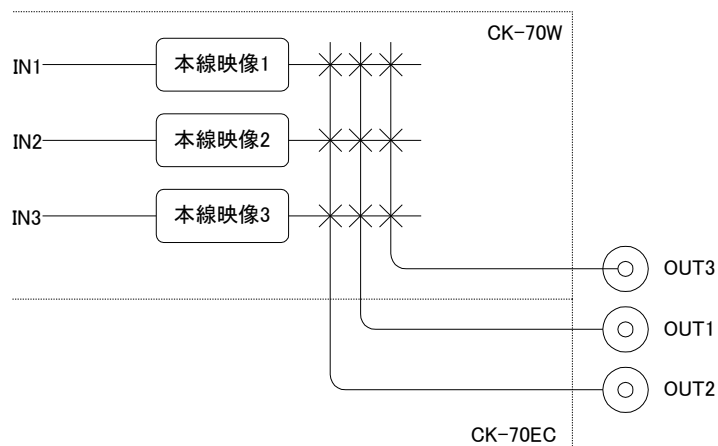


図4-3.40 LINE OUT OUT1～OUT3クロスポイント

(4) SUPER1、SUPER2 設定

SUPER1 および SUPER2 に関する各種設定を行います。

◇TRANSITION

スーパーオン/オフのトランジション設定をします。

SYSTEM	TRANSITION	ON TK MODE	CUT
CONFIG	FILL	OFF TK MODE	→ FADE
LINE	KEY	ON TK SPD	
SUPER1	EDGE	OFF TK SPD	
SUPER2	SHADOW	FD TK MODE	
INFO	PRV ASSIGN		
	ASSIGN1		
	ASSIGN2		
	ASSIGN3		
	ASSIGN4		

図4-3.41 SUPER1メニュー画面

1. ON TK MODE :スーパーオンのトランジションを選択します。
 2. OFF TK MODE :スーパーオフのトランジションを選択します。
 3. CUT :スーパーオン/オフのトランジションを CUT に設定します。
 4. FADE :スーパーオン/オフのトランジションを FADE に設定します。
 5. ON TK SPD :スーパーオンのトランジション時間を設定します。
 6. OFF TK SPD :スーパーオフのトランジション時間を設定します。
 7. 15 FRAME :2 フレームから 300 フレームで、トランジション設定ができます。
 8. FD TK MODE :フェード中にテイクオン・オフ操作をした時の動作モードを設定します。
- CANCEL :フェードをキャンセルしてスーパーをカットアウトします。
- BLOCK :フェード中はテイクオン・オフ操作を無視します。

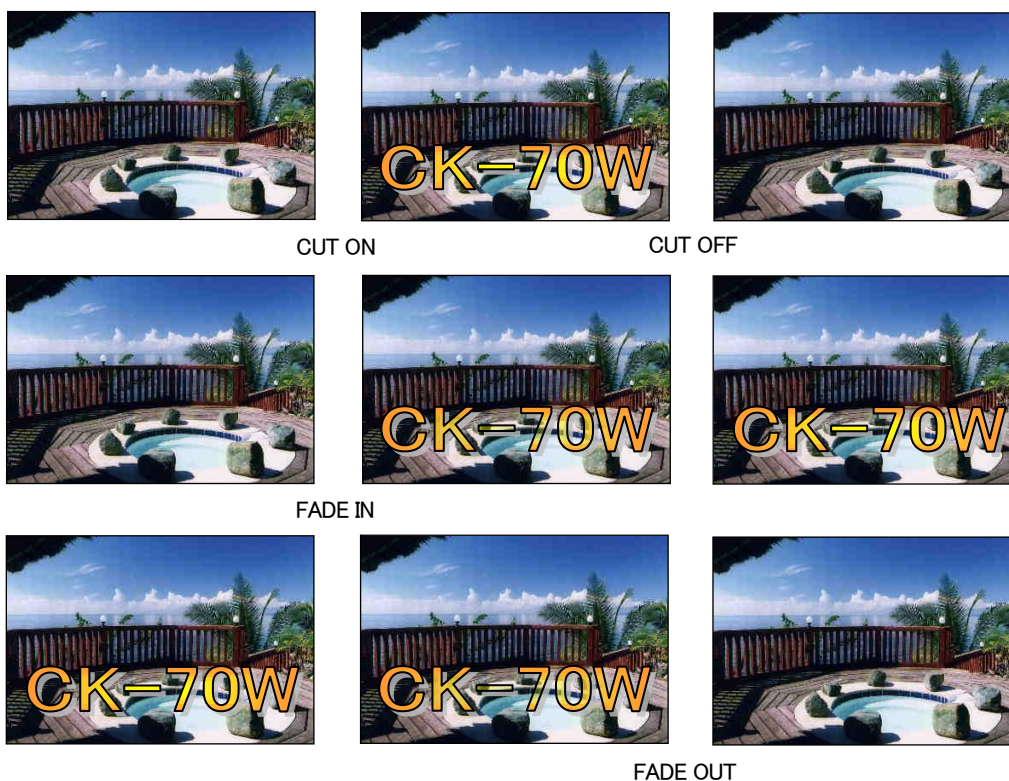


図4-3.42 SUPER TRANSITION

◇FILL

SUPER1 の FILL 信号に関する各種設定をします。

SYSTEM	TRANSITION	SELECT	→ EXT
CONFIG	FILL	POSITIN	WHITE
LINE	KEY		BLACK
SUPER1	EDGE		VARI
SUPER2	SHADOW		SOLARIZE
INFO	PRV ASSIGN		SOLA COL
	ASSIGN1		ANIMATION
	ASSIGN2		SOLA ANIM
	ASSIGN3		
	ASSIGN4		

図4-3.43 SUPER FILLメニュー

1. SELECT

スーパーFILL 信号を選択します。

- 1. EXT :外部 FILL 信号を設定します。
- 2. WHITE :FILL 信号を全面白に設定します。
- 3. BLACK :FILL 信号を全面黒に設定します。
- 4. VARI :FILL 信号を任意の色に設定します。
 - L :輝度を設定します。0～109%で設定できます。 ※
 - H :色相を設定します。0～359 度で設定できます。 ※
 - S :彩度を設定します。0～100%で設定できます。 ※
- 5. SOLARIZE :FILL 信号をライン信号の輝度を反転させた信号に設定します。
- 6. SOLA COL :FILL 信号をライン信号の輝度を反転させ、VARI で指定した任意の色に設定します。
- 7. ANIMATION :FILL 信号を任意のアニメーション色に設定します。
 - START :アニメーション色の開始色を設定します。
 - L :輝度を設定します。0～109%で設定できます。 ※
 - H :色相を設定します。0～359 度で設定できます。 ※
 - S :彩度を設定します。0～100%で設定できます。 ※
 - END :アニメーション色の終了色を設定します。
 - L :輝度を設定します。0～109%で設定できます。 ※
 - H :色相を設定します。0～359 度で設定できます。 ※
 - S :彩度を設定します。0～100%で設定できます。 ※
 - STEP :アニメーション色のステップを設定します。
 - L :輝度のステップを設定します。1～109%で設定できます。
 - H :色相のステップを設定します。1～359 度で設定できます。
 - S :彩度のステップを設定します。1～100%で設定できます。
 - END ACTION :アニメーション色の再生終了動作を設定します。
 - TOP :START のパラメーターから再度アニメーションします。
 - REV :END パラメーターに達したときに START パラメーターに向かって戻ります。以後、START ⇄ END 間を行き来します。
 - CHG FRAME :アニメーション切り替え時間を 1～300 フレームの範囲で設定します。
- 8. SOLA ANIM :FILL 信号をライン信号の輝度を反転させ、任意のアニメーション色に設定します。
項目は 7. ANIMATION と同じです。

※SYSTEM COLOR LIMIT が ON の時は、カラーリミッターが掛かります。

“SOLARIZE”、“SOLA COL”、“SOLA ANIM”についての注意！

“SOLARIZE”、“SOLACOL”、“SOLA ANIM”は、コンバイナーモードではご使用できません。

また、“SOLARIZE”、“SOLA COL”、“SOLA ANIM”使用時は、基本的にシャドウを使用しないでください。

ハードの構成上、正しく表示されません。

ただし、設定によっては効果的な使い方もできるため、制限はかけておりません。ご了承ください。

【アニメーション色について】

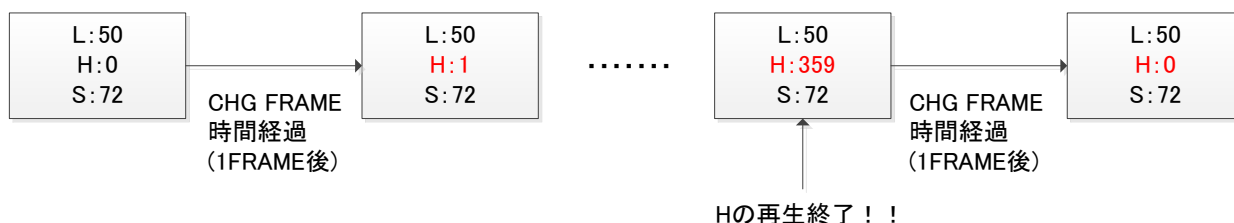
アニメーション色とはHLSで開始パラメーター、終了パラメーター、ステップ値を設定することで任意の色や明度のアニメーションを行うことができる機能です。TAKE ONと同時にアニメーションが開始され、チェンジフレーム時間経過した際にステップ値を開始パラメーターに加減算します。

アニメーション動作の仕様は以下のとおりです。

- 1) STARTとENDでパラメーターが同一の場合はそのパラメーターはアニメーションされません。例えばLのみをアニメーションさせたい場合、HとSはSTARTとEND同一の値に設定することで可能です。
- 2) STARTとENDのパラメーターの大小関係により、STEPで加算するか減算するかが決定します。例えばSTART Lを16でEND Lを50だとCHG FRAME時間経過する度にSTEP Lで加算します。START LとEND Lのパラメーターが逆になればSTEP Lで減算します。
- 3) STARTパラメーターから開始して、ENDパラメーターに達したときにEND ACTIONが実行されます。END ACTIONはTOPとREVがあり、TOPはSTARTパラメーターから再度アニメーションし直します。REVはENDパラメーターからSTARTパラメーターに向かって戻り、以後START、END間を行き来します。またEND ACTIONはL、H、SそれぞれがENDに達したときに実行されますので、それぞれのパラメーターが非同期で再生されることもあります。

アニメーションパラメーター1

START	END	STEP	END ACTION	CHG FRAME
L: 50 H: 0 S: 72	L: 50 H: 359 S: 72	L: 1 H: 1 S: 1	TOP	1FRAME



アニメーションパラメーター2

START	END	STEP	END ACTION	CHG FRAME
L: 50 H: 0 S: 72	L: 50 H: 359 S: 72	L: 1 H: 1 S: 1	REV	1FRAME

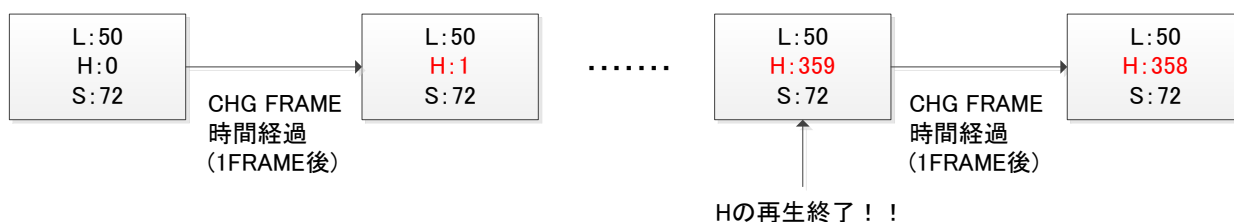


図4-3.44 アニメーション色シーケンス図

2. POSITION

FILL のポジションを設定します。

1. H : 水平位置を設定します。-1920～1920 ドットの範囲で移動できます。
2. V : 垂直位置を設定します。-1024～1024 ドットの範囲で移動できます。

※CK-70ECの4KモードがOFF以外の時にはこのメニューは無効になります。各メニュー設定値は4Kモードの設定値により固定されます。CK-70ECの4KモードをEC2以外にするとこのメニューを設定可能になります。

◇KEY

KEY 信号に関する各種設定をします。

SYSTEM	TRANSITION	SELECT	→ EXT
CONFIG	FILL	MIX MODE	SELF
LINE	KEY	CLIP	
SUPER1	EDGE	GAIN	
SUPER2	SHADOW		
INFO	PRV ASSIGN		
	ASSIGN1		
	ASSIGN2		
	ASSIGN3		
	ASSIGN4		

図4-3.45 SUPER KEYメニュー

1. SELECT

KEY 信号を選択します。

1. EXT : 外部 KEY 信号でスーパーインポーズします。
2. SELF : 外部 FILL 信号でスーパーインポーズします。

2. MIX MODE

KEY 信号のミックスモードを選択します。

1. LINEAR : リニアモードに設定します。 $(\text{LINE} \times (1 - \text{KEY}) + \text{FILL} \times \text{KEY})$
2. ADD : 二重抜き防止モードに設定します。 $(\text{LINE} \times (1 - \text{KEY}) + \text{FILL})$

3. CLIP

KEY のルミナンス、クロマクリップを設定します。

1. LUMI CLIP : ルミナンスクリップを設定します。0～99 で調整できます。
 - LOW : ロークリップを設定します。0～99%で調整できます。
 - HIGH : ハイ・クリップを設定します。1～100%で調整できます。
2. CHROMA CLIP : クロマクリップを設定します。
 - LOW : ロークリップを設定します。0～99%で調整できます。
 - HIGH : ハイ・クリップを設定します。1～100%で調整できます。

4. GAIN

KEY 信号のレベル調整を行います。

1. 100 : 1～100%の範囲で設定します。

※100%で元のレベルのまま出力され、50%で元のレベルの半分で出力されます。キーレベルが100%ある素材をハーフレベルに変更してスーパーしたいときは50%に設定してください。

◇EDGE

スーパーに付加するエッジに関する各種設定をします。

SYSTEM	TRANSITION	FORM	→ OFF
CONFIG	FILL	SLANT	NORMAL
LINE	KEY	WIDTH	DROP
SUPER1	EDGE	DIRECTION	
SUPER2	SHADOW	COLOR	
INFO	PRV ASSIGN	THRESHOLD	
	ASSIGN1		
	ASSIGN2		
	ASSIGN3		
	ASSIGN4		

図4-3.46 SUPER EDGEメニュー

1. FORM :スーパーのエッジモードを選択します。
 - OFF :スーパーにエッジを付けません。
 - NORMAL :スーパーにノーマルエッジを付けます。
 - DROP :スーパーにドロップエッジを付けます。
2. SLANT :エッジの傾斜を選択します。
 - SOFT :エッジをソフトエッジにします。
 - HARD :エッジをハードエッジにします。
3. WIDTH :エッジ幅を選択します。 ※SLANT→SOFT 設定の時、選択したエッジ幅より細くなります。
 - 1 dot :エッジ幅を 1 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 0.5 ドット)に設定します。
 - 2 dot :エッジ幅を 2 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 1 ドット)に設定します。
 - 3 dot :エッジ幅を 3 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 1.5 ドット)に設定します。
 - 4 dot :エッジ幅を 4 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 2 ドット)に設定します。
 - 5 dot :エッジ幅を 5 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 2.5 ドット)に設定します。
 - 6 dot :エッジ幅を 6 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 3 ドット)に設定します。
 - 7 dot :エッジ幅を 7 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 3.5 ドット)に設定します。
 - 8 dot :エッジ幅を 8 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 4 ドット)に設定します。
 - 9 dot :エッジ幅を 9 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 4.5 ドット)に設定します。
 - 10 dot :エッジ幅を 10 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 5 ドット)に設定します。
- ANIMATION :エッジ幅を任意のアニメーションパターンに設定します。
 - START :アニメーションドットの開始ドットを設定します。
 - END :アニメーションドットの終了ドットを設定します。
 - STEP :アニメーションドットのステップドットを 1～10 ドット(映像フォーマットプログレッシブ時は 0.5～5 ドット)の範囲で設定します。
 - END ACTION :アニメーションドットの再生終了動作を設定します。
 - TOP :START のパラメーターから再度アニメーションします。
 - REV :END パラメーターに達したときに START パラメーターに向かって戻ります。以後、START ⇄ END 間を行き来します。
 - CHG FRAME :アニメーション切り替え時間を 1～300 フレームの範囲で設定します。
4. DIRECTION :ドロップエッジを付ける方向を選択します。
 - TOP LEFT :ドロップエッジを左上に付けます。
 - TOP RIGHT :ドロップエッジを右上に付けます。
 - BOTM LEFT :ドロップエッジを左下に付けます。
 - BOTM RIGHT :ドロップエッジを右下に付けます。
5. COLOR :エッジカラーを選択します。
 - WHITE :エッジカラーを白に設定します。
 - BLACK :エッジカラーを黒に設定します。
 - VARI :エッジカラーを任意の色に設定します。

L	:輝度を設定します。0～109%で設定できます。 ※
H	:色相を設定します。0～359 度で設定できます。 ※
S	:彩度を設定します。0～100%で設定できます。 ※
ANIMATION	:エッジカラーを任意のアニメーション色に設定します。 詳細は◇FILL【アニメーション色について】を参照してください
START	:アニメーション色の開始色を設定します。
L	:輝度を設定します。0～109%で設定できます。 ※
H	:色相を設定します。0～359 度で設定できます。 ※
S	:彩度を設定します。0～100%で設定できます。 ※
END	:アニメーション色の終了色を設定します。
L	:輝度を設定します。0～109%で設定できます。 ※
H	:色相を設定します。0～359 度で設定できます。 ※
S	:彩度を設定します。0～100%で設定できます。 ※
STEP	:アニメーション色のステップを設定します。
L	:輝度のステップを設定します。1～109%で設定できます。
H	:色相のステップを設定します。1～359 度で設定できます。
S	:彩度のステップを設定します。1～100%で設定できます。
END ACTION	:アニメーション色の再生終了動作を設定します。
TOP	:START のパラメーターから再度アニメーションします。
REV	:END パラメーターに達したときに START パラメーターに向かって戻ります。 以後、START ⇄ END 間を行き来します。
CHG FRAME	:アニメーション切り替え時間を 1～300 フレームの範囲で設定します。
6. THRESHOLD	:エッジを付加するを KEY レベルの閾値を設定します。
0	:KEY レベルの閾値を 0～90%の範囲で設定します。 ※仮に 10%と設定すると 10%以下の KEY レベル信号にはエッジを付加しません。 ハーフレベルの座布団にエッジが付いて色が濃くなってしまう、エッジが画面全体に 拡散して付いてしまうなどの際に有用な設定です。

※SYSTEM COLOR LIMIT が ON の時は、カラーリミッターが掛かります。

【エッジ幅アニメーションについて】

エッジ幅アニメーションとは開始パラメーター、終了パラメーター、ステップ値を設定することで任意のエッジ幅のアニメーションを行うことができる機能です。TAKE ONと同時にアニメーションが開始され、チェンジフレーム時間経過した際にステップ値を開始パラメーターに加減算します。

アニメーション動作の仕様は以下のとおりです。

- 1) STARTとENDでパラメーターが同一の場合はアニメーションされません。
- 2) STARTとENDのパラメーターの大小関係により、STEPで加算するか減算するかが決定します。例えばSTARTを2でENDを10だとCHG FRAME時間経過する度にSTEPで加算します。STARTとENDのパラメーターが逆になればSTEPで減算します。
- 3) STARTパラメーターから開始して、ENDパラメーターに達したときにEND ACTIONが実行されます。END ACTIONはTOPとREVがあり、TOPはSTARTパラメーターから再度アニメーションし直します。REVはENDパラメーターからSTARTパラメーターに向かって戻り、以後START、END間を行き来します。

アニメーションパラメーター1

START 2 dot	END 10 dot	STEP 2 dot	END ACTION TOP	CHG FRAME 1FRAME
----------------	---------------	---------------	-------------------	---------------------



アニメーションパラメーター2

START 2 dot	END 10 dot	STEP 2 dot	END ACTION REV	CHG FRAME 1FRAME
----------------	---------------	---------------	-------------------	---------------------



図4-3.47 エッジ幅アニメーションシーケンス図

◇SHADOW

スーパーに付加するシャドウに関する各種設定をします。

ディープシャドウ、またはドロップシャドウが指定できます。下記は表示イメージです。

ディープシャドウは、内部処理の都合上、シャドウ部の描画が 2 ドット 2 ラインとなるため、素材、設定によっては粗さが目立つことがあります。



“SOLARIZE”、“SOLA COL”、“SOLA ANIM”使用時は、基本的にシャドウ、エッジの使用を推奨しません。

ハードの構成上、正しく表示されないことがあります。

“SOLARIZE”でエッジを付けてもエッジ色は対応していません。

ただし、設定によっては効果的な使い方もできるため、制限はかけておりません。

SYSTEM	TRANSITION	FORM	→ OFF
CONFIG	FILL	DISTANCE	DEEP
LINE	KEY	LEVEL	DROP
SUPER1	EDGE	COLOR	
SUPER2	SHADOW		
INFO	PRV ASSIGN		
	ASSIGN1		
	ASSIGN2		
	ASSIGN3		
	ASSIGN4		

図4-3.48 SUPER SHADOWメニュー

1. FORM
 - OFF :スーパーにシャドウを付けません。
 - DEEP :スーパーにディープシャドウを付けます。
 - DROP :スーパーにドロップシャドウを付けます。
2. DISTANCE :スーパーとシャドウの距離を設定します。
 - 0~11 :スーパーとシャドウの距離を 0~11 の範囲で選択します。※1
 - ANIMATION :スーパーとシャドウの距離を任意のアニメーションパターンに設定します。
 - START :アニメーションの開始パラメーターを設定します。
 - END :アニメーションの終了パラメーターを設定します。
 - STEP :アニメーションのステップを 1~11 の範囲で設定します。
 - END ACTION :アニメーションドットの再生終了動作を設定します。
 - TOP :START のパラメーターから再度アニメーションします。
 - REV :END パラメーターに達したときに START パラメーターに向かって戻ります。以後、START ⇄ END 間を行き来します。
 - CHG FRAME :アニメーション切り替え時間を 1~300 フレームの範囲で設定します。
3. LEVEL :シャドウのキーレベルを設定します。
 - 50 :シャドウのキーレベルを 0~100%の範囲で設定します。
4. COLOR :シャドウカラーを選択します。
 - WHITE :シャドウカラーを白に設定します。
 - BLACK :シャドウカラーを黒に設定します。
 - VARI :シャドウカラーを任意の色に設定します。
 - L :輝度を設定します。0~109%で設定できます。 ※2
 - H :色相を設定します。0~359 度で設定できます。 ※2

S	: 彩度を設定します。0～100%で設定できます。 ※2
ANIMATION	: シャドウカラーを任意のアニメーション色に設定します。 詳細は◇FILL【アニメーション色について】を参照してください
START	: アニメーション色の開始色を設定します。
L	: 輝度を設定します。0～109%で設定できます。 ※2
H	: 色相を設定します。0～359 度で設定できます。 ※2
S	: 彩度を設定します。0～100%で設定できます。 ※2
END	: アニメーション色の終了色を設定します。
L	: 輝度を設定します。0～109%で設定できます。 ※2
H	: 色相を設定します。0～359 度で設定できます。 ※2
S	: 彩度を設定します。0～100%で設定できます。 ※2
STEP	: アニメーション色のステップを設定します。
L	: 輝度のステップを設定します。1～109%で設定できます。
H	: 色相のステップを設定します。1～359 度で設定できます。
S	: 彩度のステップを設定します。1～100%で設定できます。
END ACTION	: アニメーション色の再生終了動作を設定します。
TOP	: START のパラメーターから再度アニメーションします。
REV	: END パラメーターに達したときに START パラメーターに向かって戻ります。 以後、START ⇄ END 間を行き来します。
CHG FRAME	: アニメーション切り替え時間を 1～300 フレームの範囲で設定します。

※1. DISTANCE の 0 選択時は、シャドウ無しになります。

※2. SYSTEM COLOR LIMIT が ON の時は、カラーリミッターが掛かります。

【シャドウアニメーションについて】

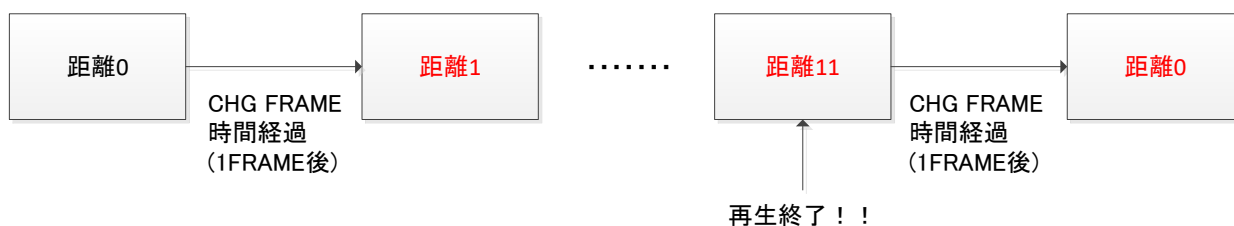
シャドウアニメーションとは開始パラメーター、終了パラメーター、ステップ値を設定することで任意のシャドウのアニメーションを行うことができる機能です。TAKE ONと同時にアニメーションが開始され、チェンジフレーム時間経過した際にステップ値を開始パラメーターに加減算します。

アニメーション動作の仕様は以下のとおりです。

- 1) STARTとENDでパラメーターが同一の場合はアニメーションされません。
- 2) STARTとENDのパラメーターの大小関係により、STEPで加算するか減算するかが決定します。例えばSTARTを0でENDを11だとCHG FRAME時間経過する度にSTEPで加算します。STARTとENDのパラメーターが逆になればSTEPで減算します。
- 3) STARTパラメーターから開始して、ENDパラメーターに達したときにEND ACTIONが実行されます。END ACTIONはTOPとREVがあり、TOPはSTARTパラメーターから再度アニメーションし直します。REVはENDパラメーターからSTARTパラメーターに向かって戻り、以後START、END間を行き来します。

アニメーションパラメーター1

START 距離0	END 距離11	STEP 1	END ACTION TOP	CHG FRAME 1FRAME
--------------	-------------	-----------	-------------------	---------------------



アニメーションパラメーター2

START 距離0	END 距離11	STEP 1	END ACTION REV	CHG FRAME 1FRAME
--------------	-------------	-----------	-------------------	---------------------

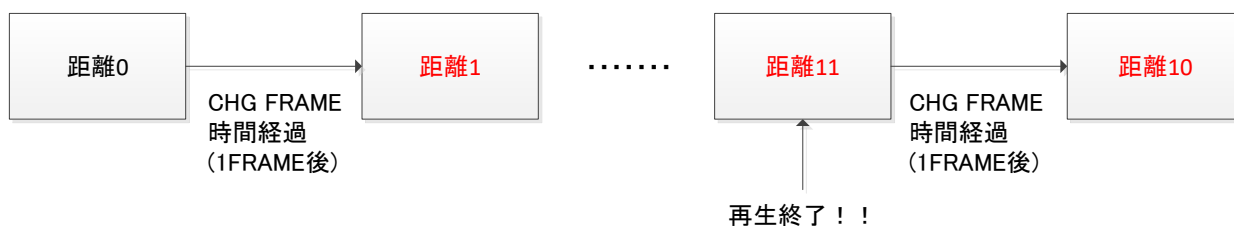


図4-3.49 シャドウアニメーションシーケンス図

◇PRV ASSIGN

プレビュー出力のアサインモードを設定します。

SYSTEM	TRANSITION	→ ALL
CONFIG	FILL	ASSIGN1
LINE	KEY	ASSIGN2
SUPER1	EDGE	ASSIGN3
SUPER2	SHADOW	ASSIGN4
INFO	PRV ASSIGN	OFF
	ASSIGN1	
	ASSIGN2	
	ASSIGN3	
	ASSIGN4	

図4-3.50 PRV ASSIGNメニュー

- ALL** :アサインパターンに関係なくスーパーをプレビュー出力します。
- ASSIGN1** :スーパーをアサイン 1 に設定し、プレビュー出力します。
- ASSIGN2** :スーパーをアサイン 2 に設定し、プレビュー出力します。
- ASSIGN3** :スーパーをアサイン 3 に設定し、プレビュー出力します。
- ASSIGN4** :スーパーをアサイン 4 に設定し、プレビュー出力します。
- OFF** :スーパーをプレビューしません。

※CK-70ECの4KモードがOFF以外の時にはこのメニューは無効になります。各メニュー設定値は4Kモードの設定値により固定されます。CK-70ECの4KモードをEC2以外にするとこのメニューを設定可能になります。

◇ASSIGN1～4

スーパーのアサインパターン 1～4 を設定します。

SYSTEM	TRANSITION	LINE1	→ ON
CONFIG	FILL	LINE2	OFF
LINE	KEY	LINE3	
SUPER1	EDGE		
SUPER2	SHADOW		
INFO	PRV ASSIGN		
	ASSIGN1		
	ASSIGN2		
	ASSIGN3		
	ASSIGN4		

図4-3.51 ASSGINメニュー

1. **LINE1** :ライン 1 のスーパーアサインを設定します。
- ON** :ライン 1 のスーパーアサインをオンにします。
- OFF** :ライン 1 のスーパーアサインをオフにします。
2. **LINE2** :ライン 2 のスーパーアサインを設定します。 選択項目は、LINE1 と同様です。
3. **LINE3** :ライン 3 のスーパーアサインを設定します。 選択項目は、LINE1 と同様です。

※CK-70ECの4KモードがOFF以外の時にはこのメニューは無効になります。各メニュー設定値は4Kモードの設定値により固定されます。CK-70ECの4KモードをEC2以外にするとこのメニューを設定可能になります。

(5)INFO 表示

モジュールの情報を表示します。

SYSTEM	VER	→SOFT	01.00.00 R41
CONFIG	AVDL STATUS	HARD	2013/12/17 TUE
LINE	STATUS		Build-16:56:48
SUPER1			
SUPER2			PANEL1:
INFO			NO CONNECT
			PANEL2:
			NO CONNECT

図4-3.52 INFOメニュー

- 1. VER
 - SOFT :ソフトウェア、ハードウェアのバージョンを表示します。
 - HARD :プログラムバージョンやパネル接続などを表示します。
 - HARD :ハードウェアバージョンを表示します。(V1 など)
- 2. AVDL STATUS :LINE1 および LINE2 の AVDL 位相を表示します。
AVDL 範囲内であれば『Stability』、AVDL 範囲外では『Instability』を表示します。
入力信号判定で、入力有り『LOCK』、入力無し『UNLOCK』を表示します。
- 3. STATUS :各種ステータスを表示します。
LINE1/LINE2/BUS1/BUS2/FILL1/KEY1/FILL2/KEY2 に入力されている映像信号のフォーマットを表示します。未入力及び認識できないフォーマット入力時は"NONE"と表示されます。
モジュール上のチップファンのステータスと回転率を表示します。
ステータス異常時には"ERR XX%"、正常時には"OK XX%"と表示されます。

4. CK-70W-01 の使い方

CK-70W-01は、CK-70WのスーパーON/OFFを手動操作するためのテイクリモコンです。

テイクリモコンを接続する際は、別売の12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル(CK-70W-22/23/24/25)が必要です。ケーブルを延長したい場合は、汎用のオーディオケーブル(XLR-3)を使用することができます。ケーブルの品質にも左右されますが、100m程度伸ばすことができます。

1台のテイクリモコンでCK-70Wスーパー1(FILL1、KEY1)、スーパー2(FILL2、KEY2)を同時、または個別に制御することができます。

スーパー1、2を個別に制御したい場合はテイクリモコンを2台使用し、制御対象(スーパー1、あるいはスーパー2)は、CK-70Wの設定、及びCK-70W-22/23/24/25とテイクリモコンの接続方法で決まります。

ケーブルが分岐しているコネクタをSuper1側、もう一方をSuper2側として説明します。

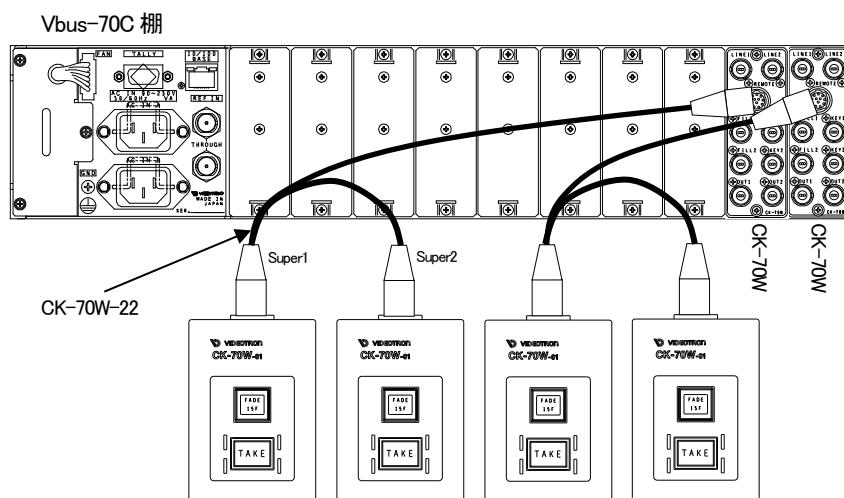


図4-4.1 CK-70W-01の接続

工場出荷時設定では、CK-70W-22/23/24/25のSuper1側に接続したリモコンがスーパー1(FILL1、KEY1)を制御。Super2側に接続したリモコンがスーパー2(FILL2、KEY2)を制御します。

スーパーを同時に制御したい場合は、メニューより[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[ALL]の設定にします。このように設定すると、Super1側のリモコンでスーパー1、スーパー2を同時に制御できます。

CK-70W-22/23を使用すると、CK-70Wの接点I/Fが使用できません。リモコン制御と接点制御を併用したい場合は、CK-70W-24/25を使用してください。

【基本操作】

(1) REMOTE端子にオプションのCK-70W-22/23/24/25を介してオプションのCK-70W-01接続します。

CK-70W-22/23/24/25はXLR-3コネクタが2個ありますが、Super1側(ケーブルが分岐しているコネクタ側)にCK-70W-01を接続します。

(2) 正しく接続されると「**ファンクション**」ボタン(Cut、またはFadeと表示されているボタン)が点灯します。

接続に問題がある場合は、「**ファンクション**」が点灯しません。ケーブル断線等で本体と通信が確立していない時は「NO CONNECT」、リモコンの制御対象のスーパーが未入力時には、「NO SIG」と表示されます。

(3) CK-70W-01の「**TAKE**」ボタンを押す度、FILL1/KEY1のスーパーがON/OFFします。

- (4) **ファンクション**ボタン(Cut、またはFadeと表示されているボタン)を押すと、トランジションを切り替えることができます。Fade、Cutの設定、変更が簡単にできます。※1

フェードタイムを変更したい場合、MENU→SUPER1→TRANSITION→ON TAKE SPD(フェード・インのスピード)／OFF TAKE SPD(フェード・アウトのスピード)で予め設定します。これらの設定は保持されます。

- (5) **ファンクション**を2秒間押し続けると、一時的に“設定表示”に切り替わります。デフォルトで“Super1 Port1” ※2、または“Super2 Port2” ※2と表示され、リモコンの制御対象がSuper1に対するものなのか、Super2に対するものなのか確認することができます。Super1、Super2の部分については、個別に名称を登録することができます。名称登録は添付のCD-ROMに入っている“CK-70W アプリケーション”で行います。名称登録の手順につきましては、CD-ROMに入っているアプリケーションマニュアルを参照してください。

また、デフォルトで“設定表示”、2秒押しで“トランジション表示”にすることもできます。MENU→CONFIG→DISP DEFで設定します。

デフォルトで“設定表示”にした場合でも、トランジション表示中に**ファンクション**を押してCut／Fadeを変更することが可能です。

※1 CK-70WはTAKE ON/OFFで別々のトランジションタイプを設定することができますが、ファンクションボタン操作によるトランジションタイプ変更はTAKE ON/OFF一括で変更されます。

※2 表示内容は環境により異なります。

・CK-70ECが同一筐体内に存在する場合は下図のようになります。

CK-70W実装開始スロット位置に関係なく、実装されているCK-70Wの枚数でSUPER番号が決定します。

SLOT1	SLOT2	SLOT3	SLOT4	SLOT5	SLOT6	SLOT7	SLOT8
CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70EC	
SUPER1 SUPER2	SUPER3 SUPER4	SUPER5 SUPER6	SUPER7 SUPER8	SUPER9 SUPER10	SUPER11 SUPER12		

図4-4.2 CK-70Wスーパー番号パターン1

SLOT3	SLOT4	SLOT5	SLOT6	SLOT7	SLOT8	SLOT9	SLOT10
CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70EC	
SUPER1 SUPER2	SUPER3 SUPER4	SUPER5 SUPER6	SUPER7 SUPER8	SUPER9 SUPER10	SUPER11 SUPER12		

図4-4.3 CK-70Wスーパー番号パターン2

・CK-70ECが同一筐体内に存在しない場合は下図のようになります。

SUPER番号がスロット位置で決まり、SUPER12以上に対応しておりません。

CK-70ECが同一筐体内に存在しない場合はなるべく筐体正面左端のSLOT1からCK-70Wを実装してください。

※SUPER12以上のスロットはSUPER11、12の内容が表示されます。

SLOT1	SLOT2	SLOT3	SLOT4	SLOT5	SLOT6
CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W
SUPER1 SUPER2	SUPER3 SUPER4	SUPER5 SUPER6	SUPER7 SUPER8	SUPER9 SUPER10	SUPER11 SUPER12

図4-4.4 CK-70Wスーパー番号パターン3

SLOT3	SLOT4	SLOT5	SLOT6	SLOT7	SLOT8
CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W	CK-70W
SUPER5 SUPER6	SUPER7 SUPER8	SUPER9 SUPER10	SUPER11 SUPER12	SUPER11 SUPER12	SUPER11 SUPER12

図4-4.5 CK-70Wスーパー番号パターン4

5. CK-70W-02 の使い方

CK-70W-02は、CK-70Wの2chのスーパーON/OFFを手動操作するためのテイクリモコンです。

テイクリモコンを接続する際は、別売の12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル(CK-70W-22/23/24/25)が必要です。ケーブルを延長したい場合は、汎用のオーディオケーブル(XLR-3)を使用することができます。ケーブルの品質にも左右されますが、100m程度伸ばすことができます。

1台のテイクリモコンでCK-70Wスーパー1(FILL1、KEY1)、スーパー2(FILL2、KEY2)を同時、または個別に制御することができます。制御対象(スーパー1、あるいはスーパー2)は、CK-70Wの設定で決まります。

制御対象設定例は以下の通りです。

1.TAKE1とTAKE2で別々のスーパーを制御する場合

1.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[S1 ALL]に設定します。

2.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE2]→[S2 ALL]に設定します。

上記設定でPANEL1側に接続したCK-70W-02のTAKE1がスーパー1を、TAKE2がスーパー2を制御対象とします。

2.TAKE1とTAKE2で同一スーパーの別々のアサインを制御する場合

1.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[S1 ASSIGN1]に設定します。

2.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE2]→[S1 ASSIGN2]に設定します。

上記設定でPANEL1側に接続したCK-70W-02のTAKE1がスーパー1のアサインパターン1を、TAKE2がスーパー1のアサインパターン2を制御対象とします。NET/LOCAL運用時に有用な設定です。

3.TAKE1で2つのスーパー同時制御、TAKE2で片側スーパーを制御する場合

1.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[ALL]に設定します。

2.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE2]→[S1 ALL]に設定します。

上記設定でPANEL1側に接続したCK-70W-02のTAKE1がスーパー1と2を、TAKE2がスーパー1を制御対象とします。

※PANEL1かPANE2かはケーブルとの接続方法で決まります。ケーブルが分岐しているコネクタがPANEL1側、もう一方がPANEL2側となります。

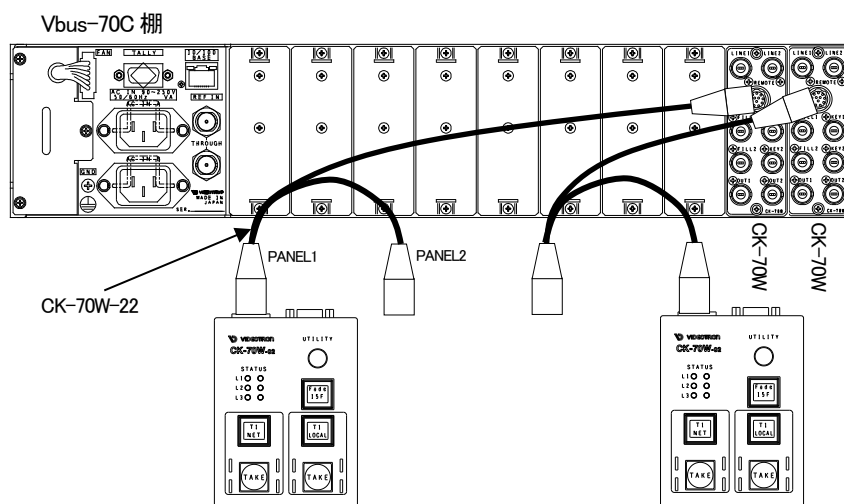


図4-5.1 CK-70W-02の接続

CK-70W-22/23を使用すると、CK-70Wの接点I/Fが使用できません。リモコン制御と接点制御を併用したい場合は、CK-70W-24/25を使用してください。CK-70W-22/24との接続ではCK-70W-02はCK-70W1台につき、1台しか接続できま

せん。またCK-70W-01/03はCK-70W-22/24の片側空いている方に接続できません。2台接続したい場合にはCK-70W-23あるいはCK-70W-25を使用して接続してください。

ファンクションスイッチ 1～3について

ファンクションスイッチ 1～3 は制御対象がメニューでどのような設定になっているかで変化します。

下記 3 つのパターンが存在し、それぞれでファンクションスイッチ機能や操作方法が異なります。

1. TAKE1 と TAKE2 で別々のスーパー制御をする設定になっている時。

設定例: TAKE1 が S1 ALL、TAKE2 が S2 ALL

ファンクション 1: 上段にスーパー1 の素材名称、下段にスーパー2 の素材名称を表示します。ボタンを押すと接続先ポート番号を表示し、2 秒間無操作でいると元の素材名称表示に戻ります。

ファンクション 2: スーパー1 のトランジションタイプ、トランジションタイムを表示します。ボタンを押すことでトランジションタイプを Cut>Fade>Cut... と変更することができます。トランジションタイプ Fade で 5 秒以上長押しするとトランジションタイムの変更モードに移行します。変更モード時はトランジションタイムが点滅します。この状態で UTILITY を回すことでトランジションタイムが変更されます。無操作のまま 2 秒以上たつとトランジションタイム変更モードから通常モードへ戻ります。

ファンクション 3: スーパー2 のトランジションタイプ、トランジションタイムを表示します。操作仕様等はファンクション 2 と同様です。

2. TAKE1 と TAKE2 で同一のスーパー制御をする設定になっている時。

設定例: TAKE1 が S1 ASSIGN1、TAKE2 が S1 ASSIGN2

ファンクション 1: スーパー1 のトランジションタイプ、トランジションタイムを表示します。ボタンを押すことでトランジションタイプを Cut>Fade>Cut... と変更することができます。トランジションタイプ Fade で 5 秒以上長押しするとトランジションタイムの変更モードに移行します。変更モード時はトランジションタイムが点滅します。この状態で UTILITY を回すことでトランジションタイムが変更されます。無操作のまま 2 秒以上たつとトランジションタイム変更モードから通常モードへ戻ります。

また、このモード時には変更モード以外でもトランジションタイムを変更※1 することができます。変更範囲が最後にメニュー設定で設定されたトランジションタイムを上限とする以外は変更モード時と操作仕様などは同一です。

例として、メニュー設定でトランジションタイムを 30 フレームと設定されている状態なら、変更モード以外での変更可能範囲は 2～30(変更モード時は仕様上の上限まで可能なため 2～300)フレームとなります。

ファンクション 2: 上段にスーパー1 の素材名称、下段にスーパー1 のアサイン名称 1※2 を表示します。ボタンを押すと接続先ポート番号を表示し、2 秒間無操作でいると元の素材名称表示に戻ります。

ファンクション 3: 上段にスーパー1 の素材名称、下段にスーパー1 のアサイン名称 2※2 を表示します。操作仕様等はファンクション 2 と同様です。

※1 CK-70EC の 4K モードが OFF 以外の時には変更モード以外でのトランジションタイム変更はできません。

※2 S1 及び S2 の ASSIGN1～4 を設定している時のみ。それ以外は ALL と表示されます。

3. TAKE1 か TAKE2 に 2 つのスーパーを同時に制御する設定になっている時。

設定例: TAKE1 が ALL、TAKE2 が S1 ALL

ファンクション 1: スーパー1 のトランジションタイプ、トランジションタイムを表示します。ボタンを押すことでトランジションタイプを Cut>Fade>Cut... と変更することができます。トランジションタイプ Fade で 5 秒以上長押しするとトランジションタイムの変更モードに移行します。変更モード時はトランジションタイムが点滅します。この状態で UTILITY を回

すことでトランジションタイムが変更されます。無操作のまま2秒以上たつとトランジションタイム変更モードから通常モードへ戻ります。

また、このモード時には変更モード以外でもトランジションタイムを変更することができます。変更範囲が最後にメニュー設定で設定されたトランジションタイムを上限とする以外は変更モード時と操作仕様などは同一です。

例として、メニュー設定でトランジションタイムを30フレームと設定されている状態なら、変更モード以外での変更可能範囲は2～30(変更モード時は仕様上の上限まで可能なため2～300)フレームとなります。

ファンクション2: 上段にスーパー1の素材名称、下段にスーパー2の素材名称1を表示します。ボタンを押すと接続先ポート番号を表示し、2秒間無操作でいると元の素材名称表示に戻ります。

ファンクション3: 上段にスーパー1の素材名称、下段にALLを表示します。操作仕様等はファンクション2と同様です。

【基本操作】

- (1) REMOTE端子にオプションのCK-70W-22/23/24/25を介してオプションのCK-70W-02接続します。
CK-70W-22/23/24/25はXLR-3コネクターが2個ありますが、Super1側(ケーブルが分岐しているコネクター側)にCK-70W-02を接続します。
- (2) 正しく接続されると「ファンクション」ボタン1～3(Cut、またはFadeあるいはスーパー素材名称等が表示されているボタン)が点灯します。
接続に問題がある場合は、「ファンクション」が点灯しません。ケーブル断線等で本体と通信が確立していない時は“NO CONNECT”、リモコンの制御対象のスーパーが未入力時には、“NO SIG”と表示されます。
- (3) CK-70W-02の「TAKE」ボタン1あるいは2を押す度、FILL1/KEY1あるいはFILL2/KEY2(本体設定により変化します)のスーパーがON/OFFします。

6. CK-70W-03 の使い方

CK-70W-03は、CK-70WのスーパーON/OFFを手動操作するためのテイクリモコンです。

テイクリモコンを接続する際は、別売の12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル(CK-70W-22/23/24/25)が必要です。ケーブルを延長したい場合は、汎用のオーディオケーブル(XLR-3)を使用することができます。ケーブルの品質にも左右されますが、100m程度伸ばすことができます。

1台のテイクリモコンでCK-70Wスーパー1(FILL1、KEY1)、スーパー2(FILL2、KEY2)を同時、または個別に制御することができます。制御対象(スーパー1、あるいはスーパー2)は、CK-70Wの設定で決まります。

制御対象設定例は以下の通りです。

1.TAKEでスーパー1を制御する場合

- 1.メニューより、[CONFIG]->[PANEL]->[PANEL1 TAKE1]->[S1 ALL] or [S1 ASSIGN1～4]に設定します。

2.TAKEでスーパー2を制御する場合

- 1.メニューより、[CONFIG]->[PANEL]->[PANEL1 TAKE1]->[S2 ALL] or [S2 ASSIGN1～4]に設定します。

3.TAKEで2つのスーパー同時制御する場合

- 1.メニューより、[CONFIG]->[PANEL]->[PANEL1 TAKE1]->[ALL]に設定します。

※PANEL1かPANE2かはケーブルとの接続方法で決まります。ケーブルが分岐しているコネクタがPANEL1側、もう一方がPANEL2側となります。

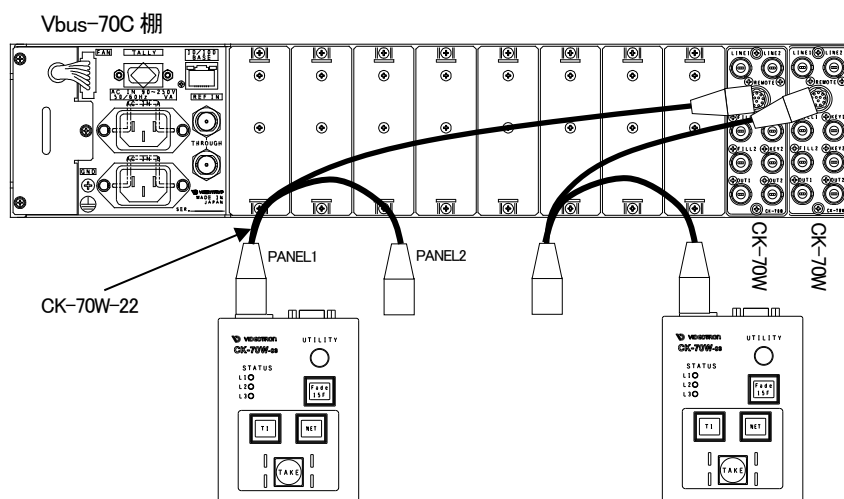


図4-6.1 CK-70W-03の接続

CK-70W-22/23を使用すると、CK-70Wの接点I/Fが使用できません。リモコン制御と接点制御を併用したい場合は、CK-70W-24/25を使用してください。CK-70W-22/24との接続ではCK-70W-03はCK-70W1台につき、1台しか接続できません。またCK-70W-01/02はCK-70W-22/24の片側空いている方に接続できません。2台接続したい場合にはCK-70W-23あるいはCK-70W-25を使用して接続してください。

ファンクションスイッチ 1～3 について

CK-70W-03 ではファンクションスイッチ 1～3 は設定にかかわらずそれぞれ機能が固定されます。

設定例: TAKE1 が S1 ALL(S2 ALL の時には下記スーパー1 をスーパー2 と読み替えてください。ALL の時はスーパー1 を優先対象として表示します)

ファンクション 1: スーパー1 のトランジションタイプ、トランジションタイムを表示します。ボタンを押すことでトランジションタイプを Cut>Fade>Cut... と変更することができます。トランジションタイプ Fade で 5 秒以上長押しするとトランジションタイムの変更モードに移行します。変更モード時はトランジションタイムが点滅します。この状態で UTILITY を回すことでトランジションタイムが変更されます。無操作のまま 2 秒以上たつとトランジションタイム変更モードから通常モードへ戻ります。

また、このモード時には変更モード以外でもトランジションタイムを変更※1 することができます。変更範囲が最後にメニュー設定で設定されたトランジションタイムを上限とする以外は変更モード時と操作仕様などは同一です。

例として、メニュー設定でトランジションタイムを 30 フレームと設定されている状態なら、変更モード以外での変更可能範囲は 2～30(変更モード時は仕様上の上限まで可能なため 2～300)フレームとなります。

ファンクション 2: スーパー1 の素材名称を表示します。ボタンを押すと接続先ポート番号を表示し、2 秒間無操作でいると元の素材名称表示に戻ります。

ファンクション 3: スーパー1 のアサイン名称※2 を表示します。ボタンを押すと接続先ポート番号を表示し、2 秒間無操作でいると元の素材名称表示に戻ります。また 5 秒以上長押しすると制御対象を変更することができます。

制御対象変更モードに入るとボタンの色が変わり、もう一度ボタンを押すまでは変更モードから抜けません。

制御対象変更モードではメニュー設定の[CONFIG]->[PANEL]->[PANEL1～2 TAKE1～2]の下の階層を選択するのと同様の動作になります。

※1 CK-70EC の 4K モードが OFF 以外の時には変更モード以外でのトランジションタイム変更はできません。

※2 S1 及び S2 の ASSIGN1～4 を設定している時のみ。それ以外は ALL と表示されます。

【基本操作】

(1) REMOTE 端子にオプションの CK-70W-22/23/24/25 を介してオプションの CK-70W-03 を接続します。

CK-70W-22/23/24/25 は XLR-3 コネクタが 2 個ありますが、Super1 側(ケーブルが分岐しているコネクタ側)に CK-70W-03 を接続します。

(2) 正しく接続されると **ファンクション** ボタン 1～3 (Cut、または Fade あるいは スーパー 素材名称等が表示されているボタン) が点灯します。

接続に問題がある場合は、**ファンクション** が点灯しません。ケーブル断線等で本体と通信が確立していない時は “NO CONNECT”、リモコンの制御対象のスーパーが未入力時には、“NO SIG” と表示されます。

(3) CK-70W-03 の **TAKE** ボタンを押す度、FILL1/KEY1 あるいは FILL2/KEY2 (本体設定により変化します) のスーパーが ON/OFF します。

7. CK-70W-06 の使い方

CK-70W-06は、CK-70Wのスーパーフェーダーを手動操作するためのフェーダーレバーです。

フェーダーレバーを接続する際は、別売の12ピン⇄XLR×2 変換ケーブル(CK-70W-22/23/24/25)とCK-70W-02あるいはCK-70W-03が必要です。ケーブルを延長したい場合は、汎用のオーディオケーブル(XLR-3)を使用することができます。ケーブルの品質にも左右されますが、100m程度伸ばすことができます。

1台のフェーダーレバーでCK-70Wスーパー1(FILL1、KEY1)、スーパー2(FILL2、KEY2)を同時、または個別に制御することができます。制御対象(スーパー1、あるいはスーパー2)は、CK-70Wの設定で決まります。

CK-70W-02との接続での制御対象設定例は以下の通りです。

1.フェーダーレバーでスーパー1を制御する場合

- 1.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[S1 ALL] or [S1 ASSIGN1～4]に設定します。
- 2.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE2]→[S1 ALL] or [S1 ASSIGN1～4]に設定します。

2. フェーダーレバーでスーパー2を制御する場合

- 1.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[S2 ALL] or [S2 ASSIGN1～4]に設定します。
- 2.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[S2 ALL] or [S2 ASSIGN1～4]に設定します。

3. フェーダーレバーで2つのスーパー同時制御する場合

- 1.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[ALL] or [S1 ALL] or [S1 ASSIGN1～4]に設定します。
- 2.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE2]→[ALL] or [S2 ALL] or [S2 ASSIGN1～4]に設定します。

CK-70W-03との接続での制御対象設定例は以下の通りです。

1.フェーダーレバーでスーパー1を制御する場合

- 1.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[S1 ALL] or [S1 ASSIGN1～4]に設定します。

2. フェーダーレバーでスーパー2を制御する場合

- 1.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[S2 ALL] or [S2 ASSIGN1～4]に設定します。

3. フェーダーレバーで2つのスーパー同時制御する場合

- 1.メニューより、[CONFIG]→[PANEL]→[PANEL1 TAKE1]→[ALL]に設定します。

※PANEL1かPANE2かはケーブルとの接続方法で決まります。ケーブルが分岐しているコネクタがPANEL1側、もう一方がPANEL2側となります。

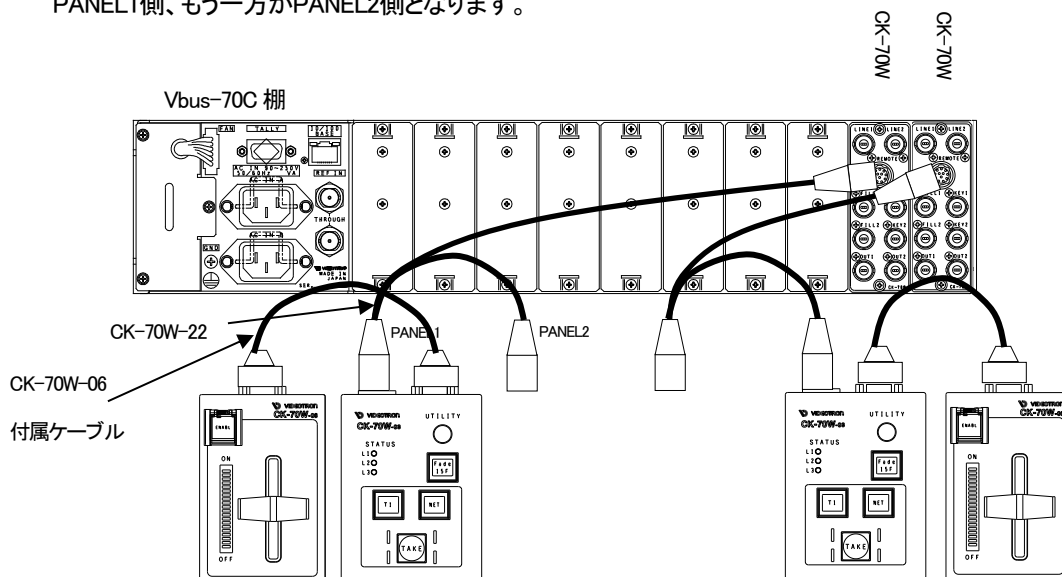


図4-7.1 CK-70W-06の接続

【基本操作】

- (1) 本体と予め接続してあるCK-70W-02あるいはCK-70W-03と付属のD-sub 9pinケーブルで接続します。
- (2) **ENABLE**ボタンを押します。
- (3) **ENABLE**ボタンが緑色に点灯すれば、レバーを移動させることによりフェーダーを手動操作することが可能な状態になります。この時、CK-70W-02/03の**ファンクション**ボタンのトランジション表示を行っているボタンの色がグレーになり、**TAKE**ボタン操作が無効になります。**TAKE**ボタンはスーパーON/OFFを表示するだけのタリースイッチになりますので再度**TAKE**ボタンを有効にする場合には**ENABLE**ボタンを押して、消灯させる必要があります。
- (4) **ENABLE**ボタンが緑色に点滅している場合はレバーの位置を0%の位置まで移動(レバーを下に移動)させます。0%の位置に移動させると(3)の状態になり、通常使用することができます。
- (5) レバーの開始(0%)位置、終了(100%)位置を設定する場合には**ENABLE**ボタンを5秒以上長押しします。
- (6) **ENABLE**ボタンが橙色に点灯したらレバーの開始位置設定モードになっているので、レバーを任意の位置に移動させ、**ENABLE**ボタンを押します。
- (7) **ENABLE**ボタンが橙色に点滅したらレバーの終了位置設定モードになっているので、レバーを任意の位置に移動させ、**ENABLE**ボタンを押します。
- (8) 開始・終了位置設定後、(4)の状態になるので、レバーを0%位置に戻せば通常使用できるようになります。

※レバーの開始・終了位置はメニュー設定の[CONFIG]→[PANEL]→[FADER]でも同様の設定を行うことが可能です。主な用途はレバーの開始・終了位置に”遊び”を持たせたい場合になります。

※1つのスーパーにつき手動操作できるフェーダーレバーは1つだけです。その他のフェーダーレバーで該当スーパーを手動操作中にはそのスーパーに対するフェーダーレバーの有効・無効設定はできません。先に有効になっていたフェーダーレバーが優先される先取り優先方式になっています。

※フェーダーが無効な状態で**ENABLE**ボタンを押すと、以下の動作になります。

- 1) フェーダーで操作するスーパーが強制的にカットオフされます。
- 2) フェーダーレバーの位置が0%以外の位置にいとフェーダー仮有効モードになります。ENABLEボタンが緑点滅し、ON → OFFへ向かってLEDの点滅が掃引します。この状態をキャンセルするにはもう一度ENABLEボタンを押します。有効にする場合にはレバー位置を0%まで移動させます。
- 3) フェーダーレバーが0%の位置にいれば、ENABLEボタンは緑点灯しフェーダーが有効になります。
- 4) フェーダーが有効な状態でレバー位置を移動させるとレバー位置に応じた係数でスーパーインポーズされます。

※フェーダーが有効な状態で**ENABLE**ボタンを押すと、以下の動作になります。

- 1) フェーダーで操作していたスーパーが強制的にカットオフされます。

8. カスケード接続について

Vbus-C シリーズ筐体の内部バスを使用してカスケード接続することができます。カスケードは最大 6 モジュールまで可能で、最大 12 スーパーに対応します。

カスケード接続したときの LINE 信号は、筐体正面から見て左から右に信号が流れます。モジュールは間隔を空けず、できるだけ右側に詰めて実装してください。

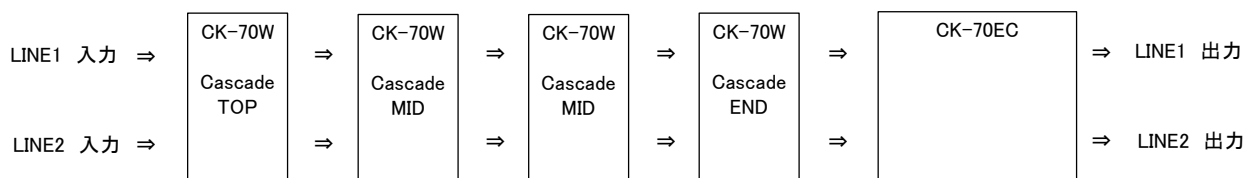


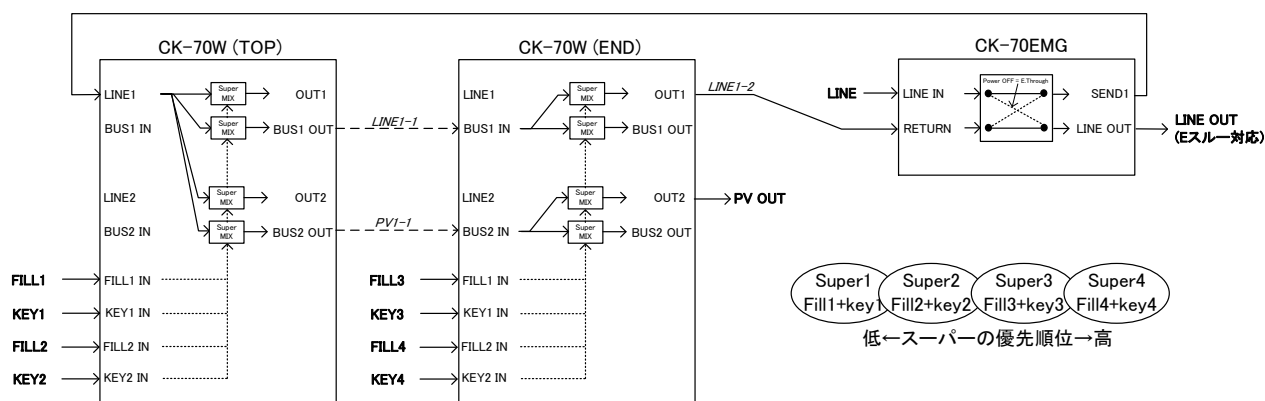
図 4-5.1 Vbus-C 筐体実装時、筐体正面から見たモジュールの並びとカスケード設定

カスケード接続する際は、できる限りリファレンスロックでご使用ください。筐体にリファレンス分配機能を内蔵している機種では、筐体のリファレンスを使用し、リファレンス分配機能非搭載の機種では CK-70EC のリファレンス分配機能を使用してください。

注意！ ラインロックでカスケードすると、LINE 信号が抜けた際、再度ロックするまで数十秒かかる場合があります。特に本線映像信号にルーター（ブランキングスイッチャー）の出力信号を使用すると、信号切り替わり時のショックを吸収することができず、信号切り替えの度に、CK-70W の出力映像が数十秒乱れます。

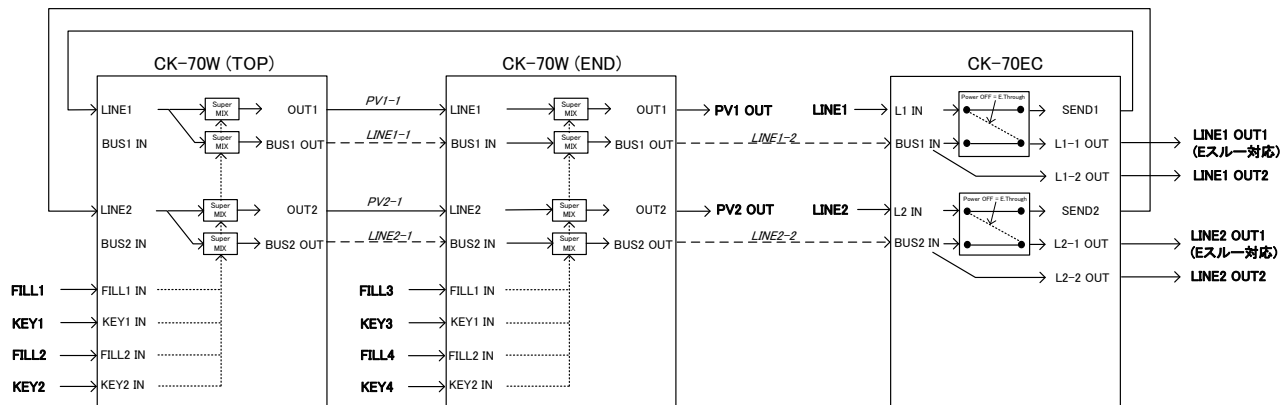
【カスケードの構成例】 ※図中の点線は、筐体内部バスでカスケード接続されます。

① ライン1 系統モード（ライン1 系統、スーパー4 入力、プレビュー／エマージェンシースルー対応）



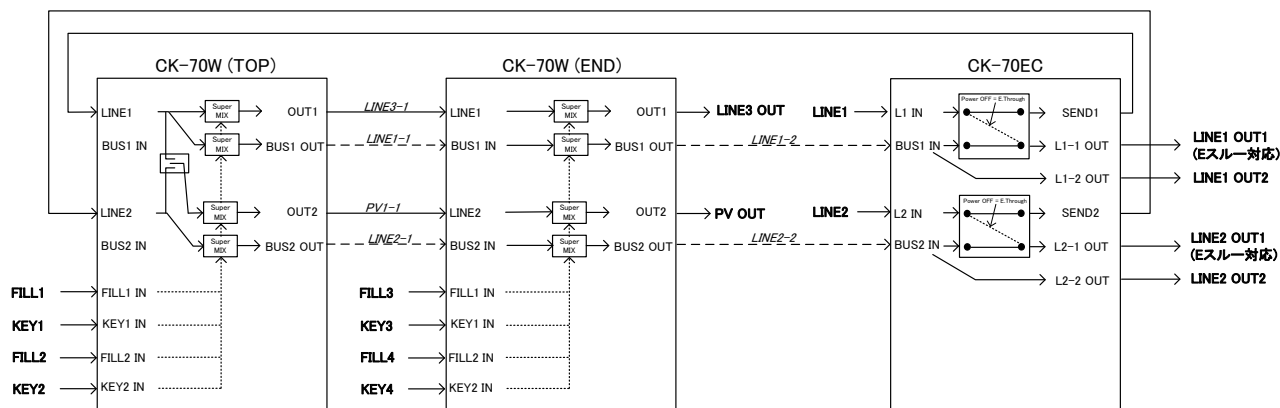
標準的なDSK装置としての構成例です。エマージェンシースルー機能が必要ない場合はCK-70EMGを省くこともできます。モジュールを追加する場合は、“TOP”と“END の間に”MID”設定のモジュールを実装します。

② ライン2 系統モード（ライン2 系統、スーパー4 入力、プレビュー／エマージェンシースルー対応）



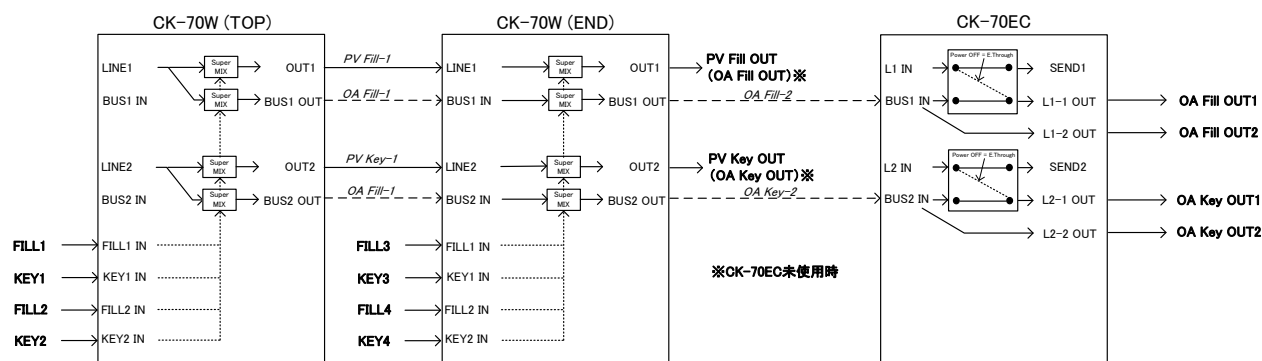
ネット／ローカル配信に適したライン2 系統 DSK の構成例です。CK-70EC は必須です。専用リモコン、GPI で各スーパーを制御できます。図中の PV1-1、PV2-1 のカスケード配線は BNC ケーブルを使用します。モジュールを追加する場合は、“TOP”と“END の間に”MID”設定のモジュールを実装します。その際、カスケード用の BNC ケーブルが 2 本必要になります。

③ ライン3 系統モード（ライン3 系統、スーパー4 入力、プレビュー／LINE1、2 のみエマージェンシースルー対応）



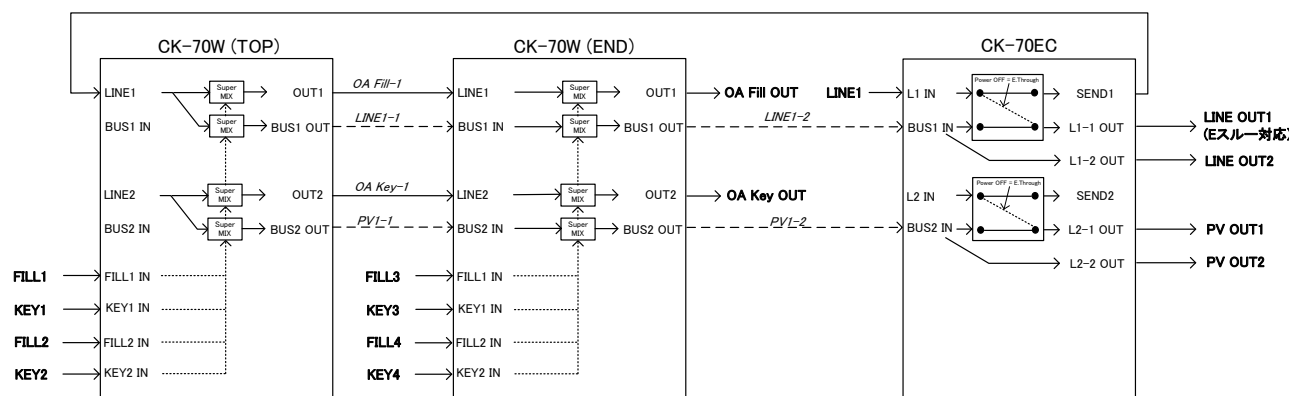
ネット／ローカル配信に適したライン 3 系統 DSK の構成例です。CK-70EC は必須です。専用リモコン、GPI で各スーパーを制御できます。LINE1 系の PV 出力を共通で使います。LINE3 の入力信号は、LINE1、LINE2 のどちらかの入力信号を割り当てます。LINE3 OUT はエマージェンシースルー非対応ですが、更に CK-70EMGを追加することで LINE3 OUT もエマージェンシースルーに対応させることができます。図中の LINE3-1、PV1-1 のカスケード配線は BNC ケーブルを使用します。モジュールを追加する場合は、“TOP”と“END”の間に“MID”設定のモジュールを実装します。その際、カスケード用の BNC ケーブルが 2 本必要になります。

④コンバイナーモード（スーパー4 入力、プレビュー機能付き）



コンバイナー装置としての構成例です。プレビュー機能が必要ない場合は CK-70EC を省くこともできます。図中の PV Fill-1、PV Key-1 のカスケード配線は BNC ケーブルを使用します。モジュールを追加する場合は、“TOP”と“END”の間に“MID”設定のモジュールを実装します。その際、カスケード用の BNC ケーブルが 2 本必要になります。

⑤DSK+コンバイナーモード（スーパー4 入力、プレビュー／エマージェンシースルー対応）



DSK+コンバイナー装置としての構成例です。コンバイナー出力は OA 出力のみです。コンバイナー専用装置として使用し、プレビュー出力をラインに合成した映像で確認したい時にも有効な設定です。図中の OA Fill-1、OA Key-1 のカスケード配線は BNC ケーブルを使用します。モジュールを追加する場合は、“TOP”と“END”の間に“MID”設定のモジュールを実装します。その際、カスケード用の BNC ケーブルが 2 本必要になります。

カスケード時のモジュールの設定方法は「4.3.(1)SYSTEM 設定◇MODE」、「4.3.(3)LINE 設定◇カスケード」を参照してください。カスケード時は、ゲンロックの位相調整が非常に重要です。詳細は「4.3.(1)SYSTEM 設定◇GENLOCK」に記載しております。ゲンロックの調整を誤ると、映像が乱れる原因となりますのでご注意ください。

9. アサイン機能について

CK-70W は最大で 3 系統の LINE 信号(2 系統の LINE 信号は共通)に対して、ASSIGN 機能を使うと任意の系統にスーパーをテイクすることができます。例えば、SUPER1 は LINE1、2 にミックス、SUPER2 は LINE1、3 にミックスすることができます。

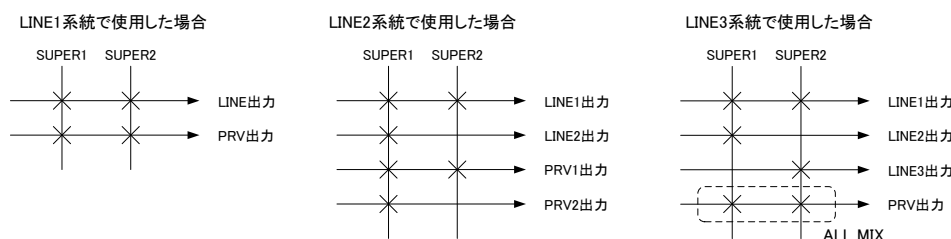


図4-9.1ASSIGN機能を使用した例

予め、SUPER1、SUPER2の合成パターンをそれぞれ4通りプリセットする機能があり、この機能を“ASSIGN”と呼びます。設定したASSIGNは接点の入出力ピンや、リモコンのボタン、プレビューに割り当てることができます。下図はASSIGNの使用例です。

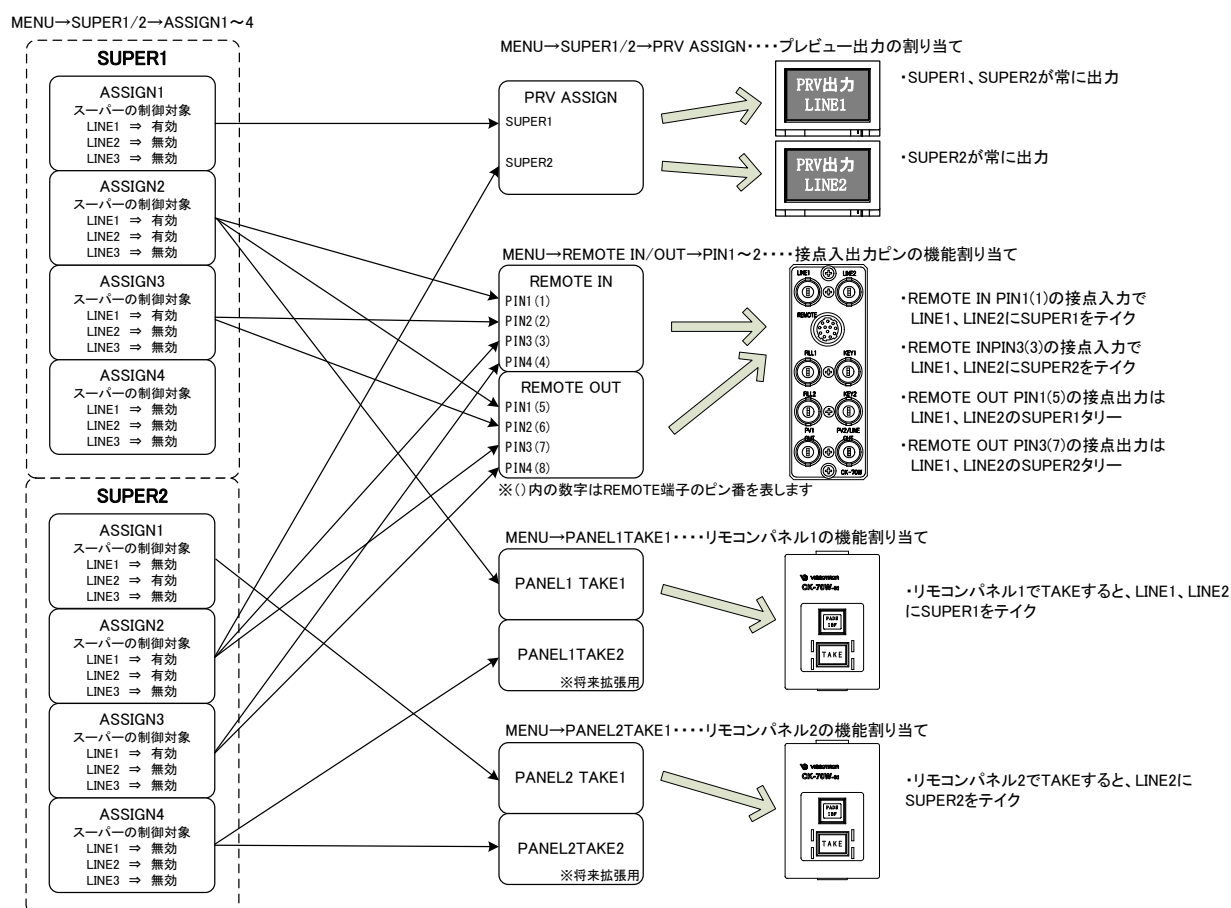


図 4-9.2 本線 2 系統出力モードにおける“ASSIGN”の使用例

上図について説明します。本線 2 系統出力モードにおける使用例です。最初に SUPER1、SUPER2 のアサインパターンを登録します。(MENU→SUPER1/2→ASSIGN1~4)

SUPER1 の ASSGIN1 は、LINE1 が有効、SUPER2 の ASSGIN2 は、LINE1、LINE2 が有効、よって LINE1 のプレビュー出力は SUPER1、SUPER2 が常に出力、LINE2 のプレビュー出力は SUPER2 が常に出力されます。

本線 3 系統出力モードで使用している場合は、プレビュー出力は 1 系統しかない為、プレビュー出力に対してアサイン設定は無効になり、強制的に全てのスーパーを合成出力します。

【制御が競合した時の動作】

ASSIGN 制御が競合した時の振る舞いについて説明します。

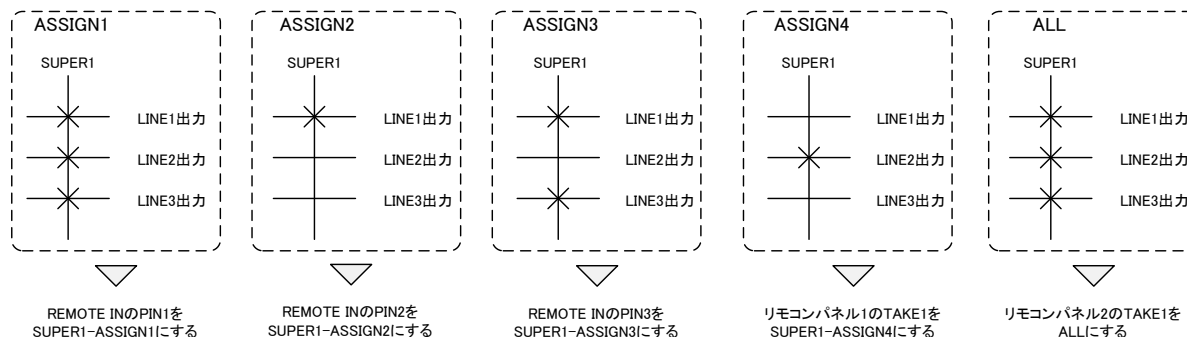


図 4-9.3 アサイン設定例

上図は、ASSIGN1～3を接点入力 1～3、ASSIGN4をリモコンパネル 1 の TAKE ボタンに割り振ったイメージ図です。リモコンパネル 2 についてはアサインパターンではなく“ALL”の設定をしています。

“ASSGIN1”は LINE1～3 に対するスーパーテイクであり、一見すると“ALL”と同じ動作をするように見えますが、実際は大きく異なります。

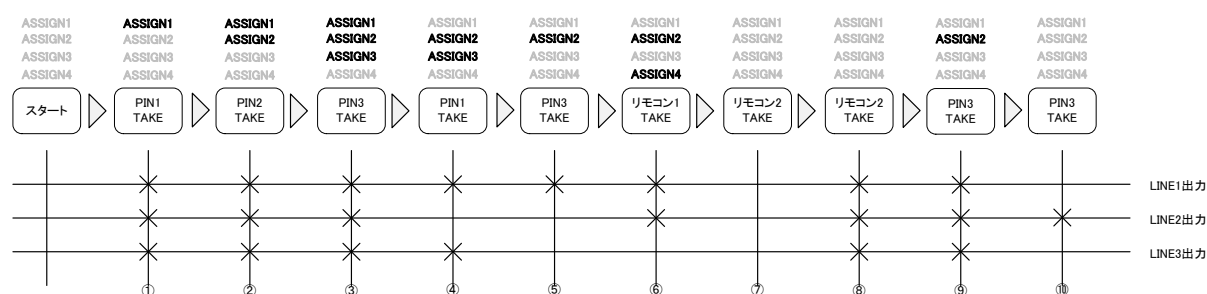


図 4-9.4 “ASSIGN TAKE”と“ALL TAKE”の動作

上図は、本線 3 系統出力モードにおいて「図 4-6.3 アサイン設定例」に示す設定をした場合のスーパー 1 の状態を示しています。

- ① ASSIGN1 を割り当てた REMOTE の PIN1 による TAKE 動作を表しています。ASSIGN1 は「図 4-6.3 アサイン設定例」より、LINE1～3 に対して制御が有効であることから、LINE1～3 スーパーがテイクされています。
- ② ASSIGN2 を割り当てた REMOTE の PIN2 による TAKE 動作を表しています。ASSIGN パターンによる TAKE は制御信号の OR と考えてください。よって、ASSIGN1 と ASSIGN2 の TAKE が OR された状態ですので状態は変化ありません。
- ③ ASSIGN3 を割り当てた REMOTE の PIN3 による TAKE 動作を表しています。ASSIGN1 と ASSIGN2、ASSIGN3 の TAKE が OR された状態ですので状態は変化ありません。
- ④ ASSIGN1 を割り当てた REMOTE の PIN1 による TAKE 動作を表しています。ASSIGN1 は ON の状態でしたので OFF されます。よって ASSIGN2、ASSIGN3 の TAKE が OR された状態で、LINE2 のスーパーのみ OFF されます。

- ⑤ ASSIGN3 を割り当てた REMOTE の PIN3 による TAKE 動作を表しています。ASSIGN3 は ON の状態でしたので OFF されます。よって ASSIGN2 の TAKE のみ有効で、LINE3 のスーパーが OFF されます。
- ⑥ ASSIGN4 を割り当てたリモコンパネル 1 による TAKE 動作を表しています。よって、ASSIGN2 と ASSIGN4 の TAKE が OR された状態です。
- ⑦ “ALL TAKE”設定のリモコンパネル 2 による TAKE 動作を表しています。ALL TAKE は、LINE1～3 にひとつでもスーパーがテイクされていると、全て OFF します。OR されていた ASSIGN は全て OFF されます。
- ⑧ “ALL TAKE”設定のリモコンパネル 2 による TAKE 動作を表しています。ALL TAKE は、LINE1～3 のスーパーがすべて OFF の状態だと、全て ON にします。
- ⑨ ASSIGN3 を割り当てた REMOTE の PIN3 による TAKE 動作を表しています。現在の状態に ASSIGN3 の TAKE が OR されます。既にスーパーは全て ON なので状態の変化はありませんが、ASSGIN3 は ON の状態です。
- ⑩ ASSIGN3 を割り当てた REMOTE の PIN3 による TAKE 動作を表しています。ASSGIN3 は ON から OFF に変化し、LINE1 と LINE3 のスーパーが OFF されます。

※CK-70EC の 4K モードが OFF 以外の時にはアサイン機能を使用することはできません。

10. 4K モードについて

CK-70EC と併用することで 4K モードを使用することができます。必要システム構成例等は CK-70EC の取扱説明書を参照してください。

CK-70W は同一筐体内に実装されている CK-70EC の 4K モードが OFF 以外の時に、以下のような動作仕様になります。

- 1.一部の設定メニューが使用できなくなります。詳細は各メニューの説明を参照して下さい。
- 2.SUPER メニューは 4K スーパーの同一グループ(4K スーパー番号が同一で田んぼの田の左上、右上、左下、右下)内のいずれかの設定値が変化すると自動的に同期します。例として左上スーパーを担当している CK-70W の SUPER メニュー設定値を変更すると、右上、左上、右下の担当をしている CK-70W の設定値も同内容になります。どのスーパーがどのグループに属するか、田んぼの田のどこに配置されるかは構成によって異なりますので、詳細は CK-70EC の取扱説明書を参照してください。
- 3.テイク制御も SUPER メニュー同様に、4K スーパーの同一グループ内のいずれかに制御をかけると同期します。制御タイミングも同期しますので、テイクオン・オフ制御がばらつくことはありません。

11. CK-70W-23/24/25 の使い方

CK-70-22 ケーブルを使用してリモコンを接続した場合、CK-70W の GPI 端子が使用できなくなります。リモコンと GPI 端子を併用したい場合、CK-70W-24、CK-70W-25 を使用すると GPI 端子を D-sub 25 ピンコネクターから取り出すことができます。また、リモコン(CK-70W-02、CK-70W-03)を 2 台使用する場合、消費電力が大きいので、電源供給端子付きの CK-70W-23、CK-70W-25 が必要です。オプションのケーブルの機能について下表にまとめます。

	CK-70W-22	CK-70W-23	CK-70W-24	CK-70W-25
リモコン接続端子	XLR-3(f) × 2	XLR-3(f) × 2	XLR-3(f) × 2	XLR-3(f) × 2
電源供給端子	無し	XLR-4(f) × 1	無し	XLR-4(f) × 1
GPI 端子	無し	無し	D-sub 25(m)	D-sub 25(m)

CK-70W-25、CK-70W-23 を使用してリモコンを接続する場合、下記の図に従い付属の AC アダプターを必ず接続してください。

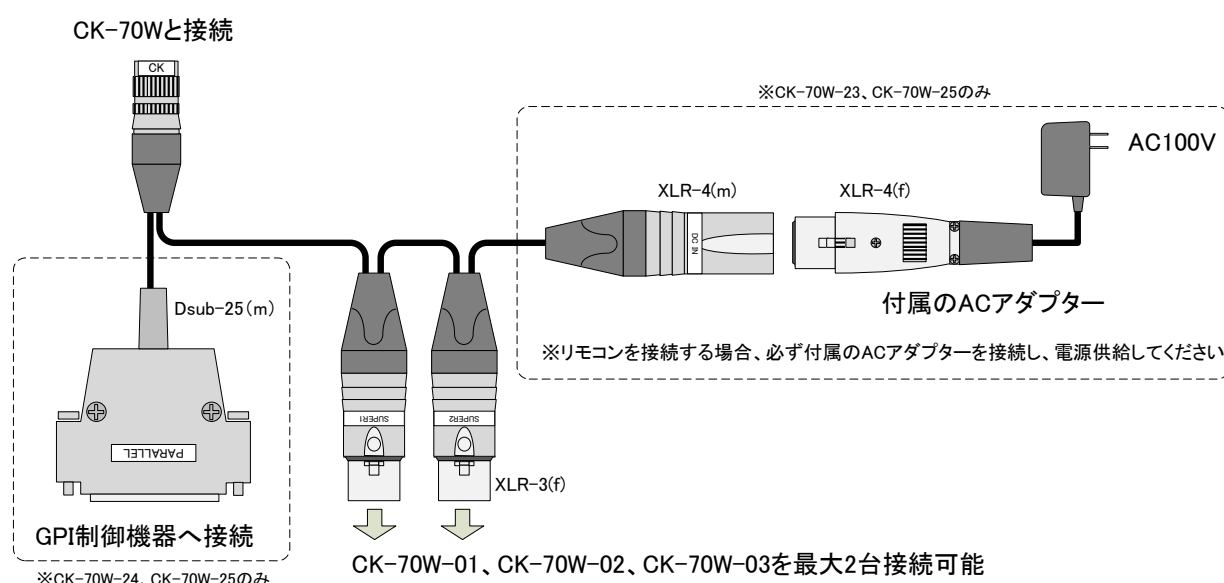


図 4-11.1 CK-70W-25 の使い方

CK-70W-23、CK-70W-25 の電源供給につきましては、付属のアダプター以外使用しないでください。

CK-70W-23、CK-70W-25 XLR-4(m)ピンアサイン			
ピン番	I/O	信号	機能
1		GND	GND
2		未使用	
3		未使用	
4		+12V 入力	リモコン用電源供給

表 4-11.2 XLR-4(m)のピンアサイン

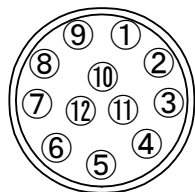
CK-70W-24、CK-70W-25 を使用して GPI 制御をする場合、下表のピンアサインを参照してください

CK-70W-24、CK-70W-25 D-sub 25(f)ピンアサイン			
ピン番	I/O	信号	機能
1		未使用	
2	I	接点入力	接点入力 (REMOTE 端子の PIN1)
3		未使用	
4	I	接点入力	接点入力 (REMOTE 端子の PIN2)
5		未使用	
6	I	接点入力	接点入力 (REMOTE 端子の PIN3)
7		未使用	
8	I	接点入力	接点入力 (REMOTE 端子の PIN4)
9		未使用	
10		未使用	
11		未使用	
12		未使用	
13		未使用	
14	O	接点出力	接点出力 (REMOTE 端子の PIN5)
15		未使用	
16	O	接点出力	接点出力 (REMOTE 端子の PIN6)
17		未使用	
18	O	接点出力	接点出力 (REMOTE 端子の PIN7)
19		未使用	
20	O	接点出力	接点出力 (REMOTE 端子の PIN8)
21		未使用	
22		未使用	
23		未使用	
24		未使用	
25		GND	GND (REMOTE 端子の PIN12)

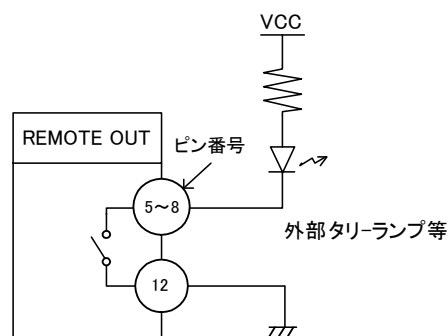
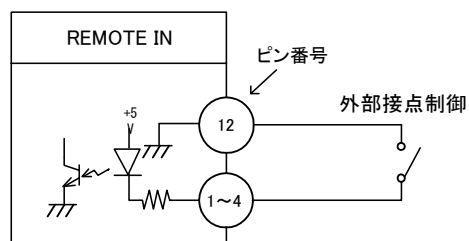
表 4-11.3 D-sub 25(f)のピンアサイン

5. 外部インターフェイス

【REMOTE 仕様】



REMOTEコネクター背面図
ヒロセ HR10A-10R-12S



ピン番	I/O	信号	機能
1~4	I	接点入力	スーパーTAKE 等で使用します（フリーアサイン設定）※1 トリガー／オルタネイト制御に対応
5~8	O	接点出力	スーパーTAKE タリ-等で使用します（フリーアサイン設定）※2
9	-	+12V	専用リモコンに電源を供給する端子 その他の目的で使用しないでください
10	I/O	双方向通信	専用リモコン用の通信端子
11	I/O	双方向通信	専用リモコン用の通信端子
12	-	GND	

※1 接点入力は後取り優先です。オルタネイト設定においても、その他のリモコン、SNMP、正面スイッチ等で制御した場合は、それらの制御が優先されます。

※2 接点出力の絶対最大定格は 60V、300mA です。外部抵抗で電流を 300mA 以下に制限してください。

6. SNMP

Vbus-C 筐体からステータス監視を行う時、CK-70W の MIB データは以下の表に対応します。

オブジェクト識別子は、1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. 20. 1. x. 1. 1. 項番. indexI になります。(項番=OID:2バイト)

xの値は、CK-70W:213です。indexIは、スロット番号1~10です。

(旧識別子は、1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. n. 項番. 0 となります。nは、スロット番号1~10になります)

MIB データが変化した時はトラップが発生します。

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	規格	実装例	SYNTAX	更新	トラップ
1	pid	R/O	80	プログラム情報	char PID[5][16]の内容 製品コード CK-70W 会社名 VIDEOTRON Corp バージョン 01.00.00 製造日 2013/08/29 THU 時 Build-20:00:24	SNMP_LTYIP_STRING		
3	Kcod	R/O	4	機種コード	213(d)=D5(h)	SNMP_LTYIP_INTEGER		
40	hard1 Ver.	R/O	4	FPGA1のバージョン情報 bit0~31:FPGAバージョン情報	英数字4文字 V0	SNMP_LTYIP_INTEGER		
1000	Ref Input Status	R/O	4	INPUT STATUS bit0: 未使用 bit1: 0=内部バスREF無し、1=内部バスREF有り bit2~bit7: 未使用	内部バスREF入力のみ有り 2	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1001	Line1 Status	R/O	4	LINE1に入力されている信号種類 0=1080i/59.94 1=1080i/50 2=1080p/59.94 3=1080p/50 4=1080sF/24 5=1080sF/23.98 6=1080p/24 7=1080p/23.98 9=未入力もしくは認識できないフォーマット	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1002	Line2 Status	R/O	4	LINE2に入力されている信号種類 パラメーター仕様はLine1 Statusと同様。	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1003	Bus1 Status	R/O	4	VBUS筐体内入力1から入力されている信号種類 パラメーター仕様はLine1 Statusと同様。	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1004	Bus2 Status	R/O	4	VBUS筐体内入力2から入力されている信号種類 パラメーター仕様はLine1 Statusと同様。	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1005	FILL1 Status	R/O	4	FILL1に入力されている信号種類 パラメーター仕様はLine1 Statusと同様。	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1006	FILL2 Status	R/O	4	FILL2に入力されている信号種類 パラメーター仕様はLine1 Statusと同様。	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1007	KEY1 Status	R/O	4	KEY1に入力されている信号種類 パラメーター仕様はLine1 Statusと同様。	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1008	KEY2 Status	R/O	4	KEY2に入力されている信号種類 パラメーター仕様はLine1 Statusと同様。	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1009	Format Status	R/O	4	現在の動作映像フォーマット 0=1080i/59.94 1=1080i/50 2=1080p/59.94 3=1080p/50 4=1080sF/24 5=1080sF/23.98 6=1080p/24 7=1080p/23.98 9=AUTO	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1010	Format Select	R/W	4	現在選択されている動作映像フォーマット 0=1080i/59.94 1=1080i/50 2=1080p/59.94 3=1080p/50 4=1080sF/24 5=1080sF/23.98 6=1080p/24 7=1080p/23.98 9=AUTO	1080i/59.94Hz 0	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1011	Mode Select	R/W	4	現在選択されている動作モード 0=DSK 1=COMBINER 2=DSK+EC 1LINE 3=DSK+EC 2LINE 4=DSK+EC 3LINE 5=COMBINER+EC 6=DSK+COMBINER+EC	DSK 0	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1012	Reference Select	R/W	4	現在選択されているリファレンス bit1-0: 入力フォーマット 1 0= EXT_SUB (ESUB) 1 1= LINE DIRECT (LDIR)	EXT_SUB 2	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1013	Genlock Pos H	R/W	4	ゲンロック水平ポジション	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1014	Genlock Pos V	R/W	4	ゲンロック垂直ポジション	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1015	Cascade Select	R/W	4	カスケード接続タイプ 0=OFF 1=TOP+END 2=TOP 3=MID 4=END	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○

1016	Super1 Take On Mode	R/W	4	スーパー1 TAKE OFF→ONのトランジション 0=CUT 1=FADE	CUT 0	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1017	Super1 Take On Speed	R/W	4	スーパー1 TAKE OFF→ONのトランジションスピード 2～300フレーム	2	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1018	Super1 Take Off Mode	R/W	4	スーパー1 TAKE ON→OFFのトランジション 0=CUT 1=FADE	FADE 1	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1019	Super1 Take Off Speed	R/W	4	スーパー1 TAKE ON→OFFのトランジションスピード 2～300フレーム	2	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1020	Super2 Take On Mode	R/W	4	スーパー2 TAKE OFF→ONのトランジション 0=CUT 1=FADE	CUT 0	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1021	Super2 Take On Speed	R/W	4	スーパー2 TAKE OFF→ONのトランジションスピード 2～300フレーム	2	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1022	Super2 Take Off Mode	R/W	4	スーパー2 TAKE ON→OFFのトランジション 0=CUT 1=FADE	FADE 1	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1023	Super2 Take Off Speed	R/W	4	スーパー2 TAKE ON→OFFのトランジションスピード 2～300フレーム	2	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1024	Line Take Status	R/O	4	LINE1～3のスーパー1と2 TAKEステータス bit0: 1=LINE1 スーパー1 TAKE ON bit1: 1=LINE2 スーパー1 TAKE ON bit2: 1=LINE3 スーパー1 TAKE ON bit3: 1=LINE1 スーパー2 TAKE ON bit4: 1=LINE2 スーパー2 TAKE ON bit5: 1=LINE3 スーパー2 TAKE ON スーパー1と2フェーダー有効ステータス bit16: 1=スーパー1 フェーダー有効 bit17: 1=スーパー2 フェーダー有効 ※フェーダーが有効なスーパーチャンネルはTAKE制御できません。	LINE1スーパー1がTAKE ON 1	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1025	Assign Take Status	R/O	4	bit0～3:スーパー1アサインTAKE bit0:1=スーパー1アサイン1 TAKE ON bit1～3:1=スーパー1アサイン2～4 TAKE ON bit4～7:スーパー2アサインTAKE bit4:1=スーパー2アサイン1 TAKE ON bit4～7:1=スーパー2アサイン2～4 TAKE ON	スーパー1のアサイン1がTAKE ON 1	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1026	Line Take Ctrl CH	R/W	4	TAKEコントロールするLINEチャンネル及びアサインパターンを選択。 MSB(bit31)が0の場合 bit0: 1=LINE1コントロール選択 bit1: 1=LINE2コントロール選択 bit2: 1=LINE3コントロール選択 ※LINE2、3はCK-70Wの動作モードによっては制御不可。 ※bit0～2を全て0にした場合はTAKEコントロールされません。 MSB(bit31)が1の場合 bit0～4で以下の値を使用。 0=ALL 1=ASSIGN1 2=ASSIGN2 3=ASSIGN3 4=ASSIGN4	1.LINE1をTAKEコントロール 1(00000001h) 2.SUPER ASSIGN1をTAKEコントロール 1(80000003h)	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1027	Line Take Ctrl	R/W	4	リード時は常に0 ライト時はスーパー1～2 TAKEコントロール Line Take Ctrl CHのMSB(bit31)が0の場合 bit0～1 スーパーTAKEコントロール 0=無効、1=有効 bit0: スーパー1 TAKEコントロール 0=無効、1=有効 bit1: スーパー2 TAKEコントロール 0=無効、1=有効 bit16～17 スーパーTAKE bit16: スーパー1 TAKE 0=OFF、1=ON bit17: スーパー2 TAKE 0=OFF、1=ON ※LINE2、3はCK-70Wの動作モードによっては制御不可。 Line Take Ctrl CHのMSB(bit31)が1の場合 bit0: スーパー1アサインTAKEコントロール 0=無効、1=有効 bit1: スーパー2アサインTAKEコントロール 0=無効、1=有効 bit16: スーパー1アサインTAKE 0=OFF、1=ON bit17: スーパー2アサインTAKE 0=OFF、1=ON	1.スーパー1をTAKE ON 65,537(00010001h) 2.スーパー1をTAKE OFF 1(00000001h) 2.スーパー2をTAKE ON 131,074(00020002h) 4.スーパー2をTAKE OFF 2(00000002h)	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○

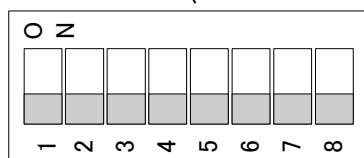
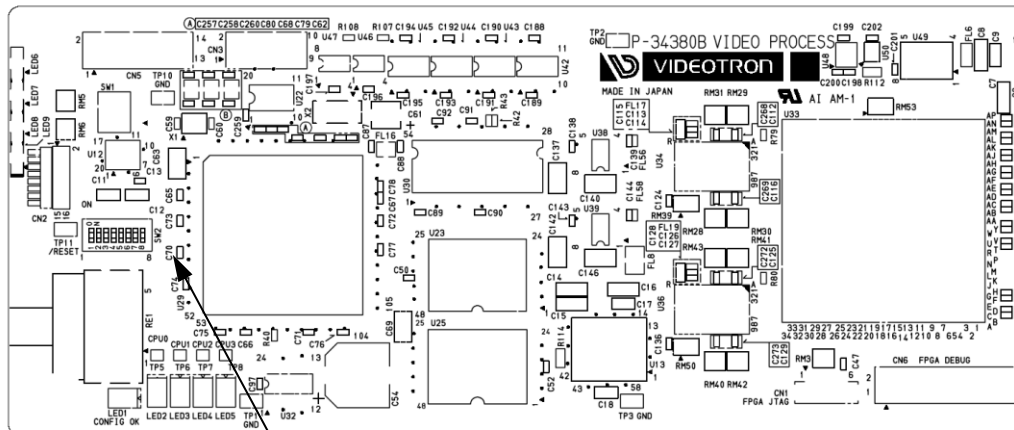
1028	Super Assign Status	R/W	4	bit0~11 スーパー1 アサインステータス bit 0: 1=LINE1 スーパー1 アサイン1 ON bit 1: 1=LINE2 スーパー1 アサイン1 ON bit 2: 1=LINE3 スーパー1 アサイン1 ON bit 3: 1=LINE1 スーパー1 アサイン2 ON bit 4: 1=LINE2 スーパー1 アサイン2 ON bit 5: 1=LINE3 スーパー1 アサイン2 ON bit 6: 1=LINE1 スーパー1 アサイン3 ON bit 7: 1=LINE2 スーパー1 アサイン3 ON bit 8: 1=LINE3 スーパー1 アサイン3 ON bit 9: 1=LINE1 スーパー1 アサイン4 ON bit 10: 1=LINE2 スーパー1 アサイン4 ON bit 11: 1=LINE3 スーパー1 アサイン4 ON bit16~27 スーパー2 アサインステータス bit 16: 1=LINE1 スーパー2 アサイン1 ON bit 17: 1=LINE2 スーパー2 アサイン1 ON bit 18: 1=LINE3 スーパー2 アサイン1 ON bit 19: 1=LINE1 スーパー2 アサイン2 ON bit 20: 1=LINE2 スーパー2 アサイン2 ON bit 21: 1=LINE3 スーパー2 アサイン2 ON bit 22: 1=LINE1 スーパー2 アサイン3 ON bit 23: 1=LINE2 スーパー2 アサイン3 ON bit 24: 1=LINE3 スーパー2 アサイン3 ON bit 25: 1=LINE1 スーパー2 アサイン4 ON bit 26: 1=LINE2 スーパー2 アサイン4 ON bit 27: 1=LINE3 スーパー2 アサイン4 ON	スーパー1がアサイン1 ON 1	SNMP_LTYIP_INTEGER	○	○
1029	AVDL Status	R/O	4	LINE1 INのAVDLステータス 0=LINE信号とリファレンス信号の時間差がAVDLの安全な引き込み範囲内にある 1=LINE信号とリファレンス信号の時間差がAVDLの安全な引き込み範囲にない bit0: LINE1 INPUT bit1: LINE2 INPUT bit2: BUS1 INPUT bit3: BUS2 INPUT	LINE信号とリファレンス信号の時間差がAVDLの安全な引き込み範囲にない 1	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1030	Fan Status	R/O	4	モジュール基板上に実装されたファンの回転数ステータス。 0=回転数正常 1=回転数異常もしくは停止状態	ファンに異常が発生 1	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1031	Line Src Status	R/W	4	LINE1~3の映像入力ソース bit0~1: LINE1入力ソース 0=LINE1,1=LINE2 bit2~3: LINE2入力ソース 0=LINE1,1=LINE2 bit4~5: LINE3入力ソース 0=LINE1,1=LINE2 ※Cascade SelectがOFF、TOP+END、TOPのみ変更が反映され、その他のモードでは無視されます。	LINE1のソースがLINE1でLINE2と3のソースがLINE2 20(00000014h)	SNMP_LTYIP_INTEGER		○
1032	Line Dst Status	R/W	4	OUT1~3の映像ソース bit0~1: OUT1ソース 0=LINE1,1=LINE2,2=LINE3 bit2~3: OUT2ソース 0=LINE1,1=LINE2,2=LINE3 bit4~5: OUT3ソース 0=LINE1,1=LINE2,2=LINE3 ※Mode SelectがDSK+EC 2 or 3LINEのみ変更が反映され、その他のモードでは無視されます。 ※Cascade SelectがTOP+END、ENDのみ変更が反映され、その他のモードでは無視されます。	OUT1のソースがLINE1でOUT2のソースがLINE2でOUT3のソースがLINE3 36(00000024h)	SNMP_LTYIP_INTEGER		○

7. 工場出荷設定（ディップスイッチの操作）

ディップスイッチの操作により、設定を工場出荷時に戻すことができます。

ディップスイッチは SW2 という名称で下図の位置にあります。

メインモジュール基板面



上にするとスイッチの設定が「ON」です。
工場出荷時はすべて OFF です。

ディップスイッチの拡大

配置図 7-1 ディップスイッチ

ディップスイッチに割り当てられている機能は下記の通りです。

番号	状態	設定内容
1～7	OFF	テスト用。全てOFFにしてご使用ください。
8	ON	設定内容を工場出荷設定にします。

・ディップスイッチの8番がONの状態では起動すると、初期化を開始します。

注意！ ディップスイッチの8番は、設定終了後、電源を落として必ずOFFに戻してください。

ONにしたままですと、電源投入時、常に設定がクリアされます。

8. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の→は対処方法を示しています)

筐体のトラブルに関しては、筐体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

現 象 電源が入らない！

原 因 ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？

・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？

・筐体にCK-70Wの実装は6枚以上実装していますか？

→CK-70W6枚以上実装すると、筐体には電源容量不足で正常起動しない場合があります。

現 象 まったく動作しない！表示器が点灯しない！

原 因 ・メインモジュール(基板)は正しく挿入されていますか？

・コネクターモジュールは正しく挿入されていますか？

・筐体の電源ランプは点灯していますか？

現 象 本線映像が出力されない！

原 因 ・CK-70WのカスケードがOFFになっていませんか？

→カスケードするすべてのモジュールをカスケードONにしてください。

・CK-70WのシステムモードがCOMBINERになっていませんか？

→すべてのモジュールをDSKにしてください。

・CK-70Wのカスケードの設定は正しいですか？左からTOP→MID→ENDになっていますか？

→「4.3.5 カスケード接続について」を参照してください。

・本体正面のL1、またはL2のランプが緑色に点灯していますか？

→“MENU→LINE→LINE IN”の設定が正しいか確認してください。入力フォーマットも確認してください。

現 象 本線映像にスーパーが出力されない！

原 因 ・CK-70WのカスケードがOFFになっていませんか？

・MASKが掛かっていませんか？

・CK-70ECがBYPASS ONIになっていませんか？

→「4.3.(1) SYSTEM設定◇MODE」、「4.3.(3) LINE設定◇カスケード」を参照してください。

→MASKをOFFしてください。

→BYPASSをOFFしてください。

・FILL、KEY信号が正しく入力されていますか？

→操作メニューを抜けた状態で(MENUが消灯)、本体正面の表示器にFILL/KEYの入力ステータスが表示されます。入力されている場合フォーマット(例. "59i")が表示されます。NONEと表示されている場合、入力信号を確認してください。

現象 本線映像が垂直方向に流れる！本線映像にノイズが入る！

原因 ・リファレンス信号は入力していますか？

→LINE信号と同期したリファレンス信号を入力してください。

・リファレンス、カスケードの設定は正しいですか？

→「4.3.(1)SYSTEM設定◇REFERENCE」、「4.3.(1)SYSTEM設定◇GENLOCK」を参照してください。

本線映像とリファレンス信号は同期していますか？

→LINE信号リファレンス信号が同期していないと正常に動作しません。リファレンス信号が用意できない場合はLINEロックでご使用ください。

現象 本線映像を切り替えたとき、映像にノイズが入る！

原因 ・リファレンス信号は入力していますか？

→必ずNE信号と同期したリファレンス信号を入力し、EXT SUB(外部リファレンス)でご使用ください。

LINE DIRECTでは映像切り替え時のノイズは吸収できません。

・リファレンス、カスケードの設定は正しいですか？

→「4.3.(1)SYSTEM設定◇REFERENCE」、「4.3.(1)SYSTEM設定◇GENLOCK」を参照してください。

AVDLが正しく機能し、入力信号が引き込み範囲内にあるか確認してください。

現象 動画スーパーの映像がおかしい！

原因 ・FILLとKEY信号は同期していますか？

→スーパー入力は非同期対応ですが、FILL信号とKEY信号は同期している必要があります。

FILLとKEYの位相差はHD-SDIの場合 $\pm 1.7 \mu$ 、3G-SDIの場合 $\pm 0.8 \mu$ 以内の信号をご使用ください。

→“MENU→SUPER1/2→FILL/KEY”の設定を確認してください。

→FILL、KEY信号が正しく入力されているか確認してください。

現象 接点でスーパーテイクができない！

原因 ・FILLとKEY信号は同期していますか？

→スーパー入力は非同期対応ですが、FILL信号とKEY信号は同期している必要があります。

FILLとKEYの位相差はHD-SDIの場合 $\pm 1.7 \mu$ 、3G-SDIの場合 $\pm 0.8 \mu$ 以内の信号をご使用ください。

→“MENU→SUPER1/2→FILL/KEY”の設定を確認してください。

→FILL、KEY信号が正しく入力されているか確認してください。

→スーパーのアサイン設定は適切ですか？「4.9. アサイン機能について」を確認してください。

ご不明な点は、当社までご連絡ください。

9. 仕様

1. 機能

【CK-70W】

動作モード	7種類の動作モードがあり、何れもカスケード接続により最大12chスーパーに対応
・DSK	LINE1系統のDSKとして使用
・COMBINER	COMBINER装置として使用
・DSK+EC 1L	LINE1系統のDSKとして使用。エマージェンシースルー対応
・DSK+EC 2L	LINE2系統のDSKとして使用。エマージェンシースルー対応
・DSK+EC 3L	LINE3系統のDSKとして使用。エマージェンシースルー対応 (LINE3を除く)
・COMB+EC	COMBINER装置として使用。プレビュー出力対応
・DSK+COMB+EC	DSK+COMBINER装置として使用。エマージェンシースルー対応
リファレンス信号	外部同期／ラインロックに対応しています。 ※カスケード時のラインロックは時間がかかるため、特に3枚以上カスケードする場合は必ずリファレンスロックでご使用ください。
・LINE DIRECT	ラインロックで動作
・EXT SUB	リファレンスロックで動作 Vbus- C筐体のリファレンスバスからリファレンス信号を受信します
GENLOCKポジション	外部同期信号使用時、出力の位相を調節できます
・MANUAL	AVDLの引き込み範囲に注意して出力位相を調整します
・MIN	自動でAVDLの設定を行います 映像とリファレンス信号の位相を見て、安定して引き込む最適値に自動設定します。 カスケード接続時、隣接のモジュールとの位相調整を自動で最適な位置に設定します。
マーカー表示	プレビュー画面に、任意のサイズのセーフティーエリアマーカーを表示できます 14:9、13:9、4:3のポジションマーカーも表示できます
カスケード	CK-70Wを最大6モジュールカスケード可能で、12chのスーパーをミックスすることができます。
スーパー	
・キー入力	ハイ・クリップ、ロー・クリップ、キーレベル調節ができます リニアキー／セルフキー対応。Key信号でシェイプされたFill信号にも対応
・スーパーカラー	Fill 信号入力／インターナル・カラー (バリエابل・カラー) に対応
・ソラリゼーション	キー信号で LINE 信号のルミナンスレベルを反転し、ネガポジ反転の効果を得ることができます。クロマ部分にバリエابل・カラーで着色も可
・ポジション	スーパー1、2 に対して個別に表示ポジションを変更できます 1080i: 水平方向 ±1920ドット 垂直方向 ±1024ライン (2ドット、2ラインステップ)
・トランジション	カット、フェード (2～300フレーム) スーパー1、2に対して個別にトランジションIN／OUTの設定をカスタマイズできます
エッジ	エッジジェネレーターを搭載しています
・フォーム	ノーマル／ドロップ (方向指定可)
・スラント	ハード／ソフト
・エッジカラー	インターナルカラー (バリエابل・カラー)
・幅	1ドット～10ドット ※映像フォーマットがプログレッシブなら0.5ドット～5ドット
シャドウエッジ	エッジに加えてシャドウエッジを付加することができます
・フォーム	ディープシャドウ／ドロップシャドウを選択できます
・ディスタンス	スーパーとシャドウの距離を調節できます。0～22ドット (2ドット、2ラインステップ)
・レベル	シャドウのキーレベルを調節できます。
・シャドウカラー	インターナルカラー (バリエابل・カラー)
スーパーTAKE制御	CK-70W-01、GPIによるTAKE制御が可能。LINE2／3系統モードで使用する場合、スーパーをTAKEするLINEの系統をカスタマイズできます。 例えば、GPIの接点信号ではLINE1系統のみにスーパー1をTAKEし、CK-70W-01によるTAKEでは、LINE1～3の系統にスーパー1をTAKEすることができます。
・GPI制御	フリーアサイン機能。オルタネイト／トリガー制御選択可。実行遅延設定 (0～90F)

・CK-70W-01(リモコン)	CK-70WIに2台接続可。CUT/FADEの切り替え制御可。設定ファイル名、接続先チャンネル表示機能あり。スーパー信号が未入力の時、警告機能あり。
・CK-70W-02(リモコン)	CK-70WIに2台接続可。CUT/FADEの切り替え制御可。設定ファイル名、接続先チャンネル表示機能あり。スーパー信号が未入力の時、警告機能あり。2chスーパー個別TAKE可能。
・CK-70W-03(リモコン)	CK-70WIに2台接続可。CUT/FADEの切り替え制御可。設定ファイル名、接続先チャンネル表示機能あり。スーパー信号が未入力の時、警告機能あり。
・CK-70W-06(レバー)	CK-70W-02/03に1台接続可。スーパーのフェーダーをレバーで手動操作可能。
スーパーマスク	16箇所の登録が可能 ※CK-70ECが必要です。CK-70ECの外部GPIIにより登録したマスクを選択 (4ビットエンコード、トリガー／オルタネイト制御に対応可) スーパーマスクは全系統の出力に機能します。プレビュー機能はありません
エマージェンシースルー	※CK-70EC、またはCK-70EMGと組み合わせると、電源断の際にエマージェンシースルー機能が働きます。外部GPIIによるエマージェンシースルー制御も可能
AVDL	LINE信号入力部には、1ラインのAVDLを内蔵
バックアップ／リストア	付属のアプリケーションを使用すると、各モジュールのパラメーター編集、及びバックアップ／リストアが簡単にできます。この操作を行うには、ご使用のVbus-Cシリーズ筐体のネットワーク機能が有効で、かつアプリケーションをインストールしたWindows PCとLANで接続されている必要があります。
FANアラーム	モジュール上にチップFANを搭載しており、動作不良の際は本体正面の表示器で“FAN ERR”の警告、及びVbus-C筐体からモジュールアラームの接点出力、SNMPIによるトラップ発行があります。

【CK-70W-01】

リモコン名称表示	本体付属の専用アプリケーションを使用すると、リモコン毎に任意の名称を表示させることができます。全角で最大4文字、半角で8文字です。リモコン名称はCK-70W本体のフラッシュメモリに記録されますので、リモコンを交換／移動してもリモコン名称の設定等は必要ありません。
トランジション切り替え	リアルタイムでCUT /FADEの切り替えを行うことができます。フェードタイムは予め設定した数値が適用されます。リモコンの表示器上に“Fade 5F”、“CUT”と表示され、発行色もカスタマイズできます。
スーパーTAKE	スーパーのTAKE ON/OFFの操作を手動で行います。スーパーがTAKEされているときは赤点灯します。
警告表示機能	ケーブル断線等で本体と通信が確立していない時は“NO CONNECT”、リモコンの制御対象のスーパーが未入力時には、“NO SIG”と表示され、かつ表示器のバックライトが消灯しますので、万が一のトラブルに迅速に対応できます。

【CK-70W-02】

リモコン名称表示	本体付属の専用アプリケーションを使用すると、リモコン毎に任意の名称を表示させることができます。全角で最大4文字、半角で8文字です。リモコン名称はCK-70W本体のフラッシュメモリに記録されますので、リモコンを交換／移動してもリモコン名称の設定等は必要ありません。
トランジション切り替え	リアルタイムでCUT /FADEの切り替え、フェードタイム変更を行うことができます。リモコンの表示器上に“Fade 5F”、“CUT”と表示され、発行色もカスタマイズできます。
スーパーTAKE1～2	スーパー1、2のTAKE ON/OFFの操作を手動で行います。スーパーがTAKEされているときは赤点灯します。 CK-70W-06と接続するとスーパーフェーダーをレバーで手動操作することも可能です。
警告表示機能	ケーブル断線等で本体と通信が確立していない時は“NO CONNECT”、リモコンの制御対象のスーパーが未入力時には、“NO SIG”と表示され、かつ表示器のバックライトが消灯しますので、万が一のトラブルに迅速に対応できます。

【CK-70W-03】

リモコン名称表示	本体付属の専用アプリケーションを使用すると、リモコン毎に任意の名称を表示させることができます。全角で最大4文字、半角で8文字です。リモコン名称はCK-70W本体のフラッシュメモリに記録されますので、リモコンを交換／移動してもリモコン名称の設定等は必要ありません。
トランジション切り替え	リアルタイムでCUT /FADEの切り替え、フェードタイム変更を行うことができます。リモコンの表示器上に“Fade 5F”、“CUT”と表示され、発色色もカスタマイズできます。
スーパーTAKE	スーパーのTAKE ON/OFFの操作を手動で行います。スーパーがTAKEされているときは赤点灯します。CK-70W-06と接続するとスーパーフェーダーをレバーで手動操作することも可能です。 制御対象のスーパーチャンネルやアサイン番号の切り替えをリモコン上で行うことができます。
警告表示機能	ケーブル断線等で本体と通信が確立していない時は“NO CONNECT”、リモコンの制御対象のスーパーが未入力時には、“NO SIG”と表示され、かつ表示器のバックライトが消灯しますので、万が一のトラブルに迅速に対応できます。

【CK-70W-06】

マニュアルフェード	CK-70W-02、CK-70W-03に接続して、手動のフェード操作を実現します。 0%⇔100%の状態を20個のLEDで確認できます。
開始・終了位置調整	フェーダーレバーの反応範囲を調整できます。 ENABLE ボタンを5秒以上長押しすると、開始・終了位置調整モードに入ります。設定情報はCK-70WBで保持されます。
警告表示機能	フェーダーレバーを有効にした時、フェーダーレバーが0%の位置にないとLEDの点灯パターンで0%の位置に戻すように警告表示します。

2. 定 格

【CK-70W】

入力信号	
・ LINE 1, 2	SMPTE424M、SMPTE292M 0.8Vp-p/75Ω、BNC 各1系統
・ FILL 1, 2	SMPTE424M、SMPTE292M 0.8Vp-p/75Ω、BNC 各1系統
・ KEY 1, 2	SMPTE424M、SMPTE292M 0.8Vp-p/75Ω、BNC 各1系統
出力信号	
・ OUT 1, 2	SMPTE424M、SMPTE292M 0.8Vp-p±10%/75Ω、BNC 各1系統
映像フォーマット	1080p59.94/50(3G LevelA)、1080p24/23.98、 1080psF24/23.98、1080i59/50
コントロール信号	
・ REMOTE	HR10A-10R-12S (12pin) ヒロセ丸型 1 系統 ・接点 4 入力、4.出力 ・リモコン用シリアル通信 2 系統 ・リモコン用+12V 出力(MAX160mA)
消費電力	3G-SDI: 24VA(5V,4.8A)、HD-SDI: 20VA(5V,4A)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH(ただし結露なき事)
質量	0.5kg(コネクターモジュールを含む)

【CK-70W-01】

制御信号	
・CONT	XLR-3(m) 1 系統 1pin: GND、2pin: +12V、3pin: シリアル通信
消費電力	0.84VA(12V,0.07A)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH(ただし結露なきこと)
質 量	0.3kg
外形寸法	70(W)×100(H)×30(D) mm (突起物含まず)

【CK-70W-02】

制御信号	
・CONT	XLR-3(m) 1 系統 1pin: GND、2pin: +12V、3pin: シリアル通信
・FADER LEVER	D-sub 9pin 1 系統
消費電力	1.2VA (12V, 0.1A)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH (ただし結露なきこと)
質 量	0.45kg
外形寸法	90(W) × 120(H) × 30(D) mm (突起物含まず)

【CK-70W-03】

制御信号	
・CONT	XLR-3(m) 1 系統 1pin: GND、2pin: +12V、3pin: シリアル通信
・FADER LEVER	D-sub 9pin 1 系統
消費電力	1.2VA (12V, 0.1A)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH (ただし結露なきこと)
質 量	0.4kg
外形寸法	90(W) × 120(H) × 30(D) mm (突起物含まず)

【CK-70W-06】

制御信号	
・CONTROL	D-sub 9pin 1 系統
消費電力	1VA (5V, 0.2A)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH (ただし結露なきこと)
質 量	0.5kg
外形寸法	80(W) × 120(H) × 42(D) mm (突起物含まず)

【CK-70W-07】

動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH (ただし結露なきこと)
質 量	10g
外形寸法	31(W) × 13.1(H) × 27(D) mm (突起物含まず)

【VAC-12V01A】 ※CK-70-23、CK-70-25付属のACアダプター

電源入力	AC100～240V 47～63Hz、0.31A 平型2ピンプラグ
電源出力	DC+12V/1A、XLR-4(f) (1;-、4;+)
消費電力	MAX1A (12VA)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH (ただし結露なきこと)
質 量	0.15kg
外形寸法	33(W) × 72(H) × 42(D) mm (突起物含まず)

3. 性能

【CK-70W】

入力特性

• LINE 1, 2, FILL 1, 2, KEY 1, 2

分解能	10bit
サンプリング周波数	3G: 148.35/148.50MHz、HD: 74.18/74.25MHz
イコライザー特性	3G: 120M(5CFB)、HD-SDI: 180M(5CFB)
反射減衰量	3G: 5MHz~1.485GHz, 15dB 以上 / 1.485GHz~2.97GHz, 10dB 以上 HD: 5MHz~1.485 GHz: 15dB 以上

出力特性

• OUT1, 2

分解能	10bit
サンプリング周波数	3G: 148.35/148.50MHz、HD: 74.18/74.25MHz
信号振幅	0.8V _{p-p} ±10%/75Ω
反射減衰量	3G: 5MHz~1.485GHz, 15dB 以上 / 1.485GHz~2.97GHz, 10dB 以上 HD: 5MHz~1.485 GHz: 15dB 以上
立ち上がり/立ち下がり時間	3G: 135ps 以下(20%~80%間)、HD: 270ps 以下(20%~80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V 以内
ジッター特性	
アライメント	0.2UI 以下
タイミング	1.0UI 以下

映像入出力遅延

• LINE信号

HD: リファレンスロック時 約 2.0μs / LINE ロック時 約 2.5μs
※リファレンスロックで2枚のカスケード接続時は約 4.0μs
3G: リファレンスロック時 約 1.0μs / LINE ロック時 約 1.5μs
※リファレンスロックで2枚のカスケード接続時は約 2.0μs

• FILL、KEY信号

1FRAME

LINE引き込み範囲 (AVDL)

• LINE 1, 2

約 1H

FILL、KEY引き込み範囲

制限無し(非同期対応) ※非同期の動画スーパーを入力する場合、
FILL 信号と KEY 信号は同期し、かつ FILL と KEY の位相差が HD-SDI の
場合±1.7μ、3G-SDI の場合±0.8μ 以内の信号をご使用ください。

REMOTE

• 接点入力

12mA 最大定格

• 接点出力

60V/300mA 最大定格

• リモコン用シリアル通信 I/F

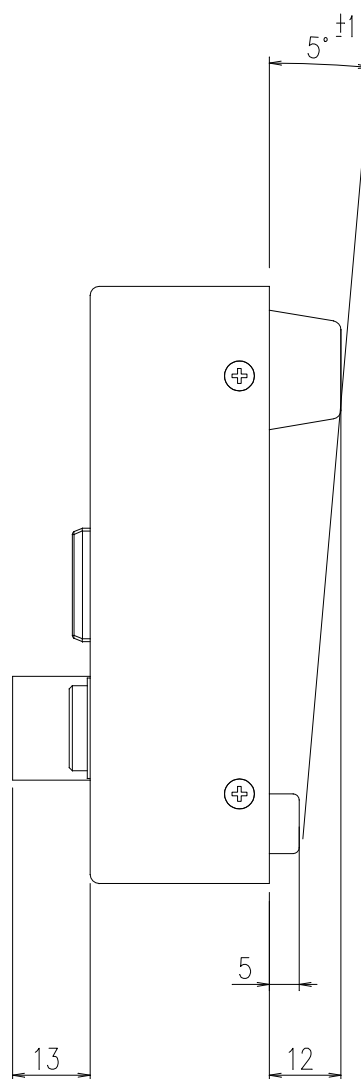
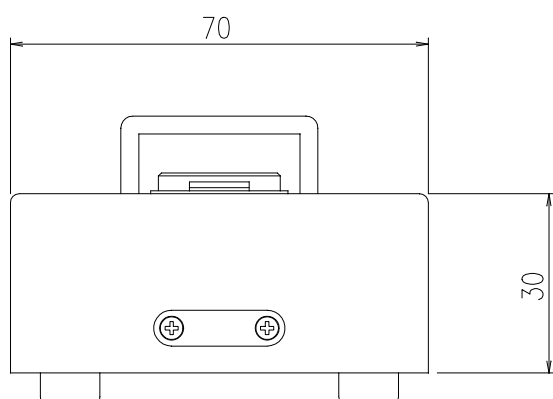
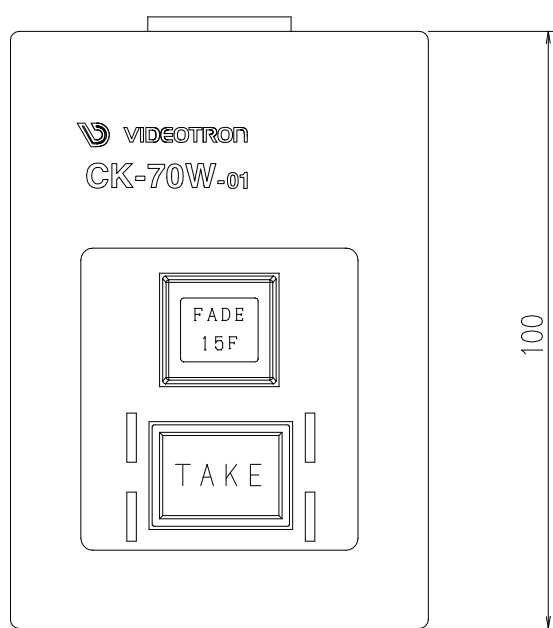
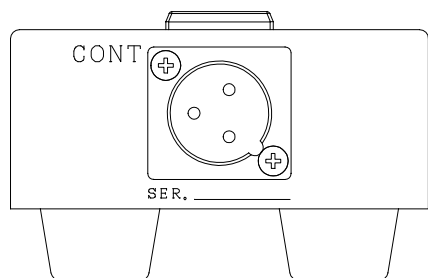
オーディオ用 3ピン XLR ケーブルで 100m まで延長可
※オプションの CK-70W-22/23/24/25 を使用して HR10A-10R-12S 端子を
汎用の XLR(f) 端子に変換できます。

【CK-70W-01/02/03】

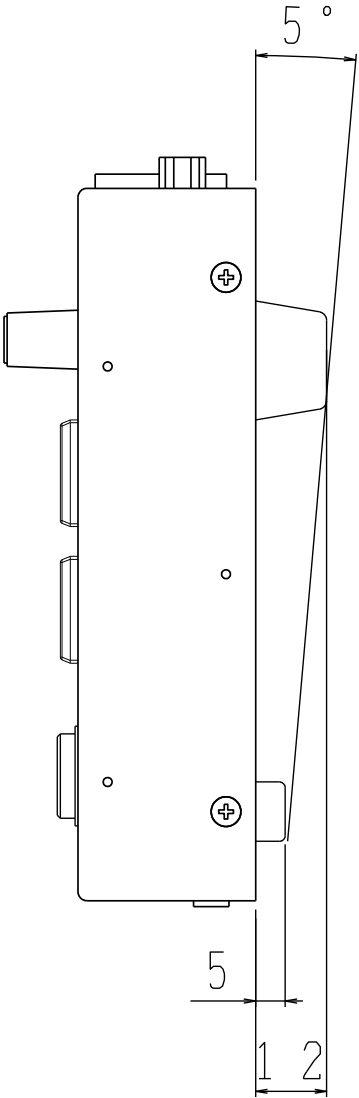
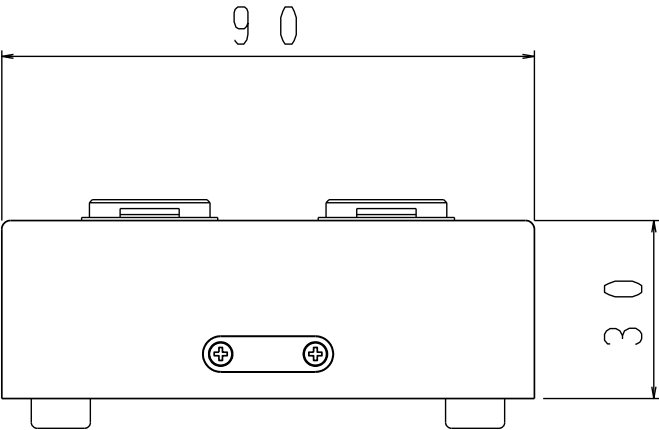
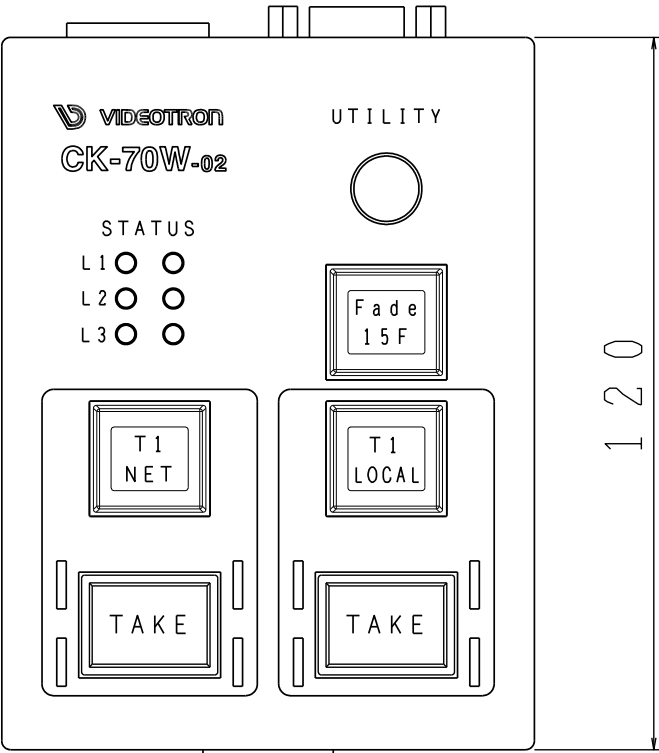
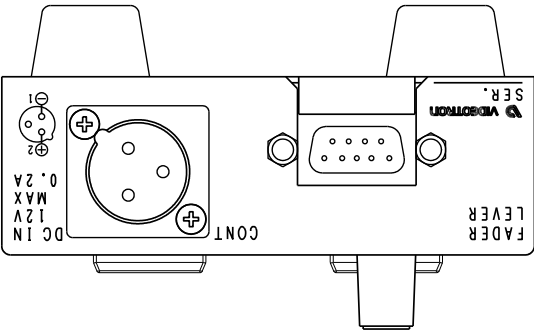
• CONT

XLR ケーブルで 100m 延長可
※オプションの CK-70W-22/23/24/25 が必要です。

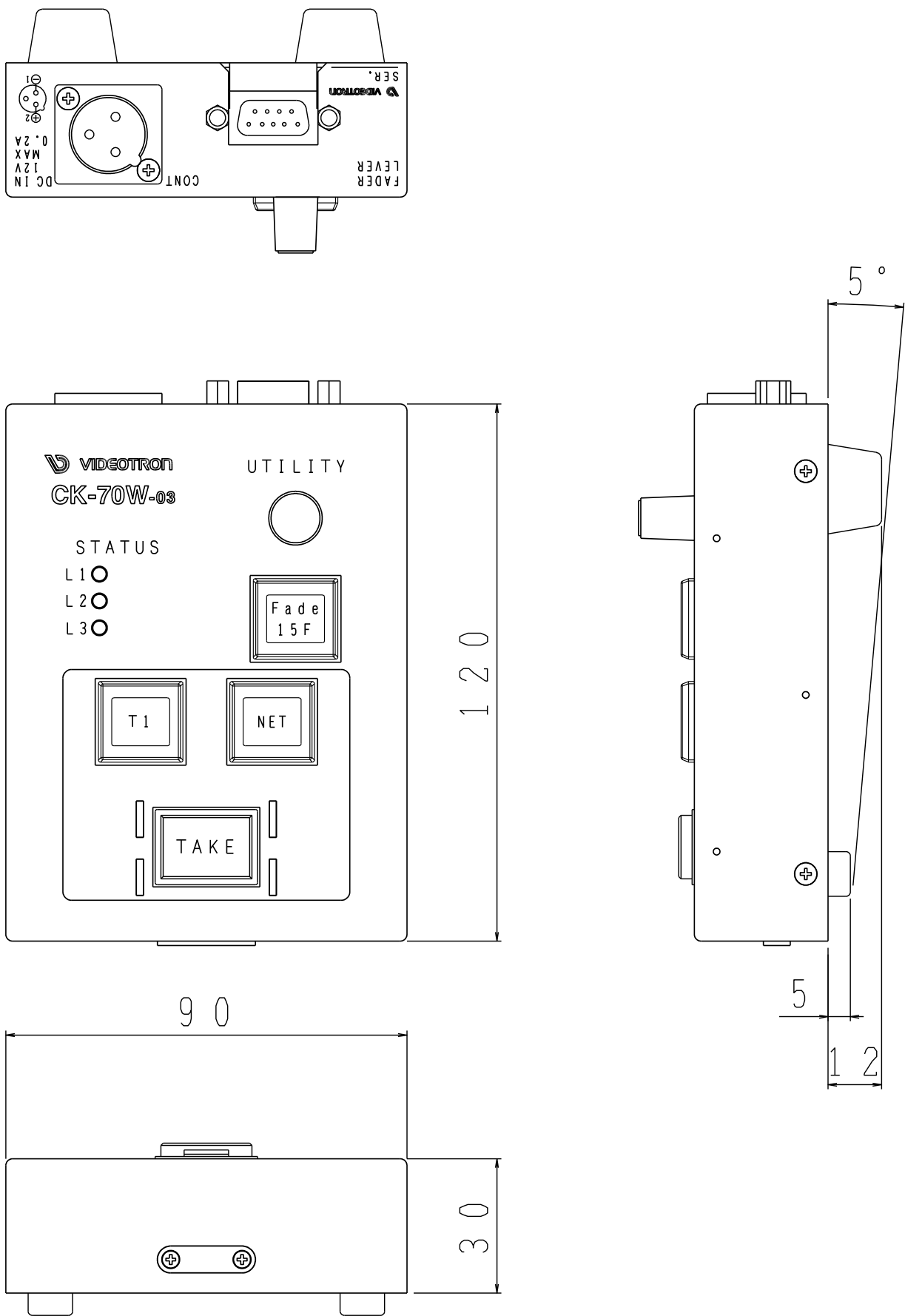
4. 外形図 (CK-70W-01)



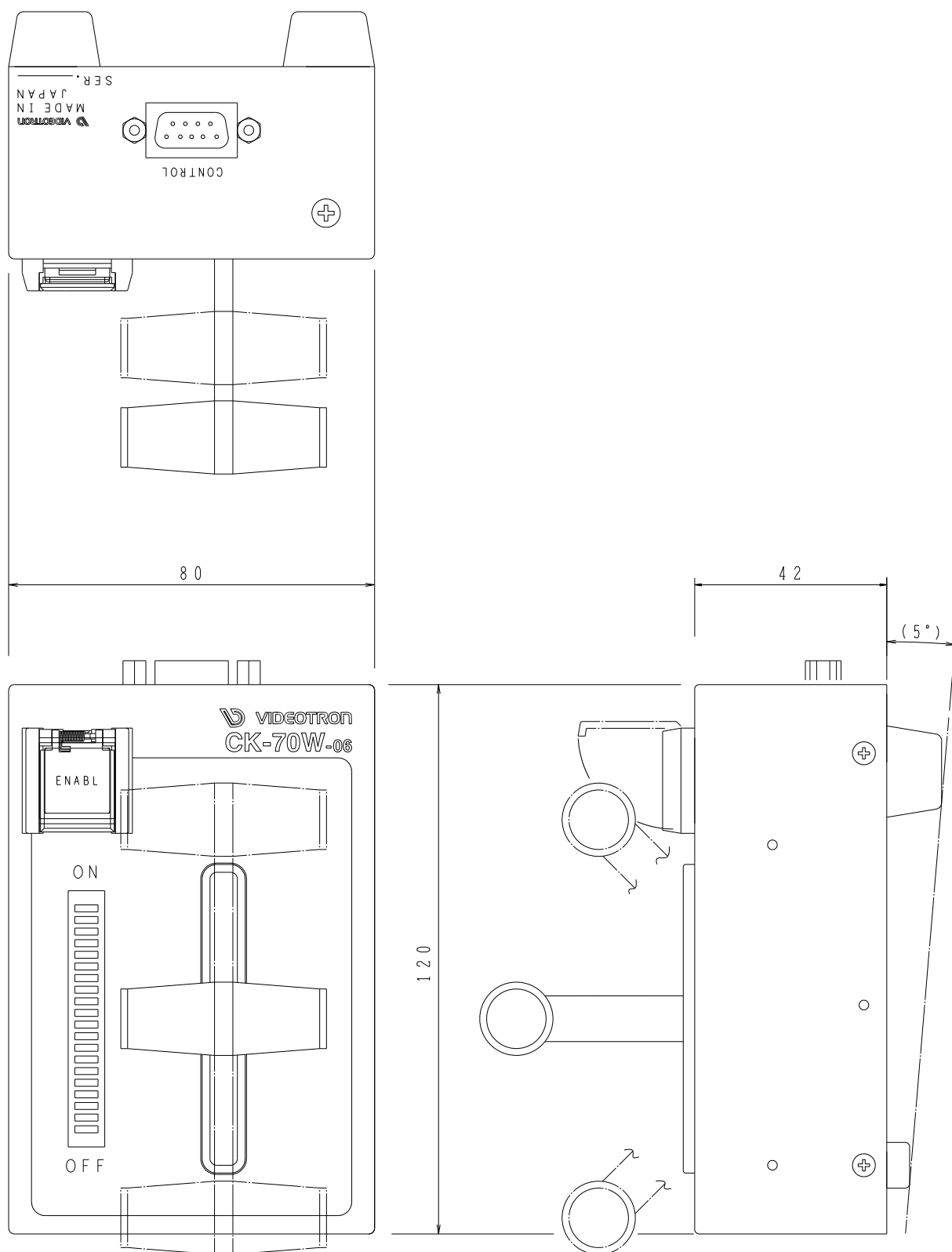
5. 外形図 (CK-70W-02)



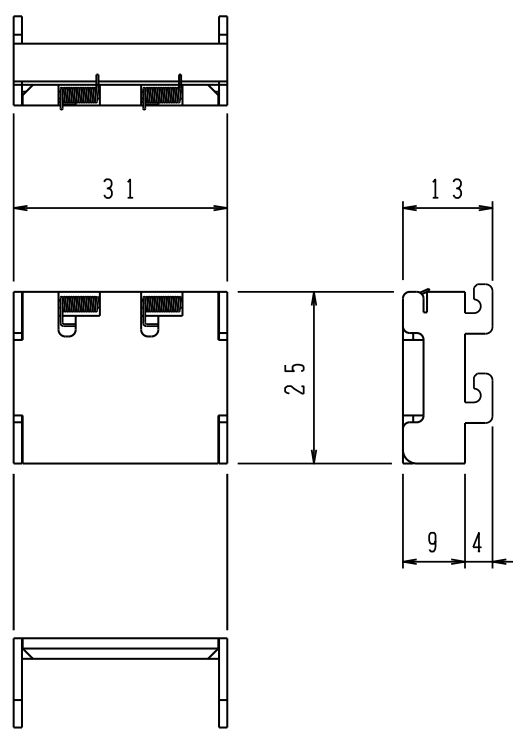
6. 外形図 (CK-70W-03)



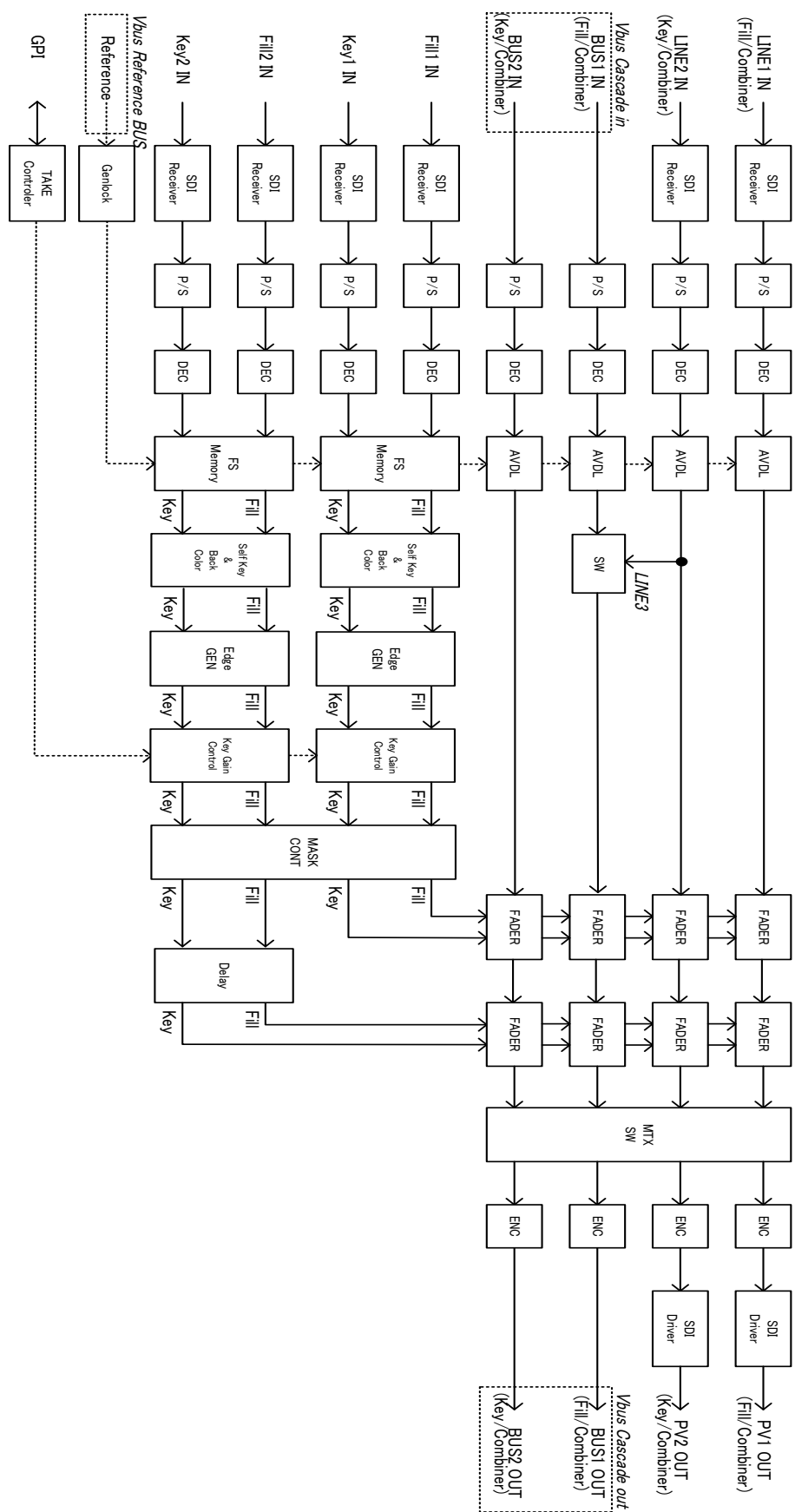
7. 外形図 (CK-70W-06)



8. 外形图 (CK-70W-07)



10. ブロック図



本書に記載している商標

Microsoft®、Windows®、および Windows 7®、Windows 8®、Windows 10®は、Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

その他本書中に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

無断転写禁止



- ・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
- ・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。

本社営業部/サポートセンター TEL **042-666-6311**

大阪営業所 TEL **06-6195-8741**

ビデオトロン株式会社 E-Mail: sales@videotron.co.jp

本 社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16

大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

ビデオトロンWEBサイト

<http://www.videotron.co.jp/>

101609R17